夕刊 滿洲日報 六月八日
大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

滿蒙全鐵道を踏破して白班先づ凱歌を揚ぐ
紅班亦雁行して午後歸連し驛傳競爭愈よ終る

廣漠八萬方里の大舞臺、幾十百萬日支雙國民環視の大舞臺に於て空前の壯圖として多くの期待を以て迎へられた本社主催滿蒙十五鐵道踏破驛傳競爭は去月十九日午前八時十分華々しくスタートを切つて以來波瀾萬丈

接戰に 亟ぐに接戰を以てファンの血を沸かせつゝ白熱的人氣のうちに時は經過したのであつたが本八日午前十時三十二分白班の津田選手紅班に先逹て旅順より自動車に打ち乘り多數歡呼のどよめきの中に決勝點なる大連驛に到着した、かくして白班の經來れる十五鐵道の哩數は三千四百二十四哩にして實走哩數五千六百九十三哩七、そしてその所要時間は二十日と二時間廿二分と云ふ

記錄を とゞめるに至つた、紅班また雁行して今日午後二時五十九分旅順着同三時五十分前後ゴールに入るべくこゝに本社が「鐵道知識の普及、滿蒙事情紹介、一般旅行者への手引」てふ三大目的を以て企てた本競爭は走破各鐵道當局の絕大なる後援と幾萬愛讀者の熱烈なる聲援を得て無事所期の目的を達成し有終の美を以てその幕を閉づることゝなつた

旅順驛頭の出迎

白班津田選手の旅順驛頭着に際し二宮憲兵隊長、郡間少佐、瀧警察署長、鮫島、桑村兩警部、中濱市長代理等旅順官民有志其他九里驛長以下驛員等多數出迎へた

紅班選手 貔子窩へ向ふ

【普蘭店特電八日發】驛傳紅班第五走の藤井選手は八日午前四時五十六分普蘭店に下車平野警務課長その他官民多數の出迎へを受け直に自動車で貔子窩へ向け急行した

藤井選手通過

【金州特電八日發】紅班最終のコース金福線へ普蘭店から急行した藤井選手は十二時七分金州驛を通過したが驛頭には池田總務課長、久保田驛長その他婦人を交へ十四五名であつた

芳澤公使と犬養氏 青島へ向ふ

【上海特電八日發】犬養毅氏及芳澤公使等は八日午前九時發の大連丸で日支官民多數の見送りを受け青島に向つたが張繼陳中孚の兩氏も同船した陳氏は山東に於ける犬養氏一行接待に當るものである、犬養氏は更に大連に向ふべく芳澤氏は青島より北平に赴く筈である

白班選手大連歸着

【上】大連驛にて武田白班々長より通過證明書その他を宇佐美審判長に返還する處【下】左は驛頭に於て祝盃を擧げる關係者 右は大連神社に報告のため參拜した白班選手一同

全滿の人氣を背負ふて華々しく歸還す
白班のラスト津田選手を迎へ大連驛頭動搖めく

昨七日午後十時四十五分天佑に惠まれた白班の最後を承つた津田選手は營口を出發し今八日午前六時五十七分周水子に於て武田白班々長の出迎へを受け八時三十五分車を轉じて

旅順に 向ひ午前九時三十六分旅順に到着し直に驛長室に於てサインを終り大連より回送せる自動車に打ち乘つた、驛頭には市民多數、それにこの日旅順の招魂祭とて一入の賑はひを見せ「萬歳」々々のざわめきに會釋しつゝ一路大連に向け疾走した、途中本社員の出迎へ自動車の後に從ひ大連驛頭に到着したのは十時三十二分であつた、驛頭には

宇佐美 審判長、寒河江、伊澤、篠原、高橋、米野、臼井、各審判委員、平野、貝塚兩顧問、高山大連署長、尾間本社取締役それに紅白兩班の關係者本社員及び市民多數がつめかけてゐる、津田選手は到着と同時にひらりと自動車より飛び降り、かねてしつらへてあつた驛頭の審判卓子に於て鎌田大連驛長に通過證を示してサインを求めた、鎌田驛長はサインし終つて高々と「十時三十二分」と叫ぶ

拍手と 歡呼が期せずして起る、それより宇佐美審判長に通過證及び驛傳必要品を返還し終り、シャンパンを拔いて「白班萬歳」を唱和し、驛前は爲めに時ならぬ大賑はひを見せた、かくして無事先着の榮譽を得た白班選手は尾間取締役、米野編輯局長、臼井總務部長及びジャパンツーリストビウロウの人々と共に大連神社に詣でた、かくして二十日間にわたつて全滿の

人氣を 集めた本社主催の滿蒙十五鐵道驛傳競爭三千五百哩の突破は白班先着の凱歌をあげた

排日が熄まねば條約改訂に反對
芳澤公使王氏に警告

【上海七日發電】芳澤公使は本日午後五時有野通譯を伴ひ王正廷氏を外交部に訪問會談約二時間七時過ぎ辭去したが、會見の內容は條約問題交渉下打合せ、南京、漢口事件、濟南事件損害調査下打合せをなした後芳澤公使より排日取締は國民政府より言明あるにもかゝはらず上海其他の各地で依然日貨壓迫の跡を絕たず、兩國貿易は殆ど改善の跡なし、日本人商人は排日取締に支那側誠意なくば通商條約改訂交渉開始の必要なしと唱へ居り之は軈て日本全國民の輿論となりつゝあり、日本政府は曩に聲明せる通り飽くまで互惠平等の原則に基き各國に卒先して條約の改訂をなさんとするものであるから支那も此際熟慮して交渉が圓滿に進行するやう處置されたしと警告をなした、而して公使は對支債權整理に關しても支那側の事情を質したが王氏は未だ準備整はず列國會議招集の運びなしと述べた

我政府の對支方針披瀝

【東京八日發電】イギリス大使チレー氏は七日午後四時外務省に田中象務外相を訪問し一時間半に亘つて要談したが、右は主として在支公使館昇格問題及び治外法權撤廢問題につき意見を交換したもので田中外相は我國としては双方共主義に於ては何等異議なく殊に公使館昇格については近き將來之が實現を期待して居り關係各國と協調して同問題の解決に當りたいと思ふと我政府の方針を披瀝するところがあつた

驛傳競爭所要時間廿日二時間廿二分
投票は近く審査發表

驛傳競爭の先着白班のラスト走者津田選手は八日午前十時卅二分を以て決勝點たる大連驛に於て鎌田同驛長より最後のサインを受た、卽ち同班が五月十九日午前八時十分スタートを切つて以來の所要時間は廿日二時間廿二分と決定された、審査委員會は八日夜直に開會して兩班がコースを完全に走破したか何うかを通過證其他の證據によつて審査し勝者を決するのであるが白班の勝利は疑ひなかるべく一方讀者よりの豫想投票は去る廿五日締切以來密閉封印して保管せられて居るが十日夜開票して一兩日後に入賞を決定する筈である

國民黨內部にも反蔣熱漸く激甚
結局下野の外無きか

【東京八日發電】某所着電に依れば韓復榘氏の對中央態度曖昧となれる外國民黨內の反蔣運動激甚となり何應欽氏等は頻りに蔣介石氏をして下野を餘儀なくせしめんと暗中飛躍をなしつゝある等の事情に依り蔣介石氏は遂に下野の外なきに至らん

唐氏太原へ

【北平八日發電】唐生智氏は昨日來平したが蔣介石氏の命に依り何世禎氏と共に七日夜十時衛戍司令部幹部十一名と特別列車を仕立て突如太原に赴いた、卽ち太原に重大會議を開いて中央服從を求めるためであると

閻氏外遊中止

【北平八日發電】閻錫山氏は蔣介石氏の引留に遭つて外遊を中止した

張作相氏赴奉 舊節句後に

【吉林特電八日發】張學良氏の招電を受けながら張作相氏の赴奉は未定のまゝ今日に至つたが愈來る十一日の舊節句後に赴奉する旨側近者に語つた由である

田中大使西行 六日夜哈市發

【ハルビン特電七日發】田中駐露大使は島田書記官、齊々哈爾淸水領事とゝもに六日午後十時五十分發國際列車で西行した

有田局長 けふ奉天着

【奉天特電八日發】有田亞細亞局長は八日午後二時着安奉線急行にて來奉しヤマトホテルに投宿したが、奉天商工會議所では三谷副會頭及び代表者野添書記長等は九日ヤマトホテルに局長を訪問會見し滿蒙の現狀について懇談し更に諸問題について意見の交換をなす筈

某重大事件 會見拒絕 首相貴院有志に

【東京八日發電】滿洲某重大事件に關し政府の成案說明を聽取すべく田中首相に會見を申込みたるに對し田中首相は七日午後二時勝純男に對し政務多端を口實に會見の拒絕を通告したが、貴族院議員としては更に今一應の考慮を希望する旨通告するところあつたが、首相が飽くまで會見を拒絕するに於ては當然貴族院各派の問題とする意嚮であるから本問題に對する貴院對政府の關係はますく硬化の虞あり

英國勞働黨新內閣の閣員公式に發表さる
マクドナルド內閣愈よ成立 勞働大臣には婦人

【ロンドン七日發至急報】英國勞働黨新內閣々員の顏觸れは本日左の如く公式に發表された

官職	氏名
總理大臣	マクドナルド
大藏大臣	スノーデン
外務大臣	アーリー、ヘンダーソン
植民大臣	シドニー、ウエッブ
內務大臣	クラインズ
陸軍大臣	トム、ショウ
勞働大臣	マガレット、ボンド フイールド孃
海軍大臣	エ、ヴイ、アレキサンダー
內大臣	トーマス
大法官	サンキー
樞密院議長	パーモア卿
印度事務大臣	ウエッヂウッド、ベン
航空大臣	トムソン卿
保健大臣	アーサー、グリーンウッド
農務大臣	バクストン
文部大臣	サー、シー、ピー トレヴエリイアン
商務大臣	グラハム
スコツトランド事務大臣	アダムスソン
工務大臣	ランズベリー

閣外大臣の顏觸

官職	氏名
ランカスター皇領尙書	サー、オスワルド、モスレー
司法大臣	ジユーウイット
司法次官	ゼー、ピー、メルヴイル
恩給大臣	エフ、オー、ロバーツ
運輸大臣	ハーバート、モリソン
スコツトランド政務次官	ジヨンストン
遞信大臣	リース、スミス
主計總監	アーノルド卿

なほスコツトランドのロードアドヴオケート及びソリシター、ゼネラルは未だ發表されず、また新に主計總監となつたアーノルド卿は無給である

女樞密顧問官と婦人の大臣 世界で初めてのこと

【ロンドン七日發電】英國新內閣勞働大臣の椅子を贏ち得たボンドフイールド孃は世界最初の女大臣であるが同時に最初の女樞密顧問官として八日ウインゾル宮で新大臣グリーンウツド、アレキサンダー氏等と宣誓式を行ふこととなつた、植民大臣に親任せられたシドニー、ウエツブ氏は今回の總選擧で落選し議席を失つたが、閣員は總て議席を有せねばならぬから氏は軈て貴族に列せられることを意味してゐる

國庫大臣兼攝

【ロンドン七日發電】總理大臣マクドナルド氏は國庫大臣を兼攝する旨發表された

前閣僚等印綬を奉還

【ロンドン七日發電】前閣員十五名は七日午後四時半ウインゾル宮殿に伺候陛下に夫々印綬を奉還し閣外大臣は挂冠の御挨拶を申上げ夫々御椅子に掛けられた皇帝陛下の御手に接吻を捧げて退出した

人事

辭令【東京八日發電】內閣拓殖局書記官兼賞勳局書記官兼關東廳事務官 郡山智 任關東廳遞信事務官兼關東廳事務官（三等）

▲本田康喜氏（奉每大連支社編輯長）今回新任し八日就任挨拶廻訪
▲工藤與吉氏（本社編輯局員）八日發京城へ
▲森初太郎氏（大連港水先案內人）八日入港ばいかる丸にて來連
▲久留弘之氏（建築技師）同上
▲門田新松氏（元代議士）同上
▲伊藤金太郎氏（大每學藝課長）同上
▲佐野新三郎氏（官吏）同上
▲天知俊一氏（大學野球審判員）同上
▲横澤三郎氏（同）同上
▲北路新報主催新潟縣滿鮮視察團一行廿二名 同上遼東ホテルへ
▲山西恒郎氏（撫順炭礦長）八日朝來連

大觀小觀

英國勞働黨內閣成る、首相マクドナルド氏を初め、スノーデン、ヘンダーソン、クラインズ、ウエツブ、トーマス等々これ一流の人材網羅。

◇

勞働大臣に婦人擢用は正に紅一點の異彩。

◇

勞働黨の閣僚に貴族があるなど英國ならでは見られぬ點だ、

◇

貴族院の連中がマダ某事件をゴネ廻してゐる。頑冥度し難し。

◇

驛傳競爭完了。各方面の援助を感謝する。

◇

當事者が如何に眞摯な努力をしたかを酌んで欲しい。

天氣豫報

九日（晴れ）南東の風 後曇り
日出四時廿七分 日沒七時十八分
滿潮前十一時十分後十一時廿五分
干潮前四時廿五分後五時五十五分

御機嫌いと麗はしく還幸の途に就かせ給ふ

今朝九時、神戶市民の奉送裡に御召艦『長門』に乘御

【神戶八日發電】御召艦長門に御一夜を明させ給ひし聖上陛下には八日早朝御起床、朝の御運動として侍從の人々を從へさせられ艦內を御散策、朝靄煙る神戶市を始め背後の六甲連峰港內等を眺め給ひ暫くも神戶の地に暫し御名殘を惜み給ふた、斯て御召艦出航の時迫るや長兵庫縣知事以下各官衙高等官、有資格者等ランチ十數隻に分乘して御召艦近くに整列、突堤及び海に面した陸上には國旗を手にせる市內各小學校生徒七千餘名を始め數萬の市民奉送申し上げた、午前九時各艦一齊に皇禮砲を發射し陸上の市民これに和して萬歲を奉唱し奉る中を御召艦長門は大井、那智、灘風以下五隻の供奉艦を從へ神戶稅關「をがたま丸」の先導にて次第に沖合遙かに艦影を沒し、畏くも聖上陛下には關西に於ける御親察を滞りなく終へさせられ龍顏麗しく東京還幸の途に就かせられた

白玉山招魂祭

けふ嚴かに執行さる

八日午前十時から旅順白玉山上に於て嚴かに招魂祭が執行された、この日天氣晴朗、新緑を傳はる初夏の風白玉山上に薫り絶好の祭典日和である、定刻一同着席、奏樂裡に修祓今村齋主の祝詞、大麻行事に次いで村岡軍司令官祭司として副官を從へて祭員殿上に參進し千家管長の開扉降神の儀並に警蹕獻饌、齋主の祝詞あり幣物を供へ祭司の祭詞を奏し一同敬禮して玉串の奉獻を終り、村岡軍司令官始め山田要塞司令官、山本少將未亡人、藤岡警務局長その他代表の玉串を奉り、次いで陸海軍學生在鄕軍人その他の參拜あつて十一時半式を終了した、この日奉天からプロンスキー氏が露國側を代表して參列したことは昔日の俤を更に新たにするものがあつた

關東州教育研究會 第二部會開かる

けふ伏見臺公學堂で

第二十九回關東州教育研究會第二部會（公學堂の部）は八日午前九時より伏見臺公學堂に於て開催された、來賓として關東廳の藤田學務課長を初め市橋、村上、淺野、谷口の各視學、小學校より柿野南山麓校々長及び教科書編輯部の津久井氏等多數出席、先づ柳原當番理事より開會の辭を述べ、二

新入會 者の紹介あつて後藤田學務課長より

初等教育は人間の人格の基礎をつくる最も大切なる時期であるが從來に於ける公學教育の實際を見るに概して智識偏重に流れてゐるかの感がある、知育もとより大切であるが情操の陶冶及勤勞の習慣の養成について十分留意して貰ひたい現在關東廳は中國人教育に年々七十萬圓乃至八十萬の巨費を投じてゐるが之は一に中國人の文化及福祉を增進し日支の共存共榮の實を擧げんがためである、近時上海方面より排他的思想が流入してゐるが苟しくも文教の地位にある者はかゝる

不健全 なる思想に謬られない樣呉々も留意して貰ひたい、又職員は常に研究を怠らず語學についても日人は支那語を支人は日本語を十分研究するやう心がけて頂きたい

との訓辭あり、終つて一同各學年に分れて學年研究會を開催、午後も引續き學年會を開き、閉會後會員一同は伏見臺高等小學校の講堂に於て懇親の宴を催した

旅順から大連へ

白班選手最後の韋駄天

（寫眞）上は旅順驛出發の刹那、中は旅大道路玉の浦を快走、下は大連驛着

線路の上に石を置く

南關嶺附近で

八日午前八時頃第五一一バラス列車が南關嶺大房身間に差かゝつた際前方の線路上に長さ一尺厚さ三寸重さ三貫目の石を横へあるを發見、機關手は直に之を取除き運轉したが上りの五一二列車が此の石を南關派出所に屆出でたので時を移さず犯人嚴探中

主人夫婦に重傷を

賭博の意見で

大連市日吉町八番地三木喜三郎（五〇）方の使用人劉純發、劉純金、馬新芝、毛松順、崔魁の五名は五日午後二時半ごろ三木方に於て賭博開帳中を主人に見つけられ意見されたのを根に持ち主人及び妻いせ子（四〇）を棒にてなぐり重傷を負はせたので七日主人は沙河口神社前派出所に訴へ出でた

天知横澤兩審判けさ着連す

明日の實滿戰のため本社の招聘に應じて

實滿野球第二回戰審判のため本社が招聘した東京六大學リーグ戰專屬審判員で、全國ファンの注目を蒐いた早慶戰の審判に當り、明敏果斷なゲームの處理に現代日本球界に一大刺戟を與へた天知俊一、横澤三郎の兩氏は八日午前七時十五分埠頭岸壁着のバイカル丸で來連、船中まで出迎へた本社員並に

埠頭に 出迎へた中澤不二雄、安藤忍兩氏と共に上陸、直に浪速ホテルに入り小憩のうへ本社及び實滿兩軍の幹部を訪問敬意を表したが、球界最近の傾向について交々語る

私共は早慶戰を三回に亘り審判しましたが、新聞で御承知の通り實に凄まじい人氣でした、觀衆は懸値なしのところ一日平均七萬人で三日間を通じて入場出來すゲームを見られなかつた人が三十萬人からあつたといふことです、兩チームの勢力が均等であつたために應援團はもとより選手までが

緊張し たのは今年が一番猛烈だつたと思ひます、今年のゲームは徹頭徹尾打撃戰になつたが、これは打撃が進んだのにもよるが、以前に比して一體に投手の力が弱くなつたと思はれます、慶應の勝因をつくつた水原君は攻守とも實によく活躍してゐました、早大は詳細に言へばいろいろ意見がありますが水原、伊達、伊丹、森、加藤など好い當りをしてゐる連中が、慶應を相當に打つてゐながら敗れたのは自己の

打撃を 飽まで伸ばさうとせず小川投手のピッチングに恃みすぎた觀があります、二回戰の投手の用ひかたに多少の無理があつたのではないかといふのが球界の玄人筋の間に於て殆んど一致する批評です、リーグ專屬の審判員が出來たのは昨年からですが、審判に對する一般選手の態度は以前とは全く比較にならぬほどよくなつて、言動に於いて審判を牽制するやうなのは皆無になりました、實滿戰は早慶戰とは別な意味で非常にエキサイトするさうですが

私共は 自己の信ずるところに從つて最善の審判をするつもりです、ゲームの前に兩軍の主將にお目にかゝつてグラウンドルールの協定、並に最近審判法で最も喧ましくいはれ、隨つて問題を生じ易い投手の投球動作について、事前によく打合せをして置かうと思つてゐます

（寫眞は天知氏左と横澤氏）

甘い男

藝妓の返品說諭を願出

馴染藝妓の仕替に際し友人からトランク一個を借りてやり、自分が修理方を依賴した金側時計を返して呉れるやうと八日遙々朝鮮から返品請求の說諭方を願つて來た甘い男があつた、この男は朝鮮平安北道新義州營林署勤務下田關太郎と云ひ大連逢坂町貸座敷一力樓抱藝妓文彌こと西島キヌ（二〇）が平安北道慈城郡閭延面中坪洞料理店得月樓に稼業中

馴染を 重ねたもので、大正十五年右キヌが安東二番通り七丁目二富士ノブ方に仕替に際しその依賴により友人竹中政次より牛皮製折疊式大形トランク一個を借り受け直に返還の約束で貸與してやつたが、その後再三の請求をなすも返送せず昨年六月再び現在の場所に鞍替した上同女が中坪洞を出發する時金側懷中時計時價七十圓のもの一個を安東で修理かた依賴され携行したまゝこれも未だに返品しないと云ふのである

貧困の哀れな盲目 關東廳で極力救濟

恩賜財團慈惠資金を以つて民政署に調査を命ず

盲目の中にも治療次第によつては救濟し得る者あるも貧窮その他の事情により徒らに不遇を喞つてゐる者わが關東州內には相當ある模樣なので、今回關東廳では恩賜財團慈惠資金に於て右の如き惠まれぬ薄幸者に對し一定の日時に一定の場所に集合せしめ專門醫師が

檢眼し 手術の見込あるものは入院手術を加へ開眼光明の幸福に導くべく計畫し管下各民政署に對し十五日までかゝる薄幸者等の調査報告方を命じたが、この調査の範圍は全く失明した者のほか失明者にあらざるも他人の力を借りるにあらざれば起居進退に不自由を感ずる程度に視力減退し居る者をも包含し日支外人の別なく平等に施行すると尙調査の範圍は住所、氏名、年齡失明の程度、失明の原因、兩親が四等親以內（叔姪、從兄弟等）の血族結婚なりや否や、扶養上保護者あるものは其保護者の住所氏名、本人または保護者の資力等である

大連、甘井子間の渡し船問題

水上署の態度注目さる

大連甘井子間の渡船問題は所轄水上署の取締方針が一定せぬため現に就航許可を受けた營業者は勿論許可を受くべく運動中のものも頗るその去就に迷はされてゐる、即ち今後水上署が如何なる態度をもつてこの渡船業者に望むかはこの際興味のある問題として注目されてゐるが、今のところ慶報の甘井子草分會の渡船業出願を許可するや否や全く不明で、水上署においてもこれが採否に少からず惱まされてゐる、それかあらぬか八日午前脇山保安主任は寺田署長の命を受け關東廳の方針を確むるべく赴旅した

名古屋享榮商業學校の植民地研究團

けさ初航海の貴州丸で來連す

實業教育の實際化から惹いては次代の國民たる青年の海外發展を企圖する名古屋市の享榮商業學校では、第四回植民地研究團として生徒六十二名を校長堀榮二氏外四名の職員が引率、去る三日名古屋大連間直通初航海の貴州丸で名古屋港を出帆、八日午前着連すると同時に直に本社を訪問參觀した、一行は市內見學一泊の上九日午前旅順市街戰蹟及び博物館等を見學、十日午前歸連し同八時十分發急行で奉天に向ひ、撫順から直に朝鮮に入り平壤京城を經て釜山から乘船十七日歸名の豫定である

傳染病流行期に入り檢病的戶口調査

愈よ大連署で取掛る

夏になつて疫痢、赤痢等の流行病もボツボツ頭を擡げて來たので大連署では之等夏期傳染病の撲滅のため傳染病患者の發見に付き格段の注意を拂つてゐるが、更に萬全を期する爲めにこの十日より檢病的戶口調査を勵行し以て傳染病患者の早期發見に努むべく六日管內各派出所に手配した

門司馬場遊廓燒く

【門司八日發電】今朝三時半門司市馬場遊廓玉川樓より發火し一帶の高樓に飛火し娼妓遊客等は寢入ばなの事とて大混亂を呈した、猛火は東本町に出で五時半漸く鎭火損害は數十萬圓に達する見込み

日曜の催し

▲實滿野球第二回戰 午後二時より實業グランドにおいて
▲拳銃射擊會 午前八時より春日町射擊場において
▲音樂演奏會 午後二時より滿鐵協和會館において
▲ピンポン大會 春日池において午前八時半より
▲第二回畜犬展覽會 午前十時より中央公園において
▲救世軍大連小隊 午前十時「聖潔と誘惑」酒井參軍午後八時「靈魂の改告」西部大尉
▲日本メソヂスト教會 午前八時半日曜學校同十時「神の召」スタッキー女史午後七時半「イエスと女性」北島女史
▲敷島町基督教教會 午前十時半「勝利の使命」磯部牧師
▲沙河口基督教會 午前十時「大なる慰藉者」高橋牧師午前「靈魂の故鄕」同師
▲日本基督教會 午前十時「信仰の建設」白井牧師午後八時「靈の昂揚」同師

◇……黑河地方はいよいよ完全に流氷を終り汽船の航行を開始した【哈爾賓發】

◇……連日の旱魃で遼河は著しく減水し殊に上流通江口附近は水深二尺位の淺瀨少くない、先日少量の降雨を見たが增水までに至らず人馬は河中を容易に渡渉してゐる有樣で戎克は何れも自由を失ひ鐵嶺營口方面への水運は杜絶してゐる【鐵嶺發】

平安異香（13）

葉多默太郎作　中一彌畫

非常線（一三）

「誰か棒を貸せ、短い奴がよい」捕棒にも長短いろ〱あるが、黒住源八郎が選んだのは、三尺ばかりの樫の棒で、兩端に鍛鐵を冠せた半棒と云ふもの——それを手にすると、手慣しに二三度扱いてみて、覆面の夢之助の前へ出て往つた。

「夢之助、行ぞ。黒住源八郎だ」

すると「クツ」と覆面が笑つたやうだつた。が、「さあ來い」とも云はず、じつと源八郎に眼を据える。流石に、構へが幾分固くなつたやうだ。惡い事だが、相手が相手だけに仕方がない。

「さあ！」と源八郎の腰が入る。」

構へは——何といふのか傳はつてゐないが、棒の中程を右手に摑んで、ずつとそのまゝ突出してゐる。棒を見せてゐるやうな恰好——足は、右足を半歩踏み出して、體の重心がそれへかゝつてゐるかと思ふと後足へ移る。呼吸と共に浮動してゐるので機に應じて風ともなり水とも化し得る眞に自由奔放た形——

が、然し、眼に熱が加はつて輝き出したのは、次第に呼吸が入つて來た爲であらう。見ると、夢之助の下段の太刀先も、息づくやうに脈動し始めた。

切迫！——

と見る瞬間、

「……」無音の氣合！諸共、白蛇の飛瀑に躍つたと見たは、夢之助四尺の大業物、斜上段に勇躍したが眼にも止まらず、サツト殺風を捲いて源八郎の頭上に落ちたのだつた。

そして、その一瞬の間に起つた事は——

パチン！と宙に響いた木と金の反撥し合ふ音。

トンと肉が肉にぶつゝかつて一つになつたと見た刹那、砂烟と共に、一つの體がパツと一間ばかり跳び退がつたこと。

そして、それを追つて、ピッタリと平正眼につけてジリ〱と迫つて行くのは棒の源八郎。

初手の一合は、源八郎の勝だつたと見える。

この爲めに、夢之助と小太郎との間に二間ばかりの間隔が出來た。捕物は一人一人に分けるに限る。だから、この機を逸せず、取圍んだ捕吏が間へ割込んで、「ヤ、ヤ！」攻めたてながら双方へ押て往つた。五六間にもなるともう大丈夫、捕吏は自由に立廻られる。

然し、かうなると例の松明屏風が役に立たないから、豫備の捕吏がそれを拾つて捕物の動く方へ持つて廻る。

女面の小太郎はすつかり癇を立てゝゐた。口癖の「クソ！」「クソ」を連發しながら、滅法に劍を振廻して氣の狂つた猛獸の有樣。全く危なくて近寄れないので捕吏は遠卷だ。

「ワツ！」と云つてかゝつたかと思ふと、

「ワツ！」と云つて退く。

これを逃げながら見物して、

「やれ、やれ！そらやれ！」と手を叩いてゐるのが、我から●●つけつの勘兵衞すつかりいゝ氣持になつて我を忘れたものと見え小太郎が捕吏を斬つても喝采する。が、ふと自分が捕吏の乾分である事に氣が付くと、

「畜生！」

どうしてくれようと思ふのだが劍を執つてまともに向ふのは心細い。自信が無いので止めにして、思ひ付いたのは一ツの妙案。

そこらぢうに轉がつてゐる松明を集めて來て、これに點火しては小太郎に投つける。向ふへ飛んだ奴を、向ふへ行つて拾つて又投つける。

これには小太郎も參つたらしい。何しろ相手が火だから構はずにはおけない。太刀で拂ふのは拂ふのだが、そこへつけこんで棒が來る肩を打たれる足を拂はれる。

で、小太郎は、例の「クソ」「クソ」が益々激しくなつて大苦戰だ。

その時、夢之助と源八郎の二人は、これは流石に上級だ、亂れない。相變らず正統の太刀打の構へで睨みあつてゐる。

が、最もひどいのは、向ふの天狗岩の所でもみあつてゐる、先手の舟の山盗の群と捕吏の亂戰だつた。

貞奴と川上樂劇園

東京の帝劇と邦樂座に毎月出演して滿都のファンを熱狂せしめつゝある川上樂劇園がいよ〱來る十五日から協和會館と大連劇場で公演をすることになつたこの樂劇園は劇界を引退した川上貞奴が久留島武彦氏に相談し故音次郎氏の遺志を繼いでお伽劇の完成を期して生れ出たもので貞奴が園長に久留島武彦、巖谷小波、菊池寛、山本有三氏等が相談役になり各方面名士の賛助後援を得て第一回の園生五十名を募集し學園を帝都郊外多摩川の畔に創設したのである、その理想とする所は家庭に對する純眞な娯樂を提供するのが目的でありその時の第一期生は七歳から十六歳までゞいづれも相當な家庭に育つた未だ一回もステージに立つた事のない純眞無垢なものゝみを選拔して養成に力を注ぎ音樂は高階哲夫、管樂は久松鑛太郎、ダンスは高田雅夫、舞踊と劇は市川猿之助、市川小太夫、中村翠娥などが指導の任に當り大正十四年六月開園以來數十萬の經費と之等の先生が五年間の努力とによつて茲に漸く現在の樣な美しい少女や少年ゝ濃艶巧妙なる藝術とをもつて滿たされた川上樂劇園が出來上つたのである其後園兒も大きくなつたので、兒童樂劇園を改稱して單に川上樂劇園ゝ稱し流行のレヴユウ等を上演して好評を博してゐる、今回は能島武文氏が監督として一行と共に來連すると【寫眞はスパニツシユダンス】

映畫と演藝

綾助沿線巡業

三絃界の妙手仙平と共に來連し大連劇場に開演して好評を博した女義太夫竹本綾助一座は沿線各地同好者の招きにより沿線巡業に上る事となり今夕の瓦房店を振出しに九、十日鞍山、十一、二日遼陽で開演し順次北上する筈であると

▲映畫文藝（六月號）　植民地の映畫（石卷良夫）カッテイングの技巧（伊藤大輔）映畫會社發達史（石川俊彦）ストーリイ、システム（城戸四郎）青き光と夢（小說）淺原六朗、海賊（シナリオ）今東光、十六ミリの研究（飯島正、岡村章、西村正美、長田幹彦）近代高速度戀愛（龍膽寺雄、如月敏、內田岐三雄、飯田心美、武川重太郎）キネマプリイチス（エロピク）港川不二夫（東京麹町區隼町映畫文藝會發行定價二十五錢）

協和會館の映畫映出について映畫人がよつて隨分やかましいことを言つてゐる▲殊にヤマトホテルの伴奏が議論の中心で賑やかなこと▲山上伊太郎の影武者がゐる、あれは浪人街の原作者で原稿料が二千圓だとスッカリ映畫街の評判になつたが▲噂の御本人に會つて見ると全くの流言蜚語で流石映畫界だけに巧に興行價値をつけたものと判明▲斯うなると愈々滿洲のシナリオライターは秋村君ひとりですか▲帝國館の指方技士が感ずるところあつて斷然禁酒したそうだ▲新流行語「嫌ちやありませんか」が花柳界方面にも流行り出して來た

漫話

峠茶屋

青葉若葉に包まれたる國境ひの峠一軒の峠茶屋から立ちのぼる湯氣の煙が、正午下りの陽の光の中に徐かに消へて行く。婆さんが孫娘らしいのを相手に頻に湯茶の用意をしてゐる。

『お光坊や、隣り村の權太どのが今日はいよ〱東京へござらつしやるだ、偉いことだ……』

『互い關取にならんして、いつ又村へ歸らつしやるだかな』

『あれ〱、もう皆の衆が向ふから御座らつしやつたゞ』

權太の出世

權太郎今歳十六、五尺六寸、二十貫、鎭守樣の村相撲に十二の歳から土つかず、未來は天晴れの横綱ぞと、其評判は隣り三ケ國まで響ひてゐる。去年の秋祭に本相撲上りを投げ飛ばしたる取り口を折柄歸省中のいかづち關に認められたが運の緒、相撲好きの村長殿の肝煎で、いかづち關が萬事を引請け、東京へ上らせて一廉の關取に仕立上げようとちやんと話が纏まつたのである。本人は固より親類一統の欣び此の上なく、母家の祖父さんなどは『權太は偉い、道理で產れた時に甚句踊の格好をしとつたわい』汽車場まで村の衆に送られて、今日は權太の鹿島立ちであつた。

鈍馬め！

東京へ着きいかづち部屋に入つた權太は必死になつて稽古を勵んだ。もうざんぎりが藥で結べそうになりかけた頃から、權太は妙に元氣を失つて來た。顏色も惡いし、頭の働きも鈍つて來た。如何に本人が氣張つても、相弟子等が馬鹿にしても、どうにもならない意氣地無しになつた。いかづち關も到頭しびれを切らして大息した。『鈍馬め俺の眼鏡が違つたか』

夏場所が見もの

權太の近況が村へ知れたので、村長、村の衆、親郷中が心配し出した。お光も峠茶屋でソツと涙を拭ひた。權太を最も能く知る母家の祖父は去年沒くなつた權太の母が權太は生喰ひが過ぎるで腹に蟲をわかすなよ、といつも云つて居た事を思ひ浮べ、根が漢方醫だけに蛔蟲の仕業と睨んだのが救ひの船、蛔蟲下しマクニン錠が飛脚に送られてから十幾日目、いかづち關から權太元氣倍蒲夏場所の土俵が見もの、との知らせに皆は非常な大喜びで忽ち近在の噂となつた。

明治四十年八月二十日 第三種郵便物認可

滿洲日報

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

哈市の露總領事館を斷然閉鎖せしめて
赤化宣傳を根本的に抑壓す
支那側の態度決定

【ハルビン八日發電】ロシア總領事館の押收文書中から東支線沿線一帶の勞働組合が共產黨の細胞なることが判明したので奉天側は斷然同總領事館を閉鎖すべしとの根本方針を定め押收文書は取調終了後南京政府に送附することゝなつたが總領事館の閉鎖はロシアの北滿に於ける赤化宣傳を根柢から覆す譯である

國交斷絶を期して東支鐵回收を斷行
鼻息荒き國民政府

【上海八日發電】ハルビンのロシア總領事逮捕國外追放に伴ひ露支關係いよ〳〵重大化し來たりたるが、國府では此の際國交斷絶を期して東支鐵道回收を斷行すると鼻息頗る荒きものあり、右につきフランス公使マルテル氏は今朝王正廷氏と會見し萬一露支國交斷絶する場合には東支鐵道に對するフランスの借款を如何にするかと詰問し、王正廷氏は又かかる場合における國交斷絶の際における諒解を求めるフランスの態度につきただしたが、佛支兩國共その内容を嚴秘に附して居る

から二國の精兵を選んで宜興、南京の二隻をもつて兩三日内に輸送することになつて居り又松花江口には現在砲艦一隻と海軍陸戰隊が六十名駐屯してゐるに過ぎないのでこれまた近く二百名の増兵を派遣すると

赤衛軍行動說に支那側は增兵す
北滿露支間空氣險惡

【ハルビン特電七日發】當地勞農總領事館の手入れ事件並にこれに對するカラハンの強硬な抗議などにより北滿における露支間の空氣は急に危惡な色を示しブラゴエスチエンスク及びハバロフスク地方では頻りに赤衛軍の行動開始が傳へられてゐるのに鑑み今回支那側では黒河並に松花江口に增兵して邊防の軍務を一層嚴重にすることになつた、即ち黒河、璦琿方面へは當地駐防の第十八、第二十六旅

逮捕黨員の處罰方針

【ハルビン特電七日發】今回の事件で勞農總領事から拘引された三十九名の共產黨は今尚警察で取調べ中であるが當地支那司法當局は大體次の如く見てゐる
即ち中華民國の新刑法によるとこの事件は三民主義に反する反動的革命とも稱すべき政治犯でこれに適用する法規は支那には從前なかつたが民國十七年三月

初めて制定された、然し如何なる條文によつて彼等を處罰すべきか又は當地において審判するか或は奉天へ移すか今のところ全く不明であるが一般の規定に從へば當地の高法院等であるが多分當地か或は奉天において特別審查委員會が組織されるに至るであらう

蔣氏は處置を是認

【奉天特電八日發】過般奉天官憲がハルビンの勞農ロシア總領事館と弾壓事件は事前に於いて南京政府とは何等打合せなかつたのであるが事後において張學良氏は蔣介石氏に向つて詳細の報告を爲した處蔣氏は其の擧を至當なりとし尚其の押收文書中馮玉祥氏關係の命を至急送付するやう命して來た

ク總領事赴莫

【ハルビン特電八日發】滿洲里に拘束取調中であつたクヅネツオフ氏は當地メリニコフ總領事から奉天當局に對し交涉の結果釋放され田中駐露大使を乘せた哈爾賓六日晚發七日夜滿洲里で接續する列車に同乘莫斯科に向つた

王正廷氏我援助を求む
芳澤公使と會見

【上海八日發電】露支國交深刻化の際芳澤王兩氏の七日の會見で王氏は若し露支國交斷絶の場合日本の好意と援助を期待出來ぬかとたゞし芳澤公使は回答を保留したが王氏は更に極力諒解を求めた

徐州から河南へ南京軍の大移動

【上海八日發電】徐州、鄭州間の隴海線鐵橋修理成り同線は昨日より開通したので、南京軍は徐州より河南に大移動を開始した

馮玉祥逮捕令取消の交涉

【北平八日發電】閻錫山氏は太原から蔣介石氏に對し
一、先づ馮玉祥逮捕令を即時取消すべし
二、馮玉祥部下の改編に就いては適當の方法を執るべし
三、馮玉祥部下の生命及び家族の安全を保證せば責任を以て政府のため馮軍を懷柔すべし
と通告した、之に對し蔣介石氏は
一、馮玉祥が眞に下野して外遊のため華山を去り運城に來らば逮捕令を取消し途中を十分保護すべし
二、馮の部下は編遣會議の議決に照して改編す
三、馮軍將士及び家族は十分保護す
と回答したが、逮捕令取消に就いては兩者の主張に間隔あり馮軍の懷柔は相當困難なる模樣である

紅班選手の大連驛着

(下)は通過證のサイン

三派の時局會議
八日太原で

【北平八日發電】唐生智、何成濬氏等は今夕太原着のはずなるが一行中には奉天代表張維城氏も參加し、今夜省政府で閻錫山氏の外最近潼關にて馮玉祥氏と會見せる朱綬光氏と會見し南京、山西、奉天三派の對時局重要會議を行ふと

平漢線開通す

【北平八日發電】平漢線は黒河鐵橋破壞箇所の渡船連絡で今朝から全線開通した

滿鮮各地を遍歷したい
犬養翁語る

【上海特電八日發】夕刊所報の如く八日芳澤公使と共に大連丸で青島へ向つた犬養氏は出發に際して左の如く語つた
これからの旅行は全く見物であるから豫め日程など定めず天候と氣分次第である、今の處では青島濟南を見物して泰山に登り漢魏六朝の碑を訪ねて聊か書道の研究に資したい、泰山には二日ほど滯在して北平に赴き更に天津經由大連に向ふ積りであるが何日頃大連に着くか見當がつかぬ何分老體のこと故暑さと身體具合を見た上滿鮮各地を出來るだけ廣く遍歷したいと思ふ

各國代表調印し獨逸賠償額決定
日本は千三百萬金馬克

【パリー七日發電】ヴェルサイユ會議以來獨逸復興の癌と目された賠償問題は今日歷史的解決を遂げた、即ち賠償專門委員會は二月來努力を續けて遂に報告書を完成し本日午後五時五十二分獨逸代表シヤハト氏以下關係國代表の調印を了したのである、斯て獨逸の賠償は確定するに至つたが日本の受くべき額は千三百萬金馬克である

勞働黨內閣は威海衛を還附
同時に英艦の劉公島碇泊承認を要求か

【東京八日發電】確實なる筋への情報に依れば、英國勞働黨內閣は愈威海衛の還附をなす模樣である、之と同時に英國軍艦の劉公島碇泊の承認を求めるであらうと、右は英國東洋艦隊の根據地香港が夏期の暑熱甚だしきと北支の事件發生に備へるためらしい

錚々たる閣員の顏觸
新成立の英勞働黨內閣

【ロンドン特電八日發】英國新內閣の顏觸れ中紅一點の女大臣ボンド、フィールド孃を獲たことは何といつても新內閣の人氣の中心たると共に、追に勞働內閣と世界をアツといはせた觀がある、ヘンダーソン、トーマス、クラインズ、スノーデン諸氏が夫々樞要の椅子を獲たことは異とするに足らぬが新にグリーンウツド、モリソン、モスレの三氏を拔擢して大臣としたのは同黨內の人物拂底を緩和すると共に、黨の將來の爲め黨內の若手の訓練とも見られる、三氏ともに若手の錚々たる者でダルトン博士と共に將來の黨領袖として目されてゐる人である、問題の外相は適任者マクドナルド氏に及ぶ者はないが、氏は黨務を主宰する關係上到底兼攝を許さず、マ氏に亞ぐ適材ヘンダーソン氏の起用を見たわけであらう、其の他スノーデン氏の大藏、クラインズ氏の內務は共に適任といふべく、四領袖の他の一人トーマス氏の內大臣は稍閑職の觀あるも、議會の內外に對する驅け引に就いて首相を補佐せしむる陣容とも觀察される

奉天城內の錢莊一齊に休業
官憲の帳簿檢查から

【奉天特電八日發】六千元を突破し漸落步調にある奉天票は昨日六〇元まで上たが一方官銀號では反四七〇元まで下落したので支那官憲は今朝城內錢鈔取引人の帳簿檢查を開始したので錢鈔取引人は一齊に門戶を閉ぢ休業するに至つた
之がため相場は今朝昂騰し六〇二〇元まで上たが一方官銀號では反對に金票買戻しを纔に始めてゐるので如何なる對策を執るか豫測出來ざる狀態にあるも一般は依然悲觀してゐる

對滿方針の根本に變りなし
有田局長奉天で語る

【奉天特電八日發】有田亞細亞局長は間島方面の視察を終へ八日午後二時京城より奉天着、驛頭には森島、內田二領事、森田民會長、畑特務機關長、鎌田滿鐵公所長、江藤中日實業專務

その他
官民多數出迎へた、有田氏は語る
今回の旅行は濟南事件、南京漢口兩事件の解決に次いで日支通商條約改訂等日支間の諸懸案一段落つけるをもつて、その餘暇を利用し今まで見ないところを步いてみやうといふに外ならぬ特に間島視察に行つたのも重要なる土地だと思ふために特にその爲めどうといふ譯でない、また自分の視察の個所からみて滿蒙の重要案件たとへば鐵道問題土地問題の解決の實地調査とみるは間違つてゐる、鐵道問題は滿鐵がやることになつてをり土地問題は目下交涉休止の狀態にある

政府の對支または對滿
方針が確定まりなきが如くいふは間違ひで根本方針は一貫せるも支那の事情の變化につれて方法が變るのみだ、支那との交涉は南京政府相手なることはいふまでもないが地方的問題は依然地方長官を交涉相手とするに變りはない、張學良氏とは旅行の都合上會はぬ積りだ、奉天には二泊後奉海線で吉林へ出る筈だが敦化へ行くかどうかは未定である、歸途大連に出るが北平

首相と貴院代表近く會見

【東京八日發電】田中首相は昨七日貴族院代表の某重大事件問題に關する會見申込を拒絶はしたが、八日に至り田中總理は
昨日斷はつたのは多忙のために過ぎぬが調查內容を話すに何等躊躇するものでない
とて鳩山翰長から午後二時より三時の間に官邸で會見したいと井上清純男に通知したが、貴族院側は都合のため田中首相を訪問し得なかつたのであらためて十一日兩者間に會見日取打合せをなすことゝなつた

天津方面は行つてみたいけれどもいまの處判らぬ因に氏の旅行は約一ケ月の豫定である、なほ有田氏の奉天旅宿はヤマトホテルである

重光總領事歸朝

【上海八日發電】重光上海總領事は明九日長崎丸にて歸朝し約二週間東京に滯在して條約改正交涉排日問題等に關し本省と打合せの上交涉方針を携へて歸任し、芳澤公使の再び上海に來るを待ち今月末

から交涉を開始する筈特に芳澤公使は王正廷氏との會見の結果及び領事裁判權撤廢に關する外交團協議の結果を本省に詳報すると

文相一教員に一本參る

【東京八日發電】全國教員大會は八日午前九時より帝國教育會館にて各府縣よりの代表者八百七十名出席田中首相、勝田文相德川貴族院議長等參列勝田文相は教育振興に關する御沙汰書を奉讀後約一時間に亘り訓示を試み各府縣提出の議題の審議に入つたが、今回の議題は直接教育者の生活問題と關連してゐるだけに非常な緊張味を見せ、文部大臣が訓示に於て國民精神を養ふため人格的教育を必要とする旨を述べたに對し、一教員は突然立ち上り
國民精神が惡化して來たのは政府の方針が惡いからで、今日の如き方針では精神的教育等は出來ぬ
と文相に喰つてかゝるなど從來とは大分型の變つた場面を呈した

中學の入學試驗撤廢は困難
審查委員の意見區々

關東州內の各中等學校の入學試驗考查を撤廢すべきや、昭和四年度の入試同樣に存置するべきやに關して州內各中等學校々長及旅大各小學校々長を以て審查委員會を組織し第一回會議を開催したが小學校側委員は大體に於て撤廢を主張し中等學校委員は存否二派に分れて容易に決定せず、遂に委員から各自學務課に宛意見書を提出することになつた、然し試驗存置派にしても一層試驗は成べく平易にすること、試驗考查は學校の成績より幾分斟く採點し且つ州外からの入學希望生に對して州內の兒童と同一に小學在校中の成績を標準とするには不同意であるといふのが一致した意見のやうである、右に就き藤田學務課長は語る
中等程度の入學試驗存廢に關する委員側の意見は二派に分れてゐるので大體は双方共に理由あり今一應委員會を開催し協議を重ねても纏つた意見は得られぬ模樣であるから、學務課で結局決定せねばならぬかも知れない

入試撤廢派にしても全然試驗制を廢止しやうとする意見でも無いらしく本年度の試驗よりは平易にとの希望意見もあれば昭和五年度の入試考查も赤多分本年度同樣の範圍にするかも知れぬ州內各小學校としては入試の存廢如何は直に卒業生の教育上に關係があるので第一學期の終了するまでにその是非を決定するやう期待し、遲くとも六月下旬までには何とか發表されるであらうが、大體の方針は依然平易な試驗考查を來年度も亦施行することになる樣子である

邊境の防備策

【間島發】延吉警備軍司令吉興中將は東北邊防軍副司令張作相氏の命令に依り麾下の各團及び營長に對し士卒の訓練を極力勵行すべしとの訓令を發し各團長及び營長は之をそれ〴〵部下に傳達すると同時に訓練に意を注いでゐるが右は國防の充實を期する爲めといはれてゐる

合併附議總會招集に決定
錢信會社の重役會

錢鈔信託會社では八日の重役會議の結果臨時株主總會を開催するに決定したがその目的並に理由に關しては絶對反對なる旨を重役の連名を以て十日公表する筈である

反對意見發表
錢信重役側より

議に五品系株主より請求せる合併問題を附議すべき臨時株主總會招集の件に關し錢鈔信託會社では八日午後一時半より同社樓上に於て役員會を開き、高崎專務を初め古澤丈作、伊藤久太郎、赤塚謙太郎、相生常三郎、劉仙洲、張本政、遲子祥の諸氏(神成季吉、任召棠兩氏缺席)出席の上種々協議する處あつたが、結局會社の基礎に動搖を生ぜしむるが如き要求に對しては斷じて應じ能はざるも、商法の規定に準據して臨時總會を開くことを得る以上强て反對することは意味を爲さず、從つて此の際穩便に總會を招集するを得策とすべしといふに意見の一致を見た、然しながら五品系株主が請求したその目的並に理由に對しては會社重役としては飽く迄も反對意見を發表することゝなり、尚招集の日取り其の他に關する一切の處置は高崎專務に一任することゝし同三時半散會

鮮銀支配人の異動發表

【京城特電八日發】朝鮮銀行奉天支店支配人坪井延市休職となり各支店支配人の異動を七日附を以て行つた、開原杉ノ原孝善長春へ、朝鮮元山鈴木仲之丞開原へ、四平街橫瀨守雄青島へ、大阪支店桑尾勝行四平街へ、青島平尾延道本店支店課へその他に異動があつた

大連五月中の特產物輸出
昨年同期より稍減少

本年五月中に於ける大連港輸出特產物輸出數量(白眉、青大豆、黒大豆、烏豆を含む)は大豆十四萬一千三百五十二噸、豆粕十萬三千四十五噸、豆油一萬一千六百七十六噸、高粱一萬二千七百三十五噸にして、前年同期に比し各品共稍減少を見て居るが大體に於て差たる相違はない、これは仕向地別に見れば、大豆は日本向に於て增加し、支那向に於て減少を見、豆粕は日本向が減少してゐるが前年全然輸出手當を見ざる歐洲向が二千五百六十二噸の引合を示してゐる豆油は殆ど異狀なく、高粱は歐洲向、米國の引合が全く杜絶してゐるが日本向朝鮮向が增加を示してゐる今各品につき仕向地別に前年同期と比較對照すれば左の通りである(單位米噸)

品目	仕向地	昨年五月	本年五月
▲大豆	日本	[illegible]	[illegible]
	滿洲	[illegible]	[illegible]
	支那	[illegible]	[illegible]
	歐米	[illegible]	[illegible]
	南洋	[illegible]	[illegible]
	朝鮮	[illegible]	[illegible]
	中國	[illegible]	[illegible]
	合計	[illegible]	[illegible]
▲豆粕	日本	[illegible]	[illegible]
	滿洲	[illegible]	[illegible]
	歐米	[illegible]	[illegible]
	南洋	[illegible]	[illegible]
	中國	[illegible]	[illegible]
	朝鮮	[illegible]	[illegible]
	合計	[illegible]	[illegible]
▲豆油	日本	[illegible]	[illegible]
	滿洲	[illegible]	[illegible]
	歐米	[illegible]	[illegible]
	中國	[illegible]	[illegible]
	朝鮮	[illegible]	[illegible]
	合計	[illegible]	[illegible]
▲高粱	日本	[illegible]	[illegible]
	滿洲	[illegible]	[illegible]
	歐米	[illegible]	[illegible]
	中國	[illegible]	[illegible]
	朝鮮	[illegible]	[illegible]
	合計	[illegible]	[illegible]

遂に決裂
長春商議問題

【長春特電八日發】長春商工會議所紛糾解決の爲來長せる小川關東廳殖產課長に對し八日午後四時笠井赤城赤羽の三氏は領事館に赴き次の如き最後の回答をなした
一、復議員十名を其儘とし新議員十名並副會頭二名の認可を與へること
一、十名の議員補欠選擧は普通選擧に依ること(小川氏の三級選擧を用ひず)而して若し此の回答を承諾せざれば現笠井會頭以下全議員並に會員全部辭任脫會をなすべし
而て小川氏は到底圓滿解決は望みなしとして永井領事、土肥所長中尾警察署長、奧平取引所長ほか反笠井派有志實業團及銀行團の代表を集め笠井派の回答を報告し後笠井派の回答は圓滿解決の誠意なきものと認め茲に笠井派全部の脫會は已むを得ざることゝ思ひ商議解決問題は決裂となりましたと結ぶ處があつた、尚同氏は今夜八時夜行にて歸任すると

拓務省の三局長決定

【東京八日發電】拓務省三局長の人選は八日田中總理の同意を得て左の如く決定した
任拓務次官兼朝鮮部長(一等) 小村欣一
大使館參事官侯爵
任監理局長(二等) 拓殖局長 成毛基雄
大藏省書記官兼總理大臣秘書官 殖田俊吉
任殖產局長(三等)
拓殖局第二課長兼東拓監理官 郡山智
任拓務局長監敘高等官二等

橘樸氏徐州へ

【上海特電八日發】馮軍の鐵道破壞のため河南鄭州に立往生せる橘樸氏は隴海線の開通により十日發徐州に出ることゝなつた

人事
▲久保田久晴氏(海軍中佐旅順駐在武官)八日夜行列車で來連ヤマトホテルへ
▲塚本長顧氏(長春滿鐵病院長)同上

▲白斑のついた旅順驛頭は招魂祭の餘興神輿をかついだ撫浴衣の一行、ワッショ〳〵と選手をとりかこみ人一倍緊張し切つた津田選手の顏を更に緊張させる▲曰く武田何れを見て勢曰く加藤、曰く津田曰く能も一くせあり氣▲若し神藏選手の長春からの來着が一列車遲れなかつたら更に一層物騷さを加へたゞらう何うも白斑には色氣がない▲之に反して紅班は既に安東に大連に濃厚なところを見せ鬼でも取りひしぎそうな秋山選手さへ東支線では支那兵から好かれて將軍と間違へられたといふ▲大連驛頭還にもチラホラ美しい日傘が見えて遂にカメラマンから證據物件をとられるなどとこまでも紅く彩られて情緒がある

特產

◇定期後場(鈔建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十五車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱

▲高粱(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十四車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

混保大豆(裸物) 寄付 六五四〇 大引 六五二〇
出來高 二十車
三等大豆(出來不申)
豆粕 出來高 一萬枚
豆油 出來高 五百箱
高粱(出來不申)
包米(出來不申)

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 近期四十二萬圓 遠期九十一萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金一萬七千圓 銀對洋一萬七千圓

商品

後場

麻袋(保合)
銘柄 約定期 値段 枚數
錢筋 延十月末 [illegible] [illegible]
出來高 一萬枚
參・粉・綿糸・布(出來不申)

神戶特產(八日)
大豆現物 [illegible]
豆粕現物 [illegible]
滿洲小麥 [illegible]
豆油 [illegible]

大阪綿糸
限月 後場寄 後場引
六月 [illegible]
七月 [illegible]
八月 [illegible]
九月 [illegible]
十月 [illegible]
十一月 [illegible]
十二月 [illegible]

東京株式(長期)
銘柄 後場寄 後場引
東株新 [illegible]
五品 [illegible]

東京株式(短期)
中・先・信・中・先 [illegible]

大阪株式
銘柄 後場寄 後場引
大新 [illegible]
鐘紡新 [illegible]
大株新 [illegible]
郵船 [illegible]
東新 [illegible]

滿蒙鐵道リレー擧行記念

滿日婦人週報

傾くものは正しからず 左傾も右傾も不可
民族の繁榮、文化の建設が吾等のもつ使命

莊嚴優美 にして天を突く樣な塔も一度び傾けば見る影もなし、如何なる大家と雖も一方に傾き偏する時は正しきものとしては何等認めるものがない。正しき道は唯一つあるのみである。最近左傾派とか右傾派とか又思想上赤いとか黑いとか稱へられてゐるが實に不快でならない。左傾派所謂社會主義は素より反動思想である、中にも穩健派あり、過激派あり何れにしても社會主義そのものは之を打棄せられなければならぬ。極端から極端へ走る露國の社會主義が實現された今日、一億三千萬人は果してマルクス主義讚美者が勞資平等に共產主義が

理想通り 實行されてゐるであらうか、事實は反對に實に悲慘なるものが有ではないか働いても〳〵私有財產制度が認められぬ以上それが自己所有として持する事が出來ない爲めに働いて貯へると云ふ觀念が全然ない、つまり働いても馬鹿らしいと云ふのである、それが爲めに露國產業はだん〳〵衰微するばかりで理想とされてゐた共產主義は果して露國國家將來の爲めによき運命に落付くであらうか。吾々は實に深憂に堪えぬものがある。確にマルクスは理想的の學說を我々に與へてくれたが

然し今日 之を實現した結果を觀ても說そのものとは實に甚だしい懸隔のある事を見出すものである左傾派に對抗せんが爲めの右傾派も亦目的のためには如何なる手段をも選ばずと云ふやうな左傾派の言論態度に暴擧を以て是に訴へんとするが如きも亦不快でならぬ。五ケ條の御誓文にも萬機公論に決すべしと、又憲法にも言論の自由を認められてゐる。右傾派中にも二千五百年前の原始時代に還れとか云ふ者もあるが、我建國の歷史も顧みず是迄築き上げられた文化の進步に逆反するが如き何れにしても左傾、右傾は

極端から 極端へと偏重されてゐるのは決してよろしくない。最近の思想の潮流はナショナリズムが更に新しいインターナショナリズムを高調されてゐるが、其の歸する處結局は共產主義である。各國其の國體を尊重し即ち國家主義でなければならぬ。そして民族の繁榮を求めなければならない。吾々は世界の潮流に立つて舟を浮べ[illegible]をさして世界に知識を求め我國文化の完全なる建設に努むべく正しき軌道に向つて進まなければならぬ。（蠟山政道氏談）

夏のおくし
—（鈴蘭美容院にて）—

優良者には子供が少い
優良者は滅亡するか

子供が澤山生れるか否かは身體が丈夫か弱いかによつて決るよりもその親の頭腦の程度が高いか、或ひは低能であるかによつて決る。即ち一たいに優良者は生殖力が弱く劣惡者程それが強いのが普通である、世に「貧乏者の子澤山」と云ふ言葉があるが、貧乏者が必ずしも劣惡者とは云へないにしても兎に角優良者には子供が少いとされてゐる。それが爲めに優良者ばかりの集團では遠き未來に全く滅亡してしまふのである。それを統計的に示すと、人口千につき一年の出生數、A集團は一〇、B集團を二〇とし死亡數は何れも一五とすれば次のやうな結果を來す事を獨逸で研究發表してゐる

	A集團	B集團
◇初年	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
◇三十年後	四一九、二〇〇	五八〇、八〇〇
◇六十年後	三二五、二〇〇	六七四、八〇〇
◇百年後	一七五、八〇〇	八二四、二〇〇

斯うして百四十年後にはA集團は全く滅亡してしまふのである、しかし良くしたものでこれは適宜調節されるので優良者は矢張り殘るのである

飲酒家の家系に犯罪者多し
狂人の半分が飲酒の害
時に中量を飲むものに甚し

大酒を飲む害は一般に論じられてゐる事であるが、これは自分の體を損ふばかりでなく子孫にまで害を及ぼす。即ち犯罪者は一たいに大酒飲みの家系から現れる場合が多いのである。道德的にも、法律的にも大酒の影響が認められる。次に白痴とか低能兒或は癲癇なども亦大酒家の家系に現はれるものが多い。之は精神的退化を示すものである。なほ他に身體的の退化も深刻に認められてゐる。大酒の害による精神的惡影響が如何に多いかを調査した處次のやうな數字が示された。即ち病種によつて

◇痲病性痴呆
常に多量飲む者	二〇一
常に中量宛	五五七
時に多量	二一一
時に中等量	四〇九

右三、七六六名の中

◇躁鬱性
常に多量宛	一二八
常に中等量宛	四二七
時に多量	一九二
時に中等量	五八二

右五、〇一九名中

◇早發性痴呆
常に多量宛	一一八
常に中等量宛	三五二
時に多量	一六九
時に中等量	六三三

右六、九二二名中

此の表によれば常に又は時々多量飲む者よりも常に中等量又は時に中等量を飲む者に害が多い事が分るそれでは一層飲むなら澤山飲んだが良いと考へられる處であるがそれならば今度は身體を傷める事になる

姙娠と榮養
ビタミンを攝取せよ
保健との關係

吾々人類が健康を保持し生命を存續する爲めには一定の營養素として蛋白質、含水炭素、脂肪、鹽類並にヴイタミンと之れに適度の水分が必要である、殊に姙娠婦は單に自身を榮養するばかりでなく、同時に胎兒の發育成長に要する榮養素をも攝取せねばならぬと云ふ事は、胎兒の爲めに必要な大量の榮養素は總て母體から

供給 を仰ぐからである。然るに蛋白質、含水炭素、脂肪、鹽類に付ては相當の注意を拂つてゐる樣であるが、ヴイタミンの攝取に付ては等閑されてゐる傾向があるので動もすれば其の調和を缺く處がある、從つて姙娠中は量の上にも性質の上にも一層愼重なる注意を榮養上に拂ふべきは明かである、殊に姙娠初期には姙娠阻害の爲め末期には增大した子宮の壓迫の爲めに兎角食物攝取量が減じ易い關係上姙娠中の榮養は殊更種々の缺陷を生ずるのである

殊に 日本人には不斷れな肉類や脂肪性等濃厚なる蛋白性榮養素を過剩に攝取して強度の便秘や下痢を起し易いのである、そこで含水炭素が吾々の榮養の大部であると云へるのである、所が含水炭素の新陳代謝上常に考慮すべきはヴイタミンBとの關係であつて、含水炭素を多く攝る程新陳代謝を完全にならしめる爲には多量のヴイタミンBが必要である。殊に姙娠中はより多くそれが必要で尙胎兒の神經成分の構成や機能に特別の關係を持つものであるから充分の注意を拂ふべきである。此場合母體の

障害 の一としての姙娠惡阻の如きも或程度まで之れを治療し豫防し得る事は確實である尙姙娠中は齲齒が增惡したり新に發生したりするその原因は、內分泌關係の姙娠による變化や胎兒骨骼形成に必要なる石灰分が母體から大量に胎兒に移行する事も考ふべきであるが、又同時にヴイタミン關係を等閑に附してはならぬ。例へばヴイタミン、が缺乏すれば骨質の石灰分の沈着能力が著しく減弱して而も尿中の石灰分排泄量は非常に增加するものである。斯る場合は姙娠中の齲齒の

治療 や豫防に單にカルシウム劑の應用ばかりでなく、ヴイタミンAの補給に依つて始めて目的を達し得ると思ふ。其他姙娠性浮腫等もヴイタミンAの缺乏に依るものと認められる。尙梅毒以外の原因不明の習慣性流早產の成るものに付て特にヴイタミンCの缺乏が或程度の原因的關係を有するものである元來ヴイタミンCの缺乏は明かに母體に對してのみの障碍に止まらず強く胎兒の發育を阻害し遂には死に至らしむる事もあるので、その重要なる事は容易に理解し得るものである。其他ヴイタミンの姙娠に重大なる關係のある事はいくらもあるがこれ丈けでも如何に姙娠中は榮養素としての重要性を帶びてゐるかで想像せらるゝであらう。

汲めども盡きぬ山の誘惑
近代人が求めて止まぬ山岳、樹林の包む神祕

◇—山岳を禮讚し、山の麗しい壯嚴な風景に魅せられ、山岳の愛に誘惑されて近來登山熱が非常に多くなつて婦人や子供等が加はるゝ樣になつた。

◇—凡そ山の誘惑と云ふものは體驗の無い人には想像の出來ないものがある。山の誘惑は青春の戀の如く眞劍なもので眞に山岳の愛を知る者には山の爲めに總べてを打忘れて仕舞ふ、是を詩的と云はずして何ぞ！

◇—上代人は山岳を神そのものと見、或は神の住家であると見て居た。山岳禮讚の爲めの登山が人間の山を知る初であつたらうと思ふ其の壯嚴なる光景に魅せられて遂に全人格的に誘惑せられて仕舞つた樣な事實が澤山ある。

◇—例へば印度のアーリアン人種の如き又希臘神話にある通りジユピター其他の神々の住つて居た一萬尺からのあのオリンパスの山をば矢張り神の住家として崇めて居つた支那でも不老不死の靈藥を求め好んで人跡未踏の境に出入する儒教の教を奉ずる仙人達が居る、日本にも斯樣な山岳の信仰の爲めに誘惑された人々の多いのを見出すのである。彼の役行者の始めた所謂山伏達は全國到る所の雪山に其の足跡を殘して居る、今日のあらゆる山々を切開いて一般の人々を山に導く樣にしたのは是等の人々の功績であらうと思ふ。

◇—斯樣にして山の宗教的な誘惑の爲めに一生涯を捧げて仕舞つた人々は古今東西に其の例が少くない、又山の麗しい風景に惹き付けられて藝術的な誘惑を感じた人々も亦少くない、是は西洋よりも東洋の方に著しい、それはあらゆる世の中の不思議を知り盡さうとする人間の力即ち欲求であつて、あらゆる自然界を征服しやうとする人間の努力であると思ふ、近代的登山の特徴は實に此の科學の發達に依るものであると云つてもよい、つまり山岳の科學的誘惑に基くものである。

◇—此の外に山の強い誘惑には尙物質的な誘惑が數へられる、日本の火山の中にも昔から硫黃採取とか世界中で一番悲慘な大袈裟な出來事の起つたのは矢張りアンテス山中で、金銀、珠玉をあさつて這入つて行つたのである、處が生憎霖雨が續いて着物は朽ちて殆んど丸裸になると云ふ樣な狀態で甚だしく飢に苦んだ結果白人三分の一を殘す外總べての人が此の山の鬼となつて仕舞つたと云ふ悲慘な事實がある。

◇—十九世紀末には盛んなるスポーツとしての登山家に依つて殆ど歐洲アルプスは總て征服せられた其他スポーツとしての山の誘惑は多方面に向つて展開してゐる、有名な日本アルプスの命名者であるウエルストンが盛んにアルプスを舞臺にして活動をし、其の足跡は殆ど我南北中央アルプスの峰に及んでゐるが、如何に山を愛して居つたかゞ分る、日本アルプスの誘惑が其他幾人かの外人に迄及んでゐる

◇—今から二十四年にやつと日本山岳會が生れ、以來今日迄登山のために年々數十人の犧牲を出してゐるが、然しながら登山は決してそんなに恐しいものではない、其の實水泳のために川や海での犧牲者の數十分の一にも達しないだらうと想像される殊に近年は單に冒險的な登山をするとか、山岳を征服するとか云ふのでなく山の中に落付いてキヤンプ生活等する樣になつたのは本當に山の誘惑を體驗した人と云つてよいと思ふ、之は眞に山岳を理解した者で、もう無條件に山の誘惑に陷つた言はゞ原始時代に返つて靈感的な風景に接して山と自分とが一つになつて驚き、泣き、笑ふと云ふ狀態にゐる

◇—斯うした登山の傾向は今日の物質文明が發達するに伴れて益々發達して行くであらうと思ふ、そして遂にはあらゆる人々が青春の戀を經驗する如く山岳の無限の愛を生涯覺める事なく體驗し續けられて行くであらう（林學博士田村剛氏談）

日曜漫畫

訓戒
「今ト慾シカツタラ市場デイクラデモ買ツテ來テヤルカラ、此イチゴラトツテハイケナイゾ」

去年ノキモノ
「小サクナツタナア」
「大キクナツタナア」

「オーイ この立札が目にはいらないのか！」
「いやア……その未だ魚たちに餌を食はせてやつてるだけさ」
つり嚴禁

麻の着物の手當
着た後には霧を吹く 美しい艶の出し方

◇…夏のお召し物には麻が理想的とされて居りますが、これは麻の特徴として性質が熱の良導體でありますから、良く體溫を放散せしめ同時に汗を速かに吸收し乾き易いので清々しいのであります。又その纖維がすでにさらりとしてゐるので、自然爽かな感觸を與へるのでもあります、麻は一般に高價な布とされて居りましたが、最近では機械で大量製造される結果大へん安價になりました

◇…絹麻などはその良い例でありますが、これは機械紡績の毛羽が立つてゐる事と、光澤に乏しい缺點を立派に補はれて居ります。麻の用途としては着物地ばかりでなく、襦袢や帶、夜具、座布團地、裏地、シャツ地、或は子供服などに應用されて光澤と堅牢さとが愛されて居ります、麻の手入れの方法として先づ洗濯の仕方は一般の洗濯法と變りはありませんが、只麻は汚れの良く落ちる布でありますから、あまり揉んだり引つぱたりしては良くありません。只微溫湯に石鹸を溶しこんでそれに布を浸し、振り出す位で大概の汚れは取れてしまいます、汚れが落ちたら絞らないで乾かします

◇…麻は乾きが早いものでありますから晴天ならばせい〴〵半日位ですつかり乾きます、そして霧を吹きながらアイロンをかけます、洗つた儘では麻特有の光澤が失はれやすいものでありますが、アイロンをかけると新しい品同樣な美しい光澤が出ます、なほ着た後の手當としては一寸淸水の霧を吹いてよく壓押しをして置けば翌朝には折目正しくなつて居ります

お茶のはなし
（一四）お茶の効用
速見宗泉

又茶の生理作用は其含む所の珈琲湼、揮發油及び鞣酸に據るものにて、珈琲と同じ效力を有し又同症に用ひ、殊に類鹼基中毒の解毒藥としては珈琲に優つて居るさうだ。主に興奮劑や腦病に用ふ併し貧血症などに用ふる、還元鐵を服用して居る時に茶を飲めば藥の效力を失して了ふ、還元鐵に限らぬ、乳酸鐵でも、枸櫞酸鐵でも總て鐵劑には敵藥であるから、疾病のため服藥して居るときは、先づ醫師に茶を飲みて差支なきかを聞きて後飲むが宜しい。

日本が世界的に名の知れたのは明治維新後であつて其れで急激に世界の一等國英、米と肩を並ぶるやうになつたのは如何なる譯であるかと佛國にては日本の研究に沒頭し、都會にては歐米の風が交り居てダメだとあつて態々田舍に人を派して純粹の日本を研究して居るそうであります。本邦人に於ても是れは充分研究すべき事と思ひます。此の純粹日本とは如何なるものでありませう。長い間の思想なり風俗習慣なり、道德なり、武士道なりが祖先によつて許容せられたものゝみが凝結して出來上つたものであつて我等が日本人である限り失はうとしても失ふ事が出來ず離れやうとしても離れる事の出來ない精神觀念であります。其の精神觀念を修養するには茶道は最も適したるものと存じます歐米外來文物思想の爲めにも未だ少しも傷けられないのは神教、佛教等の宗教と雅樂、能樂謠曲等の管樂と茶道とであります。然らば茶道とは如何なるものであるかと申せば其れは到底一朝一夕に御談は出來ませんが一の獨立したるものでありまして其關係する範圍は非常に廣いのであります茶道の門に入るにはどうしても實地に研究する外ありません、千宗旦の道歌にも

茶の湯とは耳に傳へ眼に傳へ心に傳へ一筆もなし

豐公は茶道を以て大に政略上にも用ゐ又茶會に於て學問を修業し自己の修養に得る處多かつたのであります。

筍のうしほ煮

材料—筍少々、鯛の頭又中骨適宜、出汁昆布五寸、醬油、鹽茶匙一杯、木の芽少々、

拵へ方—茹でた筍の先の方を千切りに致します。鯛又は白身の魚のあらに鹽を少々強い程度にふり、十分位の後水洗ひして笊にあげて置きます。お鍋に水を五六合煮立たせ、其の中に魚のあらを入れ、煮たちましたところへ出汁昆布を入れ二分間位煮て泡を去り、出汁昆布を取り出し、筍の千切を入れて、二三分蒸します。お魚のあらの鹽が出て、大體鹽加減が出來て居りますが、もしも甘い時には、食鹽を少々入れます。そして火からおろします前に醬油を入れますお醬油を入れて長く煮るとまづくなります。なほこれに木の芽を添へて供します。

今日午後二時から 實業滿俱第二回戰

滿俱軍守備の一隅に變動を生じ 一層の興味を唆る

戰勝の餘威を驅つて更にこのまゝ押切らうとする滿俱、石に嚙ぢりついても敗られぬ實業、第一回戰に劣らぬほどの素晴らしい人氣を沸きたたせてけふ午後正二時から實業球場に火蓋をきる實滿野球模範試合、兩軍共に張りきつた元氣一週間の練習で兩軍の短所と思はれる點も相當補はれてきた、實業は八日は練習を休み英氣を養ひけふのゲームの全力傾注に備へたが練習疲れなどは問題にせぬといふ强氣の滿俱、八日午後四時から普通の通りフリーバッテングを行ひ芥田、片岡君が柵を越えるホームランを盛んに飛ばして電氣デーだといふ勢ひ、その他一體に當りがよく折柄兩軍主將とグラウンドルール協定のため來場した天知、横澤の二審判を驚かしてゐた、滿俱は長澤遊擊手が鄕里に不幸があり出場不可能となつたため永澤二壘手が遊擊に入り、二壘を南條選手が守ることになるだらうと思はれる、このために打順も一回戰に比し大變化を見るべく主戰投手を誰にするかといふ點と共に一層の興味を唆るであらう、而して實滿兩軍とも正午過ぎ入場、一時半までにバッテングを終り直に十分づゝシートノックを行ひ、正二時よりプレーボールを宣することになつてゐる

模範野球試合の 名實を示す

兩審判員の審判振り

米國野球審判界の權威としての名をほしいまゝにしてゐるクイグレー氏が昨年來朝最新の審判法について懇切な指導をして歸米以來東京六大リーグがこれを最も完全にして

理想的 なるものと認め率先して採用、今春のリーグ戰會議で實行を決議した結果專屬審判員に於ては改正審判法により總てを處理して本邦球界革新の實を擧げた、今回實滿戰審判のため八日來連した天知、横澤兩氏は當地實滿兩チームが何れも都市對抗大會に優勝せること及びあらゆる點に於ても一流チームに屬するものなることを認めリーグ專屬審判員全體が現在行ひつゝある方法により審判することとし八日午後五時から、二回戰を行ふべき實業球場を仔細に檢分のうへ兩軍主將と大體の打合せを行つた

リーグ に於ける審判法中特異とすべきは投手の投球モーションに關する點で、投手が各壘の走者に對し些かたりとも欺瞞的の動作をした場合はボークを宣告せらるべく從來とは著しく趣きを異にしてゐる、兩チームの投手は相當細心な注意を要するであらう、次にゲームの緊張味を終始持續させる目的から各回に於ける攻守の交代その他については敏活を望んでゐる等より見て實滿第二回戰は名實共に模範試合たる本領を發揮するであらう

グラウンドルールの協定

天知、横澤兩審判員、安藤實業、芥田滿俱兩主將は八日午後實業球場に於て本日擧行する實滿戰のグラウンドルールの協定を行ひ大體從前通りと決定した

試合經過放送

本日行はるゝ實滿第二回戰の試合經過は例の如く大連商業學校野球部長二宮順氏によつて實戰を見ると同樣な詳細のラヂオ放送が行はれることゝなつた

滿俱特別會員臨時席

本日の實滿戰は實業球場に於て行はれるが、滿俱特別會員は入場口に於て臨時席券の交附を受けられたく、而して混雜を防ぐため各自の座席番號を嚴守されんことを希望する

野球に關する

お問合せは次の電話に願ひます

六三四八
四三二〇
四四九一

奉天支那街大火 二百戶燒く

死傷者もある見込

【奉天特電八日發】八日夜八時半頃奉天北市場支那劇場清林閣の西南隅から出火、見るくうちに同劇場を全燒し更に附近に延燒し支那人店舖住宅約二百戶を燒き拂ひ同十一時頃鎭火した、同所は支那廓とて同時刻は人出多く大混雜し中であるが死傷者もある見込

支那巡警はピストルを突つけて群衆を制した、又日本總領事館警察署では同所附近に朝鮮人普通學校並に邦人錢莊あるため非番召集し萬一を警戒した原因損害取調べ

五時間廿六分遲れ 紅班大連驛に歸着

二十日間に亘る奮鬪も空しく 萬歲の聲驛頭を壓す

本社主催驛傳競爭は戰塵こゝに廿日間、選ばれたる紅班五人の選手が力と熱の張り切つた一丸となり、莞爾として先着の日を誓ふた心懷も、武運拙なく白班をして遂に凱歌を奏せしめた――八日午後二時五十九分着列車で紅班のラストを承つた藤井選手が旅順に到着する日だ、驛頭には本社より出迎えの紅班選手、加藤參謀、滿日販賣店、蔭山旅順市長代理、それに招魂祭の神輿連で

素晴しい 歡迎振りだ やがて列車がプラットホームに入るや、紅班のペナントを打ち振りつゝ藤井選手が元氣な姿で飛び下りると驛頭を埋む大觀衆は期せずして萬歲萬歲を連呼し、初夏の大空に心よく響く、これより直に戰友に護られ自動車に打ち乘り、旅大道路を疾走、途中本社員の出迎えた自動車を連ね、午後三時五十八分大連驛に到着、此時正に白班選手に遲るゝこと五時間二十六分である、驛頭には宇佐美審判長、寒河江、伊澤、篠原、高橋、米野、白井各審判委員、宇佐美四洮鐵道會計課長、高山大連署長、尾間本社取締役および紅白兩班の關係者本社員それに市民多數

熱狂裡に 出迎へる、自動車から下りた藤井選手は直に鎌田大連驛長の最後のサインを受け四個の驛傳必要品を宇佐美審判長に返還した、かくて紅班選手が等しく帽子をとつて佇めば、出迎ふ觀衆も共に帽子をとり米野編輯局長の發聲に驛頭も破れよと起る「紅班萬歲」のどよめきシャンペンの盃が飛び交ふこの熱狂的感激的シーンのうちに驛傳リレー競爭は最後の幕を閉ぢたのであつた

紅班金州通過

【藤井紅班選手八日金州發電】八日午後零時十五分金州着池田金州民政支署總務課長、江口金州支局長其他の熱誠なる歡迎を受け最後迄頑張れと激勵さる、戰ひは最後迄

選手の慰勞會

本社主催滿蒙十五鐵道踏破驛傳競爭は全滿ファンの血を湧かせつゝ白熱的人氣のうちに無事終了したので八日午後七時より電氣遊園登瀛閣に於て參加選手の慰勞會を催したが寒河江審判員外各審判員並に兩班顧問、班長、參加選手相寄り米野編輯局長、挨拶に次いで寒河江審判員感想を述べ各班選手又過去二十日に餘る奮鬪のあとを交々語り盛會裡に同九時散會した、尚審判員は別室で審判會議を開いた

滿洲球界 功勞者として

中澤(滿俱)福山(實業)兩氏を表彰

實滿野球模範試合終了後に 本社から銀杯贈呈

滿洲野球界はもとより廣く全日本的の重要ゲームとして各地ボールファンの注目を集むるに至つた我社主催の實滿野球模範試合が本年をもつて第十回に達したのを機會に今回わが社では、現役選手または最近球界を引退した舊選手にして、長年月野球選手として滿洲球界に活躍した人、或は選手生活以外率先盡力して球界の向上發達に努めた人を大體の基準としてこの内より本社に於て

選拔認定 した人々を滿洲球界の功勞者として表彰することゝし、滿俱選手監督中澤不二雄、實業團外野手福山尋の二氏を右趣旨に該當する功勞者と認め今回之れを表彰することゝなつた、而して兩氏には本社より特製銀杯各一個を贈り、これを記念すべく實滿決勝戰終了後優勝旗授與式に引續きグラウンドに於て贈呈することゝなつた、猶本表彰は本年より引續き實滿戰直後に之を行ふに決した

中澤不二雄氏

球歷 明治四十年十六歲にして神戶一中選手となり同四十二年より四十五年迄(四年級より主將)同年四月より大正五年六月まで(二十歲より二十五歲)明大遊擊手として活躍この間フイリツピン(極東オリンピツク大會)アメリカ、布哇に遠征、大正五年七月より同十二年十一月まで(二十五歲―三十二歲)全關東チーム主將、全横濱軍選手讀賣俱樂部主將、大正十二年十二月より同十五年十二月迄滿俱遊擊手(三十二歲―三十五歲)この間上海及マニラのオリンピツクに遠征、昭和二年より今日まで(三十五歲―三十八歲)滿俱選手監督、この間第一回都市對抗大會に赴き優勝

表彰理由 內地球界との接近に努め滿洲球界の向上に貢獻したこと、竹中、西村、青山、木原、上條、中井、南條、濱崎、永澤、長澤、吉野君等優秀選手の來連に盡力したこと、文筆講演により滿洲球界の紹介宣傳に努めたこと、高橋、奧、櫻井、田部君等の明大入學に盡力斡旋したのを始め多數選手のために補導に努めたこと

福山尋氏

球歷 大正三年廣島商業學校野球部選手となり遊擊手として活躍、大正六年三月同校卒業後直ちに來連福昌公司に入り、同時に實業團遊擊手となり、實業團の全盛時代を現出し、大正八九年兵役を終へ大正十年春より實業團外野手として常に三、四、五番打手となりチームの重鎭として今日に至つた

表彰理由 滿洲球界に在ること十三年間、現在選手中の最古參、技能秀にして遊擊としては輕快無比、外野手としては駿足敏捷、打者としては常にチームの中堅となり勝因を作つたこと枚擧に遑なく、人物溫厚にして篤實す他選手と抗爭不和を生じチームの平和を害したことなく愉快なるプレーヤーとして一般より欽慕されてゐたが今年の實滿戰を最後に引退することゝなつた(寫眞上は中澤選手下は福山選手)

本溪湖神社の 移轉問題再燃す

既に地鎭祭も濟ましたのに 反對派遽に騒ぎ出す

本溪湖神社移轉問題は一時兩派の圓滿なる協調によつて移轉は進捗するものと考へられ關東廳學務課でも移轉を許可し寄附金の募集も差支へなしと保安課で承認したが、愈工事着手に地鎭祭まで移轉派がコギつけた處反對派が承知せず正面衝突となり、反對派は八名の

檢束者 を出し今尚紛糾を重ねつゝある、この現狀からすれば到底兩派は移轉によつて一致せず飽くまで鎬を削るであらうとみられ監督官廳の公平なる裁決を反對派は希望してゐる、反對派の主張せる點は

一、移轉派の横暴であること、現在の位置から中腹に移轉しては大倉男の銅像を建てぬことにしても市民の紛糾を來した今日では氏神としての神社其のものゝ性質から面白くない

二、移轉派は市民全體の同意を得たと云ふが事實でない

三、飽くまで移轉が決行されるならば居住民は淨財を絞つても別に神社を建てる

と敦圍き神仙英、國沼仁太郎氏等外二百餘名の居住民が關東廳に移轉反對の請願をして來た、尚

反對派 の主張する點は假りに現在移轉派が力を以て移轉を實現しても紛糾は永遠に殘るのであるから願ふとならば移轉は無期延期として當局は賢明なる處斷をして欲しいと云ふのである

市內を荒した 邦人窃盜

遂に捕はる

原籍山口縣大島郡屋代村當時住所不定無職濱中爲行(二七)は去る四月二十五日午後八時ごろ大連日の出町五山本實三かたに侵入し、霜降羅紗オーバー一點ほか五點時價八十六圓七十錢を窃取したのを始め同二十七日には山手町三一小澤敏かたより紺羅紗オーバー一着ほか六點時價二百五十三圓、二十九日に日の出町二一向井作夫方へ再び侵入し背廣三揃一着外八點時價二百十九圓二十錢、同四日には櫻町二〇森寅二方より錦紗女羽織一點外十二點時價五百三十圓のものを各窃取し鞍山に逃走後手配により逮捕され今回押送と同時に八日まで右の六件、價格千三百四十七圓の働きを自白したが、同人は最初見込みを附けた家へ石を投付け硝子窓を破壊し留守宅と見れば侵入するものでその手段の巧妙なのには刑事連も舌を捲いてゐた

大作ぞろひ 讀書會展覽會

讀書會の展覽會が本日から三日間大連商工會議所で開かれる、同會は荒木十畝畫伯社中同人の美術團體で毎年上野で展覽會を開き斯界に重きをなしてゐるが、此の展覽會は今春の第二十二回展中の主なる作品を選んだもので、之れまでの展覽會と違つた處は床間の裝飾向の小品ではなく展覽會向きの大作で、何れも作者がありつたけの力を注いだ作品ばかりである點で日本畫としては滿洲では最初の展覽會と云つていゝ、先づ御大十畝氏が墨畫で木兎、彩畫で秋園の力作を見せ池上秀畝氏が珍しく風景畫を出してゐるのを初めとし西澤笛畝、廣瀨東畝、田口黃蕣、荒木月畝氏其他帝展院展の花形で同會の主なる連中の作品が陳んでゐる、猶勿論花鳥が殆と又同社中だけに閨秀作家の繪が多い

美容美髮競技

大連美容美髮競技大會は來る十六日帝通支社主催で歌舞伎座に開催されることゝなつたが、當日のプログラムは丸髷、蝶々等の結上タイム競技及模擬結婚式として花嫁の高島田から化粧着付、式後の洗髮から洋髮に結び替へ新婚旅行の美顔術を施すまでを競爭し更に花見踊を上演して興を添へる筈で美容及び美髮業組合も大擧參加し一般婦人會の興趣をそゝつてゐる

宿料を踏倒す

愛媛縣今治市神明町六十一番地生れ食糧品販賣商中谷輝夫(二六)は去る五月三十日午後三時ごろ大連信濃町五一旅館花屋ホテルに來り、青島の大きな雜貨商の店員だと大風呂敷を擴げ同ホテル二等室に七日まで納まり返つてゐたが、宿料五十二圓四十錢を踏み倒し同日朝宿料は十日まで待つて呉れと言ひ殘し外出したまゝ歸つて來ないのでホテルよりの訴により大連署で各方面へ手配した結果同人は青島通ひの定期船で逃走し青島に上陸せんとした處を同地警察の手に取り押へた、八日午後大連署にその旨返電あつたので一件書類は青島總領事館警察署へ送致の筈

遞信局の宣傳映畫

當地遞信局では簡易保險郵便年金及郵便貯金奬勵宣傳のため既報の如く活動寫眞の無料公開を開始するが地方の日程は左の通り

十二日夜 撫順千金小學校
十三日夜 撫順永安小學校
十四日夜 撫順萬壽屋俱樂部
十五日夜 撫順商館席
十六日夜 遼陽公會堂
十七日夜 遼陽公會堂

羅紗の映畫

大連羅紗組合並に洋服商組合主催で八日午後六時から敷島町基督教青年會館に於て「羊毛から羅紗になるまで」の映畫及餘興映畫四卷を映寫し一般の觀覽に供すると

けふのラヂオ

昭和四年六月九日(日曜日)

自午後〇時三十分 ニュース
自午後一時五十分 野球連絡放送(實滿模範試合二回戰)ニュース
自午後七時三十分(レコードの夕)

一、ニュース
二、小學唱歌 雪、富士
三、同 春が來た、汽車
四、童謠 夏の雲ねん〳〵ころり
五、雅樂 催馬樂(更衣)
六、新民謠 鉾をおさめて
七、同 後生掌踊
八、謠曲 俄間手古奈
九、小唄 五月雨
一〇、端唄 深川節
一一、俚謠 大島節
一二、長唄 元祿花見踊
一三、俚謠 江差追分
一四、三曲 七小町
一五、端唄 伊豫節
一六、同 間違節
一七、同 茄子とかぼちや
一八、義太夫 寺小屋
一九、箏尺八合奏 鈴虫
二〇、新民謠 長濱節
二一、琵琶 常陸丸(四面)
二二、料理獻立
二三、天氣豫報

愛慾の窓（3）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

死の接吻（三）

女學生の一團が、大涌谷の峠の茶屋に憩つて、茹卵子の殼を剝いてゐるところへ、青年は漸く辿り着いた。彼の顔を見ると、彼女等は期せずしてクスクス笑ひ出したが、とうたう堪え切れなくなつてハツハ、ハツハと哄笑を爆發させてしまつた。なかにはまだ醒めてゐない茹卵子の熱い黄味を口一杯に頰張つたまゝプッと噴き出したので、傍にゐた仲間の服を汚したやうな不作法者もあつた。木の葉が落ちても笑が轉んでも可笑しい年頃の乙女達であつた。たゞ先刻代表となつて彼に帽子を手渡した少女――仁科美知子だけは、もうそんなに笑はなかつた。彼女は、ヴレンチノに似た美貌の青年の顔に、深い愁ひの翳が射してゐるのを緻くも看て取ると、自分も赤く

何といふ理由もなく寂しくなつた青年は、ぼんやり崖端のベンチに腰をおろして、身動ぎもせず、眼の下はるかになかれてゐる硫黄の温泉谿を瞰ろしてゐた。そこは謂ふところの大地獄だつた。轟々と地響きを立てながら、どろどろと灰色に濁つた熱湯は、絶え間もなく谿に沸湧し岩の裂目に奔騰して、沸り返つてゐた。眼や鼻を異様に刺戟する瓦斯はあたりを立て罩め、煙は渦巻いて湧き上り、奔り去つた。

「……をぢさん！こゝへ飛び込んだらあれだらうね、骨も皮もありやアしなからうね」

青年は、茄子をすゝめてゐる茶店の主人に向つて、囁くやうな聲で云つた。

「へーえ、そりやア旦那、堪りませんとも！あの谿底を御覧なせえまし、ほれ、煙の合間に見えませう？ごぼごぼ、ごぼごぼ、鐵でも溶かしかねませんよ、あの勢ひぢやあ……」

「……然し、誰も飛び込んだつて話を聞かんね」

「へ、へ、へ、そんなことがあつたひにやア大變でさあ！よく旦那のやうなことを皆さんがお訊きになりますが、誰しもふッと同じやうなことを考へるものとみえますですが誰にしたつて、こんな氣味の惡い場所で死ぬのは厭でせうからな、はゝ」

などと、茶店の主人はこだはらない調子で喋つてゐる。

「……さうだらうね、人間といふ奴は我儘な生物だ」

青年の顔を自嘲の微苦笑が掠めて過ぎた。

さうした會話を、仁科美知子はぢつと聽耳を欹てゝ、ひそかに偸み聞いてゐた。聞いてゐると、胸が騒ぎがしはじめた。いつとはなしに、彼女は仲間を離れたまゝ、青年の擧動に對して目に見えぬ神經の觸手を差し伸べてゐるのであつた。

茶店の主人は暢氣な様子で、茄子の笊をぶら下げたまゝ、青年の傍を離れた。

青年は、靜かにベンチから腰を擡げると、無關心な態度を裝ひながら、崖の外れの木柵へ歩み寄つていつた。危險を防ぐために圍ひめぐらされてゐる木柵ではあるけれども、長い年月の間に、硫黄の氣に爛されて、まるで白骨のやうになつてゐる。柵とは云つても、ほんの型ばかりのものになつてゐる。わざわざそんな突端へ出て行つて、危ない柵に凭れるやうな人もないのであらう。が、青年はその木柵に近づくと、兩手をぐいと伸ばして、枯骨の如くひよろひよろと立つてゐる柵の柱を掴んだ。

「……アッ！危いわ！」

さう叫んだのと身を躍らしたのとは、殆ど全く同時だつた、美知子はスポーツで練つた輕快な果斷な擧措で青年の背後に迫るや否や素早く相手の腕に飛び縋いた。

「危い！危いことをなさるもんぢやアありませんわ！さ、わたしと一緒に此方へいらつしやい！」

彼女はぐいぐいと青年を引立てるやうにした。

六月川柳課題

六月十日〆切「旅」　横田　和泉選

六月十五日〆切「茶柱」　高橋　月南選

△一人五句限り用紙はがき別記

滿日社文藝係

新刊紹介

▲新田（六月號）神戸市上野天王六十二番地ノ一新田發行所（定價三十錢）
▲わか竹（六月號）大阪市東區南久太郎町二丁目若竹吟社（定價十五錢）
▲生活と宗教（六月號）名古屋市中區南久屋町二ノ七破塵閣書房（定價十錢）
▲新使命（五月號）東京市芝區白金三光町三〇八新使命社（定價四十錢）
▲畜產雜誌（第六號）北海道札幌市北三西六北海道廳内北海道畜產協會
▲作興（五月號）東京市小石川區大塚坂下町講道館文化會（定價三十錢）
▲滿洲建築協會雜誌　大連市紀伊町八五滿洲建築協會
▲社會學徒（六月號）東京市外玉川村奥澤五九四社會學徒社（定價二十五錢）
▲心靈と人生（六月號）横濱市鶴見區東寺谷一六〇一番地心靈科學研究會（定價二十錢）
▲法律戰線（六月號）東京府高田町雜司ケ谷八一五生活運動社（定價廿錢）
▲農民（六月號）東京府北多摩郡千歳村八幡山八全國農民藝術聯盟（定價十錢）
▲滿洲（六月號）大連市寺内通り四七大連新川柳社（定價二十錢）
▲電氣の友（六月號）東京市芝區新幸町一番地第一堤ビル電氣の友社（定價四十五錢）
▲婦人と新社會（六月號）東京市四谷區南伊賀町四一婦人と新社會社（定價十錢）
▲書畫骨董雜誌（六月號）東京市牛込南小伏見町十二書畫骨董雜誌社（定價三十五錢）

夕刊 滿洲日報 六月八日
第三種郵便物認可

滿蒙全鐵道を踏破して 白班先づ凱歌を揚ぐ
紅班亦雁行して午後歸連し 驛傳競爭愈よ終る

廣漠八萬方里の大舞臺、幾十百萬日支鮮國民環視の大舞臺に於て空前の壯圖として多くの期待を以て迎へられた本社主催滿蒙十五鐵道踏破驛傳競爭は去月十九日午前八時十分華々しくスタートを切つて以來波瀾萬丈

接戰に

亟ぐに接戰を以てファンの血を沸かせつゝ白熱的人氣のうちに時は經過したのであつたが本八日午前十時三十二分白班の津田選手紅班に先達て旅順より自動車に打ち乘り多數歡呼のどよめきの中に決勝點なる大連驛に到着した、かくして白班の經來れる十五鐵道の哩數は三千四百二十四哩にして實走哩數五千六百九十三哩七、そしてその所要時間は二十日と二時間廿二分と云ふ

記錄を

とゞめるに至つた、紅班また雁行して今日午後二時五十九分旅順着同三時五十分前後ゴールに入るべくこゝに本社が「鐵道知識の普及、滿蒙事情紹介一般旅行者への手引」てふ三大目的を以て企てた本競爭は走破各鐵道當局の絕大なる後援と幾萬愛讀者の熱烈なる聲援を得て無事所期の目的を達成し有終の美を以てその幕を閉づることゝなつた

旅順驛頭の出迎

白班津田選手の旅順驛頭着に際し二宮憲兵隊長、郡間少佐、瀧警察署長、鮫島、桑村兩警部、中濱市長代理等旅順官民有志其他九里驛長以下驛員等多數出迎へた

芳澤公使と犬養氏 青島へ向ふ

【上海特電八日發】犬養毅氏及芳澤公使等は八日午前九時發の大連丸で日支官民多數の見送りを受け青島に向つたが張繼陳中孚の兩氏も同船した陳氏は山東に於ける犬養氏一行接待に當るものである、犬養氏は更に大連に向ふべく芳澤氏は青島より北平に赴く筈である

紅班選手 貔子窩へ向ふ

【普蘭店特電八日發】驛傳紅班第五走の藤井選手は八日午前四時五十六分普蘭店に下車平野警務課長その他官民多數の出迎へを受け直に自動車で貔子窩へ向け急行した

藤井選手通過

【金州特電八日發】紅班最終のコース金福線へ普蘭店から急行した藤井選手は十二時七分金州驛を通過したが驛頭には池田總務課長、久保田驛長その他婦人を交へ十四五名であつた

白班選手大連歸着

【上】大連驛にて武田白班々長より通過證明簿その他を宇佐美審判長に返還する處【下】左は驛頭に於て祝盃を擧げる關係者 右は大連神社に報告のため參拜した白班選手一同

全滿の人氣を背負ふて 華々しく歸還す
白班のラスト津田選手を迎へ 大連驛頭動搖めく

昨七日午後十時四十五分天佑に惠まれた白班の最後を承つた津田選手は營口を出發し今八日午前六時五十七分周水子に於て武田白班々長の出迎へを受け八時三十五分車を轉じて

旅順に

向ひ午前九時三十六分旅順に到着し直に驛長室に於てサインを終り大連より回送せる自動車に打ち乘つた、驛頭には市民多數、それにこの日旅順の招魂祭とて一入の賑はひを見せ「萬歲々々」のざわめきに會釋しつゝ一路大連に向け疾走した、途中本社員の出迎へ自動車の後に從ひ大連驛頭に到着したのは十時三十二分であつた、驛頭には

宇佐美

審判長、寒河江、伊澤、篠原、高橋、米野、臼井、各審判委員、平野、貝塚兩顧問、高山大連署長、尾間本社取締役それに紅白兩班の關係者本社員及び市民多數がつめかけてゐる、津田選手は到着と同時にひらりと自動車より飛び降り、かねてしつらへてあつた驛頭の審判卓子に於て鎌田大連驛長に通過證を示してサインを求めた、鎌田驛長はサインし終つて高々と「十時三十二分」と叫ぶ

拍手と

歡呼が期せずして起る、それより宇佐美審判長に通過證及び驛傳必要品を返還し終り、シャンパンを拔いて「白班萬歲」を唱和し、驛前は爲めに時ならぬ大賑はひを見せた、かくして

無事先着の榮譽を得た白班選手は尾間取締役、米野編輯局長、臼井總務部長及びジャパンツーリストビウロウの人々と共に大連神社に詣でた、かくして二十日間にわたつて全滿の

人氣を

集めた本社主催の滿蒙十五鐵道驛傳競爭三千五百哩の突破は白班先着の凱歌をあげた

驛傳競爭所要時間 廿日二時間廿二分
投票は近く審査發表

驛傳競爭の先着白班のラスト走者津田選手は八日午前十時卅二分を以て決勝點たる大連驛に於て鎌田同驛長より最後のサインを受た、即ち同班が五月十九日午前八時十分スタートを切つて以來の所要時間は廿日二時間廿二分と決定された、審査委員會は八日夜直に開會して兩班がコースを完全に走破したか何うかを通過證其他の證據によつて審査し勝者を決するのであるが白班の勝利は疑ひなかるべく一方讀者よりの豫想投票は去る廿五日締切以來密閉封印して保管せられて居るが十日夜開票して一兩日後に入賞を決定する筈である

排日が熄まねば條約改訂に反對
芳澤公使王氏に警告

【上海七日發電】芳澤公使は本日午後五時有野通譯を伴ひ王正廷氏を外交部に訪問會談約二時間七時過ぎ辭去したが、會見の內容は條約問題交渉下打合せ、南京、漢口事件、濟南事件損害調査下打合せをなした後芳澤公使より排日取締は國民政府より言明あるにもかゝはらず上海其他の各地で依然日貨壓迫の跡を絕たず、兩國貿易は殆ど改善の跡なし、日本人商人は排日取締に支那側誠意なくば通商條約改訂交渉開始の必要なしと唱へ居り之は軈て日本全國民の輿論となりつゝあり、日本政府は曩に聲明せる通り飽くまで互惠平等の原則に基き各國に率先して條約の改訂をなさんとするものであるから支那も此際熟慮して交渉が圓滿に進行するやう處置されたしと警告をなした、而して公使は對支債權整理に關しても支那側の事情を質したが王氏は未だ準備整はず列國會議招集の運びなしと述べた

我政府の對支方針披瀝

【東京八日發電】イギリス大使チレー氏は七日午後四時外務省に田中兼攝外相を訪問し一時間半に亘つて要談したが、右は主として在支公使館昇格問題及び治外法權撤廢問題につき意見を交換したもので田中外相は我國としては双方共主義に於て何等異議なく殊に公使館昇格については近き將來之が實現を期待して居り關係各國と協調して同問題の解決に當りたいと思ふと我政府の方針を披瀝するところがあつた

國民黨內部にも反蔣熱漸く激甚
結局下野の外無きか

【東京八日發電】某所着電に依れば韓復榘氏の對中央態度曖昧となれる外國民黨內の反蔣運動激甚となり何應欽氏等は頻りに蔣介石氏をして下野を餘儀なくせしめんと暗中飛躍をなしつゝある等の事情に依り蔣介石氏は遂に下野の外なきに至らん

唐氏太原へ

【北平八日發電】唐生智氏は昨日來平したが蔣介石氏の命に依り何世禎氏と共に七日夜十時衞戍司令部幹部十一名と特別列車を仕立て突如太原に赴いた、即ち太原に重大會議を開いて中央服從を求めるためであると

閻氏外遊中止

【北平八日發電】閻錫山氏は蔣介石氏の引留に遭つて外遊を中止した

有田局長 けふ奉天着

【奉天特電八日發】有田亞細亞局長は八日午後二時着安奉線急行にて來奉しヤマトホテルに投宿したが、奉天商工會議所では三谷副會頭及び代表者野添書記長等は九日ヤマトホテルに局長を訪問會見し滿蒙の現狀について懇談し更に諸問題について意見の交換をなす筈

某重大事件 會見拒絕
首相貴院有志に

【東京八日發電】滿洲某重大事件に關し政府の成案說明を聽取すべく田中首相に會見を申込みたるに對し田中首相は七日午後二時勝純男に對し政務多端を口實に會見の拒絕を通告したが、貴族院議員としては更に今一應の考慮を希望する旨通告するところあつたが、首相が飽くまで會見を拒絕するに於ては當然貴族院各派の問題とする意嚮であるから本問題に對する貴院對政府の關係はますます硬化の虞あり

張作相氏赴奉
舊節句後に

【吉林特電八日發】張學良氏の招電を受けながら張作相氏の赴奉は未定のまゝ今日に至つたが愈來る十一日の舊節句後に赴奉する旨側近者に語つた由である

田中大使西行
六日夜哈市發

【ハルビン特電七日發】田中駐露大使は島田書記官、齊々哈爾清水領事とゝもに六日午後十時五十分發國際列車で西行した

大觀小觀

◇英國勞働黨內閣成る、首相マクドナルド氏を初め、スノーデン、ヘンダーソン、クラインズ、ウエッブ、トーマス等これ一流の人材網羅。

◇勞働大臣に婦人採用は正に紅一點の異彩。

◇勞働黨の閣僚に貴族があるなど英國ならでは見られぬ點だ、

◇貴族院の連中がマダ某事件をゴネ廻してゐる。頑冥度し難し。

◇驛傳競爭完了。各方面の援助を感謝する。

◇當事者が如何に眞摯な努力をしたかを酌んで欲しい。

天氣豫報

九日(晴れ)南東の風 後曇り
日出四時廿七分 日沒七時十八分
滿潮前十一時十分後十一時廿五分
干潮前四時廿五分後五時五十五分

人事

辭令【東京八日發電】
內閣拓殖局書記官兼賞勳局書記官兼關東廳事務官 郡山智
任關東廳遞信事務官兼關東廳事務官(三等)

▲本田康喜氏(奉每大連支社編輯長)今回新任し八日就任挨拶廻訪
▲工藤與吉氏(本社編輯局員)八日發京城へ
▲森初太郎氏(大連港水先案內人)八日入港ばいかる丸にて來連
▲久留弘之氏(建築技師) 同上
▲門田新松氏(元代議士) 同上
▲伊藤金次郎氏(大每學藝課長) 同上
▲佐野新三郎氏(官吏) 同上
▲天知俊一氏(大學野球審判員) 同上
▲橫澤三郎氏(同) 同上
▲北路新報主催新潟縣滿鮮視察團一行廿二名 同上遼東ホテルへ
▲山西恒郎氏(撫順炭礦長) 八日朝來連

英國勞働黨新內閣の閣員公式に發表さる
マグドナルド內閣愈よ成立 勞働大臣には婦人

【ロンドン七日發至急報】英國勞働黨新內閣々員の顏觸れは本日左の如く公式に發表された

總理大臣 マクドナルド
大藏大臣 スノーデン
外務大臣 アーリー、ヘンダーソン
植民大臣 シドニー、ウエッブ
內務大臣 クラインズ
陸軍大臣 トム、ショウ
勞働大臣 マガレット、ボンド
フイールド孃
海軍大臣 エ、ヴイ、アレキサンダー
內大臣 トーマス
大法官 サンキー
樞密院議長 パーモア卿
印度事務大臣 ウエッヂウッド、ベン
航空大臣 トムソン卿
保健大臣 アーサー、グリーンウッド
農務大臣 バクストン
文部大臣 サー、シー、ピー
トレヴエリイアン
商務大臣 グラハム
スコットランド事務大臣 アダムスソン
工務大臣 ランズベリー

閣外大臣の顏觸

ランカスター皇領尙書 サー、オスワルド、モスレー
司法大臣 ジユーウイット
司法次官 ゼー、ビー、メルヴイル
恩給大臣 エフ、オー、ロバーツ
運輸大臣 ハーバート、モリソン
スコットランド政務次官 ジヨンストン
遞信大臣 リース、スミス
主計總監 アーノルド卿

なほスコットランドのロードアドヴオケート及びソリシター、ゼネラルは未だ發表されず、また新に主計總監となつたアーノルド卿は無給である

女樞密顧問官と婦人の大臣
世界で初めてのこと

【ロンドン七日發電】英國新內閣勞働大臣の椅子を贏ち得たボンドフイールド孃は世界最初の女大臣であるが同時に最初の女樞密顧問官として八日ウインゾル宮で新大臣グリーンウッド、アレキサンダー氏等と宣誓式を行ふことゝなつた、植民大臣に親任せられたシドニー、ウエッブ氏は今回の總選擧で落選し議席を失つたが、閣員は總て議席を有せねばならぬから氏は軈て貴族に列せられることを意味してゐる

國庫大臣兼攝

【ロンドン七日發電】總理大臣マクドナルド氏は國庫大臣を兼攝する旨發表された

前閣僚等印綬を奉還

【ロンドン七日發電】前閣員十五名は七日午後四時半ウインゾル宮殿に伺候陛下に夫々印綬を奉還し閣外大臣は挂冠の御挨拶を申上げ夫々御椅子に掛けられた皇帝陛下の御手に接吻を捧げて退出した

御機嫌いと麗はしく 還幸の途に就かせ給ふ
今朝九時、神戸市民の奉送裡に 御召艦「長門」に乘御

【神戸八日發電】御召艦長門に御一夜を明させ給ひし聖上陛下には八日早晨御起床、朝の御運動として侍從の人々を從へさせられ艦内を御散策、朝靄煙る神戸市を始め背後の六甲連峰港内等を眺め給ひ畏くも神戸の地に暫し御名殘を惜み給ふた、斯て御召艦出航の時迫るや長兵庫縣知事以下各官衙高等官、有資格者等ランチ十數隻に分乘して御召艦近くに整列、突堤及び海に面した陸上には國旗を手にせる市内各小學校生徒七千餘名を始め數萬の市民奉送申し上げた、午前九時各艦一齊に皇禮砲を發射し陸上の市民これに和して萬歳を奉唱し奉る中を御召艦長門は大井、那智、灘風以下五隻の供奉艦を從へ神戸稅關「をがたま丸」の先導にて次第に沖合遙かに艦影を沒し、畏くも聖上陛下には關西に於ける御視察を滯りなく終へさせられ龍顏麗しく東京還幸の途に就かせられた

白玉山招魂祭
けふ嚴かに執行さる

八日午前十時から旅順白玉山上に於て嚴かに招魂祭が執行された、この日天氣晴朗、新緑を傳はる初夏の風白玉山上に薫り絶好の祭典日和である、定刻一同着席、奏樂裡に修祓今村齋主の祝詞、大麻行事に次いで村岡軍司令官祭司として副官を從へて祭員殿上に參進し千家管長の開扉降神の儀並に警蹕獻饌、齋主の祝詞あり幣物を供へ祭司の祭詞を奏し一同敬禮して玉串の奉獻を終り、村岡軍司令官始め山田要塞司令官、山本少將未亡人、藤岡警務局長その他代表の玉串を奉り、次いで陸海軍學生在鄕軍人その他の參拜あつて十一時半式を終了した、この日奉天からブロンスキー氏が露國側を代表して參列したことは昔日の彿を更に新たにするものがあつた

關東州教育研究會 第二部會開かる
けふ伏見臺公學堂で

第二十九回關東州教育研究會第二部會（公學堂の部）は八日午前九時より伏見臺公學堂に於て開催された、來賓として關東廳の藤田學務課長を初め市橋、村上、淺野、谷口の各視學、小學校より柿野南山麓校々長及び教科書編輯部の津久井氏等多數出席、先づ柳原當番理事より開會の辭を述べ、者の紹介あつて

新入會

後藤田學務課長より初等教育は人間の人格の基礎をつくる最も大切なる時期であるが從來に於ける公學教育の實際を見るに概して智識偏重に流れてゐるかの感がある、知育もとより大切であるが情操の陶冶及勤勞の習慣の養成について十分留意して貰ひたい現在關東廳は中國人教育に年々七十萬圓乃至八十萬の巨費を投じてゐるが之は一に中國人の文化及福祉を增進日支の共存共榮の實を擧げんがためである、近時上海方面より排他的思想が流入してゐるが苟しくも文教の地位にある者はかゝる

不健全

なる思想に誘はれない樣呉々も留意して貰ひたい、又職員は常に研究を怠らず語學についても日人は支那語を支人は日本語を十分研究するやう心がけて頂きたい

との訓辭あり、終つて一同各學年に分れて學年研究會を開催、午後も引續き學年會を開き、閉會後會

旅順から大連へ
白班選手最後の韋駄天

（寫眞）上は旅順驛出發の刹那、中は旅大道路土の浦を快走、下は大連驛着

天知横澤兩審判 けさ着連す
明日の實滿戰のため 本社の招聘に應じて

實滿野球第二回戰審判のため本社が招聘した東京六大學リーグ戰專屬審判員で、全國ファンの注目を惹いた早慶戰の審判に當り、明敏果斷なゲームの處理に現代日本球界に一大刺戟を與へた天知俊一、横澤三郎の兩氏は八日午前七時十五分埠頭岸壁着のバイカル丸で來連、船中まで出迎へた本社員並に

埠頭に

出迎へた中澤不二雄、安藤忍兩氏と共に上陸、直に浪速ホテルに入り小憩のうへ本社及び實滿兩軍の幹部を訪問敬意を表したが、球界最近の傾向について交々語る

私共は早慶戰を三回に亘り審判しましたが、新聞で御承知の通り實に凄まじい人氣でした、觀衆は懸値なしのところ一日平均十萬人で三日間を通じて入場出來すゲームを見られなかつた人が三十萬人からあつたといふことです、兩チームの勢力が均等であつたために應援團はもとより選手までが

緊張し

たのは今年が一番猛烈だつたと思ひます、今年のゲームは徹頭徹尾打撃戰になつたが、これは打撃が進んだのにもよるが、以前に比して一體に投手の力が弱くなつたと思はれます、慶應の勝因をつくつた水原君は攻守とも實によく活躍してゐました、早大は詳細に言へばいろいろ意見がありますが水原、伊達、伊丹、森、加藤など好い當りをしてゐる連中が、慶應を相當に打つてゐながら敗れたのは自己の

打撃を

飽まで伸ばさうとせず小川投手のピッチングに恃みすぎた觀があります、二回戰の投手の用ひかたに多少の無理があつたのではないかといふのが球界の玄人筋の間に於て殆んど一致する批評です、リーグ專屬の審判員が出來たのは昨年からですが、審判に對する一般選手の態度は以前とは全く比較にならぬほどよくなつて、言動に於いて審判を牽制するやうなのは皆無になりました、實滿戰は早慶戰とは別な意味で非常にエキサイトするさうですが

私共は

自己の信ずるところに從つて最善の審判をするつもりです、ゲームの前に兩軍の主將にお目にかゝつてグラウンドルールの協定、並に最近審判法で最も喧ましくいはれ、隨つて問題を生じ易い投手の投球動作について、事前によく打合せをして置かうと思つてゐます

（寫眞は天知氏左と横澤氏）

線路の上に 石を置く
南關嶺附近で

八日午前八時頃第五一一パラス列車が南關嶺大房身間に差かゝつた際前方の線路上に長さ一尺厚さ三寸重さ三貫目の石を横へあるを發見、機關手は直に之を取除き運轉したが上りの五一二列車が此の石を南關派出所に屆出でたので時を移さず犯人嚴探中

主人夫婦に 重傷を
賭博の意見で

大連市日吉町八番地三木喜三郎（五〇）方の使用人劉純發、劉純金、馬新芝、毛松順、崔祉の五名は五日午後二時半ごろ三木方に於て賭博開帳中を主人に見つけられ意見されたのを根に持ち主人及び妻いせ子（四二）を棒にてなぐり重傷を負はせたので七日主人は沙河口神社前派出所に訴へ出でた

甘い男
藝妓の返品 說諭を願出

馴染藝妓の仕替に際し友人からトランク一個を借りてやり、自分が修理方を依賴した金側時計を返して與れるやうと八日遙々朝鮮から返品請求の說諭方を願つて來た甘い男があつた、この男は朝鮮平安北道新義州營林署勤務下田賜太郎と云ひ大連逢坂町貸座敷一力樓抱藝妓文彌こと西島キヌ（二五）が平安北道慈城郡閭延面中坪洞料理店得月樓に藝妓中

馴染を

重ねたもので、大正十五年右キヌが安東二番通り七丁目二富士ノブ方に仕替に際しその依賴により友人竹中政次より牛皮製折疊式大形トランク一個を借り受け直に返還の約束で貸與してやつたが、その後再三の請求をなすも返送せず昨年六月再び現在の場所に鞍替した上同女が中坪洞を出發する時金側懷中時計時價七十圓のもの一個を安東で修理かた依賴され携行したまゝこれも未だに返品しないと云ふのである

貧困の哀れな盲目
關東廳で極力救濟
恩賜財團慈惠資金を以て 民政署に調査を命ず

盲目の中にも治療次第によつては救濟し得る者あるも貧窮その他の事情により徒らに不遇を喞つてゐる者わが關東州内には相當ある模樣なので、今回關東廳では恩賜財團慈惠資金に於て右の如き惠まれぬ薄幸者に對し一定の日時に一定の場所に集合せしめ專門醫師が

檢眼し

手術の見込あるものは入院手術を加へ開眼光明の幸福に導くべく計畫し管下各民政署に對し十五日までかゝる薄幸者の調査報告方を命じたが、この調査の範圍は全く失明した者のほか失明者にあらざるも他人の力を借りるにあらざれば起居進退に不自由を感ずる程度に視力減退し居る者をも包含し日支外人の別なく平等に施行すると尚調査の範圍は住所、氏名、年齡失明の程度、失明の原因、兩親が四等親以内（叔姪、從兄弟等）の血族結婚なりや否や、扶養上保護者あるものは其保護者の住所氏名、本人または保護者の資力等である

大連、甘井子間の 渡し船問題
水上署の態度注目さる

大連甘井子間の渡船問題は所轄水上署の取締方針が一定せぬため現に就航許可を受けた營業者は勿論許可を受くべく運動中のものも即ち今後水上署が如何なる態度をもつてこの渡船業者に臨むかはこの際興味のある問題として注目されてゐるが、今のところ既報の甘井子草分會の渡船業出願を許可するや否や全く不明で、水上署においてもこれが採否に少からず惱まされてゐる、それかあらぬか八日午前脇山保安主任は寺田署長の命を受け關東廳の方針を確むべく赴旅した

名古屋享榮商業學校の 植民地研究團
けさ初航海の貴州丸で來連す

實業教育の實際化から卒いては次代の國民たる青年の海外發展を企圖する名古屋市の享榮商業學校では、第四回植民地研究團として生徒六十二名を校長堀榮二氏外四名の職員が引率、去る三日名古屋港を出帆、連關直通初航海の貴州丸で名古屋八日午前着連すると同時に直に本社を訪問參觀した、一行は市内見學一泊の上九日午前旅順市街戰蹟及び博物館等を見學、十日午前歸連し同八時十分發急行で奉天に向ひ、撫順から直に朝鮮に入り平壤京城を經て釜山から乘船十七日歸名の豫定である

門司馬場遊廓 燒く

【門司八日發電】今朝三時半門司市馬場遊廓玉川樓より發火し一帶の高樓に飛火し娼妓遊客等は寢ばなの事とて大混亂を呈した、猛火は東本町に出で五時半漸く鎭火損害は數十萬圓に達する見込み

日曜の催し

▲實滿野球第二回戰　午後二時より實ヶグランドにおいて
▲拳銃射擊會　午前八時より春日町射擊場において
▲音樂演奏會　午後二時より滿鐵協和會館において
▲ピンポン大會　春日池において
▲第二回畜犬展覽會　午前十時より中央公園において
▲救世軍大連小隊　午前十時「聖潔と誘惑」酒井參軍午後八時「靈魂の改造」西部大尉
▲日本メソヂスト教會　午前八時半日曜學校同十時「神の召」スタッキー女史午後七時半「イエスと女性」北島女史
▲敷島町基督教教會　午前十時半「勝利の使命」磯部牧師
▲沙河口基督教會　午前十時「大なる慰藉者」高橋牧師午前「靈魂の故鄕」同師
▲日本基督教會　午前十時「信仰の建設」白井牧師午後八時「靈の昂揚」同師

傳染病流行期に入り 檢病的戶口調査
愈よ大連署で取掛る

夏になつて疫痢、赤痢等の流行病もボツボツ頭を擡げて來たので大連署では之等夏期傳染病の撲滅のため傳染病患者の發見に付き格段の注意を拂つてゐるが、更に萬全を期する爲めにこの十日より檢病的戶口調査を勵行し以て傳染病患者の早期發見に努むべく六日管内各派出所に手配した

◇黑河地方はいよいよ完全に流氷を終り汽船の航行を開始した【哈爾賓發】

◇連日の旱拔で遼河は著しく減水し殊に上流通江口附近は水深二尺位の淺瀨少くない、先日少量の降雨を見たが增水までに至らず人馬は河中を容易に渡渉してゐる有樣で戎克は何れも自由を失ひ鐵嶺營口方面への水運は杜絕してゐる【鐵嶺發】

全國大會を好機とし滿洲經調聯合改造

從來の調査會は有名無實のもの 今後の活動期待さる

滿蒙文化協會内に事務所を置く滿洲經濟調査機關聯合會は目下のところ何等表面的活動をしてをらず全く有名無實の形にあるので、近くこれを解散し來る十三日滿鐵社員俱樂部で開催する全國經濟調査聯合會臨時大會を好機とし、大會閉會後「調査機關聯合委員會」を再組織すべく協議會が開かれる事となつた、即ち加盟の調査機關は關東廳、滿鐵、各地商工會議所、陸軍、各領事館及び大會社をも網羅して眞劍に經濟問題を討議研究する機關たらしむべく事務所は關東廳内に設くる筈であるが實現の曉は相當活動を期待されてゐる

全國經濟調査會聯合大會出席者

既報の如く來る十三日大連に於て開催せらるゝ全國經濟調査機關聯合會臨時大會の出席機關名並に出席者左の如し

關西支部

大阪商科大學經濟研究所一名楠見一正、大分高等商業學校一名太神和好、和歌山高等商業學校一名水島密之亮、住友合資會社二名小畑忠良、村上貞二、大阪商船株式會社一名松原季久郎、大阪市役所産業部調査課一名古久保立次、臺灣總督府官房調査課一名原口竹次郎、神戸商業大學商業研究所一名田中金司、山下汽船株式會社一名鵜木健造、

東京支部

日本銀行一名福永篤、松谷商店二名花村磐、安田清七、帝國生命一名行方季吉、王子製紙株會社一名田代名兵衛、日本勸業銀行調査課一名倉井敏麿、橫濱高商一名德倉榮太郎、海軍省一名野村千助、滿鐵東亞經濟調査局四名佐藤貞次郎、金內良輔、高村光次、阿蘇準三

滿鮮支部

滿鐵本社調査課八名、佐田弘治郎、木村正道、松木俠、高久肇、安盛松之助、阿部勇、中日文化協會三名村田懋麿、石田貞藏、奧村義信、關東廳二名日下辰太、中村廣喜、朝鮮銀行京城調査課一名滿谷鐵治、朝鮮殖産銀行調査課一名本田△夫、滿鐵哈爾賓事務所資料室一名栗栖義助

十三日來連するが一行は關西支部十一名、東京支部十二名、滿鮮支部十六名合計三十九名である、一行の日程は十二日陸路奉天着、市内各所を視察し十三日來連、直に同日午前十一時三十分から滿鐵社員俱樂部で臨時大會開催、閉會後活動寫眞、講演等によつて滿蒙事情を紹介し同夜七時からヤマトホテルで懇親會を開く、十四日は市内各所を視察、正午滿洲經濟調査機關聯合會の午餐會に出席、午後六時登瀛閣における滿鐵の招待宴に臨む、更に十五日は旅順を觀察、正午關東廳の午餐會に出席、十六日出帆のうらる丸で夫々歸國する豫定である

滿洲各地の視察日程

十三日來連 十六日出帆

全國經濟調査會滿洲視察團は來る

佛亞銀行支店營業繼續

【哈爾賓發】支店開設の法律的手續及び信用問題に關し支那側と問着を起してゐた當地佛亞銀行支店はその後佛國領事の斡旋で無事兩者の間に諒解がつき平常通り營業中である

豆粕輸出税低減申請

北滿支那油房が

【哈爾賓發】當地支那油房公會及び製粉公會等は五日濱江商務會で聯席會議を開き最近豆粕の海外輸送が減少したのは大豆の輸出税が低率であるため原豆のまゝ盛んに輸出されるやうになつたからで若しこの趨勢を現在のまゝに放置して置かんか北滿の油房業は遠から ず自滅するの外はないといふ見地から豆粕に對する輸出税を低減する一方大豆の輸出税を引上んことを税務當局に申請することになつた

昨年度の酒莨課税

大連民政署間税係の調査によれば昭和三年度中關東州を通過して州外に輸出された酒類は未課税のもの四萬二千八十三石餘、課税濟額十萬八千餘圓、此の税額二萬七千餘石、此の税額二萬七千餘百三十三萬五千四百九十圓又煙草類は未課税のもの二億四千七百五十二萬餘草百二十七萬九百餘貫でその價格千八百八十二萬三千の此の税額五百五十二萬餘てゐるが、課税濟煙草は二十九萬九百餘個、葉煙千餘貫、之が合計價格五百餘圓その税額七千百三……なつてゐる

奉票吊上げに躍起の奉天當局

更に整理辦法を布告

【奉天發】遼寧省政府で金融維持のため四行を準備庫として現洋票を發行奉票を回收し價格吊上案を講じつゝあるが、その實は六千元から七千元迄には一萬元を現出せんとする昨今の形勢にあるため左記の整理辦法を布告したが果して實行されるや否や甚だ疑問である

一、各地税捐局鐵路局宛に通令を發し一律に奉票を使用せしめること

二、卷煙草税を擔保とし現洋元の公債を發行し現洋て奉大洋四十元の割にて回收し之を最短期間にこと

滿鐵線に對抗して支那各線盛に畫策

聯絡會議を開いたり、運賃を引下げたりして貨物の吸集に努む

近時滿洲に於ける支那側の各鐵道葫蘆島の築港を目論み大連港と覇を爭はんとする有樣である、斯くは滿鐵線に對抗する爲め種々畫策し平奉、瀋海、四洮、洮昂、吉海、吉敦の聯絡協定の會議を開催するとか極力貨物の滿鐵線へ流出を防止し自線へ吸收に努め營口を以て輸出港として最近又復三千萬

相互間に於ける三、四等貨物を嚙當り洋三圓に割引し滿鐵へ競走の第一歩を踏み出した

滿洲輸入組合聯合會總會

定款及貸付規定の改正を決定 大した事もなく閉會

滿洲輸入組合聯合會定時總會第二日目は八日午前九時から大連商議樓上で開會、直に協議會に移り前日委員附託となつた議題につき協議の結果、午前十一時再び總會を開き定款改正に關する件は委員長宿田（大連）氏より貸付規定改正に關する件は委員長久……氏よりそれぞれ總會に報告……も滿場一致可決、その他昨報の如く總會に提案した理事會並に協議會に於て決定することゝなり午前十一……分無事閉會した

合併臨時總會招集の模樣

八日の重役會で協議

朝鮮の春繭初取引

黄華魚の漁業旺盛

昨年に比し百萬斤の増加

新現大洋票

經濟眼

數字に現れた滿洲の財界

大連商議書記長 篠崎嘉郎

一七、消費組合賣上高

大正八年戰時經濟の影響が物價を暴騰せしむるや各人の生活に甚だしき脅威を與へた此時に當り滿鐵會社は社員の生活不安は會社の業務に波及すること

甚大なりとの意見の下に大正八年十月各地に散在する調辨所、配給所、共同販賣品を綜合して滿鐵消費組合を組織し社員に對する變體的給與として（一）無利子資金の融通（二）家具什器類の貸與（三）關税並に運賃料金の補助を與へた

之と相前後して關東廳購買組合の設立あり……人口は十七萬人に過ぎ……萬四千人の多數を占……員及其家族並に二萬……る關東廳吏員及家族……人口の五割五分に其……る消費組合の傘下に……

市況

特產

豆粕は軟調

材料に乏しく

錢鈔

株式

内地保合に五品變らず

商品

銀

豆

上海爲替情報

爲替相場

手形交換高

奥地市況

大阪株式

東京株式

大阪米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

神戸豆粕

印度麻袋

市場電報

銀塊及爲替

棉花

平安異香（13）

葉多默太郎作　中一彌畫

非常線（一三）

「誰か棒を貸せ、短い奴がよい」——捕棒にも長短いろ/\あるが、黒住源八郎が選んだのは、三尺ばかりの樫の棒で、兩端に鍛鐵を冠せた半棒と云ふもの——それを手にすると、手慣しに二三度扱いてみて、覆面の夢之助の前へ出て往つた。

「夢之助、行ぞ。黒住源八郎だ」

すると「クツ」と覆面が笑つたやうだつた。が、

「さあ來い」とも云はず、じつと源八郎に眼を据える。流石に、構へが幾分固くなつたやうだ。惡い事だが、相手が相手だけに仕方がない。

「さあ!」

と源八郎の腰が入る。

構へは——何といふのか傳はつてゐないが、棒の中程を右手に攫んで、ずつとそのまゝ突出してゐる。棒を見せてゐるやうな恰好——足は、右足を半歩踏み出して、體の重心がそれへかゝつてゐるかと思ふと後足へ移る。呼吸と共に浮動してゐるので機に應じて風となり水とも化し得る眞に自由奔放な形——

が、然し、眼に熱が加はつて輝き出したのは、次第に呼吸が入つて來た爲であらう。

見ると、夢之助の下段の太刀先も、息づくやうに脈動し始めた。

切迫!——

と見る瞬間、

「……」無音の氣合!諸共、白蛇の飛沫に躍つたと見たは、夢之助四尺の大業物、斜上段に勇躍したが眼にも止まらず、サツト殺風を捲いて源八郎の頭上に落ちたのだつた。

そして、その一瞬の間に起つた事は——

パチン!と宙に響いた木と金の反撥し合ふ音。

トンと肉が肉にぶつかつて一つになつたと見た刹那、砂烟と共に、一つの證がパツと二間ばかり跳び退がつたこと。

そして、それを追つて、ピツタリと平正眼につけてジリ/\と迫つて行くのは棒の源八郎。初手の一合は、源八郎の勝だつたと見える。

この爲めに、夢之助と小太郎との間こ二間ばかりの間隔が出來た捕物は一人一人に分けるに限るだから、この機を逸せず、取圍んだ捕吏が間へ割込んで、

「ヤ、ヤ!」攻めたてながら双方へ押て往つた。五六間にもなると、もう大丈夫、捕吏は自由に立廻られる。

然し、かうなると例の松明風が役に立たないから、豫備の捕吏がそれを拾つて捕物の動く方へ持つて廻る。

女面の小太郎はすつかり癇を立てゝゐた。口癖の「クソ!」「クソ」を連發しながら、滅法に劍を振廻して氣の狂つた猛獸の有樣。全く危なくて近寄れないので捕吏は遠巻だ。

「ワツ!」と云つてかゝつたかと思ふと、

「ワツ!」と云つて退く。

これを逃げながら見物して、

「やれ、やれ!そらやれ!」

と手を叩いてゐるのが、我から●●つけつの勸兵衞すつかりいゝ氣持になつて我を忘れたものと見え小太郎が捕吏を斬つても喝采する。が、ふと自分が捕吏の乾分である事に氣が付くと、

「畜生!」

どうしてくれようと思ふのだが劍を執つてまともに向ふのは心細い。自信が無いので止めにして、思ひ付いたのは一ツの妙案。

そこらぢうに轉がつてゐる松明を集めて來て、これに點火しては小太郎に投つける。

向ふへ飛んだ奴を、向ふへ行つて拾つて又投つける。

これには小太郎も參つたらしい何しろ相手が火だから構はずにはおけない。太刀で拂ふのは拂ふのだが、そこへつけこんで棒が來る肩を打たれる足を拂はれる。

で、小太郎は、例の「クソ」「クソ」が益々激しくなつて大苦戰だ

その時、夢之助と源八郎の二人は、これは流石に上級だ、亂れない。相變らず正統の太刀打の構へで睨みあつてゐる。

が、最もひどいのは、向ふの天狗岩の所でゝみあつてゐる、先手

の舟の山盜の群と捕吏の亂戰だつた。

貞奴と川上樂劇園

東京の帝劇と邦樂座に毎月出演しつゝ滿都のファンを熱狂せしめつゝある川上樂劇園がいよ/\來る十五日から協和會館と大連劇場で公演をすることになつたこの樂劇園は劇界を引退した川上貞奴が久留島武彥氏に相談し故音次郎氏の遺志を繼いでお伽劇の完成を期して生れ出たもので貞奴が園長に久留島武彥、巖谷小波、菊池寬、山本有三氏等が相談役になり各方面名士の贊助後援を得て第一回の園生五十名を募集し學園を帝都郊外多摩川の畔に創設したのである、その理想とする所は家庭に對する純眞な娛樂を提供するのが目的でありその時の第一期生は七歲から十六歲までゞいづれも相當な家庭に育つた未だ一回もステージに立つた事のない純眞無垢なものゝみを選拔して養成に力を注ぎ音樂は高階哲夫、管樂は久松鑛太郎、ダンスは高田雅夫、舞踊と劇は市川猿之助、市川小太夫、中村翠娥などが指導の任に當り大正十四年六月開園以來數十萬の經費と之等の先生が五年間の努力とによつて茲に漸く現在の樣な美しい少女や少年ゝ濃艶巧妙なる藝術とをもつて滿たされた川上樂劇園が出來上つたのである其後園兒も大きくなつたので、兒童樂劇園を改稱して單に川上樂劇園ゝ稱し流行のレヴュウ等を上演して好評を博してゐる、今回は能島武文氏が監督として一行と共に來連すると【寫眞はスパニツシユダンス】

協和會館の映畫映出について映畫人がよつて隨分やかましいことを言つてゐる▲殊にヤマトホテルの伴奏が議論の中心で賑やかなこと▲山上伊太郎の影武者がゐる、あれは浪人街の原作者で原稿料が二千圓だとスツカリ映畫街の評判になつたが▲噂の御本人に會つて見ると全くの流言蜚語で流石映畫界だけに巧に興行價値をつけたものと判明▲斯うなると愈々滿洲のシナリオライターは秋村君ひとりですか▲帝國館の指方技士が感ずるところあつて斷然禁酒したそうだ▲新流行語「嫌ちやありませんか」が花柳界方面にも流行り出して來た

映畫と演藝

綾助沿線巡業

三絃界の妙手仙平と共に來連し大連劇場に開演して好評を博した女義太夫竹本綾助一座は沿線各地同好者の招きにより沿線巡業に上る事となり今夕の瓦房店を振出しに九、十日鞍山、十一、二日遼陽で開演し順次北上する筈であると

▲映畫文藝（六月號）　植民地の映畫（石巻良夫）カツテイングの技巧（伊藤大輔）映畫製作社發達史（石川俊彦）ストーリイ、システム（城戸四郎）青き光と夢（小説）淺原六朗、海賊（シナリオ）今東光、十六ミリの研究（飯島正、岡村章、西村正美、長田幹彦）近代高速度撮愛（龍膽寺雄、如月敏、内田岐三雄、飯田心美、武川重太郎）キネマプリイチス（エロピク）港川不二夫（東京麹町區隼町映畫文藝會發行定價二十五錢）

漫畫

峠茶屋

青葉若葉に包まれたる國境ひの峠の一軒の峠茶屋から立ちのぼる湯氣の煙が、正午下りの陽の光の中に徐かに消へて行く。婆さんが孫娘らしいのを相手に頻に湯茶の用意をしてゐる。

『お光坊や、隣り村の權太どのが今日はいよ/\東京へござらつしやるだ、偉いことだ……』

『豆い關取にならんして、いつ又村へ歸らつしやるだかな』

『あれ/\、もう皆の衆が向ふから御座らつしやつたど』

權太の出世

權太郎今歳十六、五尺六寸、二十貫、鎭守樣の村相撲に十二の歳から土つかず、未來は天晴れの横綱ぞと、其評判は隣り三ケ國まで響ひてゐる。去年の秋祭に本相撲の上りを投げ飛ばしたる取り口を折柄歸省中のいかづち關に認められたが運の緒、相撲好きの村長殿の肝煎で、いかづち關が萬事を引請け、東京へ上らせて一廉の關取に仕立上げようとちやんと話が纏まつたのである。本人は固より親類一統の欣び此の上なく、母家の祖父さんなどは『權太は偉い、道理で產れた時に甚句踊の格好をしとつたわい』汽車場まで村の衆に送られて、今日は權太の鹿島立ちであつた。

鈍馬め!

さて東京へ着きいかづち部屋に入門した權太は必死になつて稽古を勵んだ。もうざんぎりが蘂で結べそうになりかけた頃から、權太は妙に元氣を失つて來た。顔色も惡いし、頭の働きも鈍つて來た。如何に本人が氣張つても、相弟子等が鞭撻しても、どうにもならない意氣地無しになつた。いかづち關も到頭しびれを切らして大息した。『鈍馬め俺の眼鏡が違つたか』

夏場所が見もの

權太の近況が村へ知れたので、村長、村の衆、親類中が心配し出した。お光も峠茶屋でソツと涙を拭ひた。祖父は去年沒くなつた權太の母が、權太は生喰ひが過ぎるで腹に蟲をわかすなよ、といつも云つて居た事を思ひ浮べ、根が漢方醫だけに蛔蟲の仕業と睨んだのが救ひの船、蛔蟲下しマクニン錠がいかづち關から送られてから十幾日目、いかづち關から權太元氣倍舊夏場所の土俵が見ものとの知らせに皆は非常な大喜びで忽ち近在の噂となつた。

滿洲日報

滿洲日報

驛傳競爭終了

我社が主催せる滿蒙十五鐵道驛傳競爭は、去る五月十九日開始以來、昨八日まで廿日間にわたり、豫定コース全線三千五百哩を首尾よく走破し、兩班相前後して歸來し、此に無事結了を告げたことを讀者に報告すると共に、此の試みに對して深甚の後援を寄せられたる日支各方面の人々に向つて衷心の感謝を表する次第である。

◇

當初此の催しを企劃するに際して聲明せる通り、我社は單に一片の興趣を以て之を行つたのではない。即ち大にしては、日支兩民族の諒解と融合に基く滿蒙の經濟的發展に寄與する處あらんことを期し、直接の目的としては、滿蒙の鐵道狀況及沿線の物資風物の紹介、一般讀者に對する鐵道交通知識の普及、滿蒙旅行者への參考資料提供に在つた。幸にして我社の趣旨は洽ねく諒解せられ、沿線日本側關係當局者は素より支那側の當局者亦た大なる好意を寄せられて競爭の進捗に援助せられたことそれだけを以てしても、我等の目的の一半は達成せられたと見ることが出來るのである。我等は特に我選手に與へられた支那側諸鐵道當局者の助力を想起せざるを得ない。有體に曰へば支那側の鐵道は概して設備不完全であり、經營狀態不振である。然るに拘はらず、我社の此の催しを理解し、臨時列車の運轉、選手への歡待等、能ふ限りの助力を傾けたことは我等の感謝措かざる處である。

◇

我等は更に沿線、奥地に於いて孜々として奮闘しつゝある同胞諸君が、熱誠なる歡迎の意を表せられたことを牢記し、感激措かざるものである。此等の點に就いて、各選手はそれ〴〵筆を揃へて其の實情を詳記すると共に、短時日の間にも各地方に於ける同胞諸氏の貴き努力の跡は能ふ限り之を紹介するに努めた筈である。若し夫れ此の二旬の間、全滿の視聽が悉く此の擧に集中し各方面に於いて鐵道、交通關係の熱心なる注意を喚起し、特に各學校、會社等に於いて、或は之を教材となし、或は研究資料となしたといふ事實は我社の最も欣幸とする處であつて、此の一事を以てしても今回の擧が徒爾でなかつたことを想はざるを得ない。

◇

最後に、此の企てに從事せる社員が孰れも周到なる用意の上に、最も眞劍にして且つ果斷なる措置に出で、兩班互に熱烈なる競爭心を發揮しながら、而も此の擧の精神の存する處を遵奉したと及び晝夜兼行力走しながらもよく新聞記者としての本務を重んじ、當該地方の狀況紹介等に對して、極めて機敏なる報道をなし得たことは讀者と共に我等の愉快とする處である。今此の空前の催しの結了に際し重ねて各方面の甚大なる援助を深謝し、今後此の目的の意義を全うし、大方の期待に副ふため更に努力を傾けんことを誓ふ。

滿蒙鐵道驛傳競爭

傳家甸の繁榮をうばふ 馬船口の市街計畫

北滿市場の中心呼海線に移動

(第廿信) 昂々溪にて 神藏白班選手

◇六月一日午後七時再び呼海鐵道の起點馬船口に引返す、站長以下驛員に前日來の好意を謝し十時五十分の滿洲里行き列車に乘込むべくモーターボートに飛び乘る馬船口と傳家甸とは松花江を隔てゝ相對時してゐるが架橋問題は懸案のまゝ容易に實現しさうもないので旅客も貨物も一度は渡船に依らねばならぬ

◇呼海鐵道は露亞銀行が獲得した賓黑鐵道敷設權を取消して支那自身敷設したものであるが最初の計畫は起點を松浦とし東支鐵道の對青山驛に連絡しやうとしたのであるが東鐵の要求を一蹴して萬國軌道の四呎八吋を採用したことにすつかり旋毛を曲げ呼海の要求を容れなかつたので止むなく松花江岸の馬船口に延長し對岸の傳家甸に連絡を採つたのである、

◇本鐵道が建設された結果海倫綏化方面から東鐵西部線に集まつた雜穀が悉く直接傳家甸に集ることゝなり傳家甸は北滿の中心市場として益々商權を確保され外觀こそ立派ではないが物資の集散狀態や人口に於て遙かに哈爾賓を凌駕してゐる

かくして傳家甸は短時日の間に哈爾賓のお株を奪つたが玆に面白いことには今度は傳家甸のお株を失敬しやうと窺つてゐるものがある、即ち黑龍江省當局は將來呼海鐵道が克山、黑河、鶴岡の諸地方に延長された曉經濟の中心を對岸の傳家甸に奪はれてはならぬとあつて呼海鐵道の起點松浦馬船口一帶を抱擁する廣大な市街計畫を立て着々工を進めてゐる既に市街計畫や官公署建物官舍デパート等續々建設され又一面煙館や花街を早くも設けて人口の誘致に努めてゐる

◇一週三回の國際列車だけに乘客も多い、大部分は歐洲行きだ、日本人は三菱商事の牧瀬氏、日本窒素の重役上畠五一郎氏、同技師北村、山田兩氏、農林省の松川藁鶏所長と記者とで六人家族伴れの英國人やフランス人が五六組ゐる、支那人の超モダーン夫婦が人目を惹く、これに元奉天總領事クズネツオフ君始めソウエート領事館員四五名及家族が哈爾賓から乘り込む、例の手入れ事件で一旦拘禁されたが漸く釋放されて報告、旁歸莫するのだらうな

◇記者は上海から歸國する一英國人と同室した、五十歳位の愛嬌のよい男で白班選手のタスキを見て何の廣告かと聞く、これは怪しからぬと下手な英語で驛傳競爭の説明をするとニツコリうなづいて握手した。何の意味かよく解らないがしつかりやつてくれと言ふのだらう、この男は日本に三年支那に四年居たと言ひ乍ら日本語も支那語も出來ない、東支鐵道の驛名が英語で書いてないといつてプン〳〵怒つてゐた、イエス、ノーの一天張で調子を合せてゐたが睡魔がしきりに襲ふのでお先きに失敬する

呼海列車は遲れ 渡し船は立往生

寸暇なき驛傳の惱み

◇六月一日、呼海鐵道から歸つて其日の内に東支線に乘込まねばならぬ、その間四時間の餘裕があるとタカを括つてゐたのが大間違ひ、呼海鐵道は三十分遲れて七時到着、渡江のモーターに故障が起つて河の眞中で立往生――時計を見れば八時半だ、氣が氣でない

◇やうやくモーターボートから人力車へ、人力車から自動車へと乘繼の八艘飛び宜しくの態で滿日支局にかけつけたのが九時、十時五十分の發車までには一時間五十分ある、親子丼二つも平げながら大急行で通信を書いた

◇さて電報や通信を書き上げ友人四五人に送られて東支線のワゴンリーに落ちついたのは發車前二十分――忙がはしいことではある

輝吉沿線の鮮人の子供 ―(加藤白班選手撮す)―

吉長線旅客收入は一日 多い時は約二萬圓

古ぼけた旅裝に赤襷、赤い旗

(第廿一信) 頭道溝站にて 木村紅班選手

他人事の樣に面白がつてゐたららく〳〵自分の番が來た、二十七日午前八時十分大連驛發、秋山君を長春まで迎へに。何と無く忙しいことだ、驛傳の質問濫發に居たゝまらず展望車へ逃げる、ところが大石橋から乘つた露西亞女の膝も露はなフラッパーと、赤い襟飾のモボが、これは又睦じ過ぎる氣にする視線と、それを意識する視線がツイ衝突した、此奴は邪魔ねエ、とうとう列車の終端の露臺まで押し出されて終ふ。

◇もう肉の塊なんぞ決して見ないぞ、俺れは紳士だ。どうだい、この燒け糞な疾走ぶり、驛を貫く矢の如き急行列車の猛烈な行進曲。タカタン、タカタン〳〵、シュツ、シュー、シュツシュツシュー。ガタン、タカタカ〳〵、パラスが飛ぶ。レールが悲鳴をあげ乍ら逃げる樣に高速度で延びる、遠くの山が廻り始めた廣漠たる「平野」も共に、素晴しいぞ、南滿洲が廻る〳〵。この舞臺が廻り切つたらさて今度の登場人物は誰だ「鞍山の資産を三千萬圓切り落した」つてほんとか、思ひ切つてやがる、山条式だなあ」誰だ今時分感嘆してゐる奴は、あの面付を見ろ、お前見たいに甘いのと違ふ。

◇長春、明日から戰線に出るんだと思つたら、もう彈丸が飛んでくる「特別の扱ひは困る公平にやつてくれつて吉林へ電報を打つた?」よせやい、遣り損なつたのと同じ樣に公平にか。本社へ飛電一通、敵を完全に牽制して置いて追討を防ぐ。

◇二十八日午前八時秋山選手と交替して吉長線の起點頭道溝站に現はれる、當人その日の扮裝は小崗子の露天デパートメントで仕入たる、二圓の編上を踏み締め、二圓半を奮發したる革ゲートルの脛當に古けれども三圓の乘馬ズボンをはき歐洲戰亂當時に流行したるバンド付のコートを着流したる有樣は、骨を折つて買ひ集めた甲斐あつてなかなかに物々しくパリ〳〵の姿なり

◇列車は滿員、一日平均七八千圓、多い日は二萬圓近くも客車收入があるとの話を、完全に裏書きしてゐる、使命を果した秋山選手、長春の多數官民が見送つてくれる、例の通り萬歳!萬歳!、列車の窓は藍い着物や赤い着物がはみ出して物凄い氣な首が鈴なりである。見送りの吉長線松崎營業課長と寺阪氏には一寸打合せをして本路總局の所在地長春站で別れた。

◇列車内では賑けてもムダと決れば度胸がきまる、サアこれから商賣だ。滿鐵の二等級の列車と云へば適當たらう、それの二等ボギーの眞中に突つ立ち上つて「エー失禮ですが、この地方の事情に詳しい方はおいでになりませんか、面白い話がありましたら聞かして下さい、滿日でございます」とやつたことだ。

◇赤いたすきに赤い旗にカバン、ピンと來る富山の藥賣り。まだ面の皮の厚さが足りないので少々赤くなり乍ら「エー乘合の御客樣御迷惑乍ら」と繪葉書を賣り始める明治時代の東京名物、隅田川の一錢蒸汽船を思ひ出し、妙な所で淺草向島を頭に浮べる。

軍用無線電信 漠河に建設

【哈爾賓發】黑河支那當局は黑龍江の上流漠河に海防警備のため軍用無線電信を建設すべく目下計畫中であるがその樣式は黑河の無電と同じく野戰移動式を用ひ黑河、滿洲里、海拉爾、齊々哈爾、富錦及び窠倫間を連絡するものであると

ゴム底支那靴の使用を禁止

徹底的驅逐策を講ず

【哈爾賓發】當地支那市政當局はさきに布告を發しゴム底支那靴は衞生上頗る有害であるといふ理由でその使用並に販賣を禁止したがこれが徹底的驅逐策として今回更に各縣商務會に對し通告を發し地方民の使用をも禁止するに至つた而して右ゴム底支那靴は全部日本製品であるため邦人取扱業者の受ける損害も相當の額に上るものと見られてゐる

張行政長官轉任

京津衞戍總司令に榮轉し 後任には汲金純氏か

【哈爾賓發】張景惠特別區行政長官が近く京津衞戍總司令に轉任すべしとは豫てから傳へられてゐたところであるが、張氏はいよ〳〵家族五十餘名を引纏め八日奉天に赴き當分のあいだ同地に滯在することになつた、當地一般は右張氏の赴奉をもつて同氏の轉任説が實現するものであると見做してゐるがその後任には目下熱河にある汲金純氏が最も呼び聲が高い、しかして張氏今回の轉任は張學良氏が現在の時局に鑑み老巧な張氏を奉天軍の最前線にたゝさんことを希望したからでこれには勿論張作相並に萬福麟氏等の同意があつたからのことであるといはれてゐる

甘肅西北民軍と馮軍の衝突

西北一帶の反馮運動 討逆軍司令馬氏談

【天津發】討逆軍司令馬廷驤氏が前日北平に來り中央飯店で談る處に據ると甘肅方面に於ける反馮運動は事實らしくその語るところ次の如し

馮玉祥が民國十五年南口より敗退して甘肅に逃げ込んだ時馮は異分子の排去に努めた結果甘肅各地の駐軍を悉く解決した、爲めに李長清師長や其の部下の旅長は銃殺され其他谷部も討伐された結果公憤を招き盛に反對の氣勢が高まつた故劉郁芬は離間策を以て孔繁錦、張兆甲を驅逐し再び重税を民に強た、去年から更に反馮運動が猛烈となり西北民軍が組織され最近自分は彈藥が不足であるため隴南より四川に赴き錫信に相談しその部下であり自分の舍弟である馬仲英と連絡する事が出來、四月十四日寧夏を占領して門致中を擊退した、門致中が敗退後馮玉祥は宋哲元劉郁芬を應援として派遣し寧夏の回復を計つたゝめ四月廿一日に馮軍と民軍は寧夏で二晝夜交戰したが民軍は彈藥缺乏の結果石嘴子に退却し目下馬仲英は該地に防禦して居る、馮は曾て馬鴻賓を該地に派して調停せしめんとしたが不調に終つた、現在寧夏には馮軍二萬餘人と鄭大章の騎兵師が到着して居るが何時民軍と衝突するや計られない、自分は四川に於て錫信に面會し五月廿七日南京で蔣介石に謁し討逆軍第十五路總指揮の職を託せられたが今次來平の上は五日山西に閻錫山を訪問して討馮の打合せを爲し再び寧夏に歸る豫定である

投書歡迎 新聞行數五十行以內のこと 中傷を目的とするのは採らず

八相

ゴルフに就て

秋山生

無名氏の言も一理かと思はれますが先づ編輯長の申さるゝとが誠に當を得た見解であると思ふ第一ゴルフなるものは我等プロレタリアの望んでもなし得ないものである、廣々としたリンク服裝、器具、玉拾ひ等々總てがブル式で、ある併してそれがどの位大衆的運動であるか、爲さゝる者の知る所ではないがあれが保健上何の位有効なものか、最近內地の一部に於て稅を徴收して居る樣であるが實に名案である、關東州に於ても大いに徴稅し出來得べくんば禁ずべきであると思ふ、有閑、ブル級の諸氏よ、往復自動車に乘らねばリンクに臨まれない樣な運動はこの際考へて頂きたい、而して斯樣な暇があるならば益發展せんとする我が可愛い滿蒙の爲め、滿蒙のリンクに大きな玉を打つて頂きたい。

心眼を開け

桑言居士

ゴルフ奬勵に付き滿日編輯局長の回答に同感である、世間は不景氣のどん底にあり我が母國の人々は老幼男女を問はず生きんが爲に働き尙生活難に喘ぎ苦むる時我が關東州に於ても植民地氣風を脫し覺醒せねばならぬ秋かゝる奬勵は全然必要はないと思ふ、勿論運動不足榮養不良の有閑有產階級の運動には適するかも知れぬ、吾々毎日汗水流して働かねば一日も過せない者に取ては汗を流すだけでも立派に筋肉の運動になり身心の鍛錬にもなる、あへて費用を出しかゝるスポーツを行ふ事は阿呆らしくしてものが云へない、スポーツはエンヂョイするのが目的でない、而も大衆を相手にする新聞社にかゝるくだらぬ事を奬勵せよと云ふが如きはあだかも冗費を奬勵するが如きものにして實に笑止の至りである、心眼を開いて社會の狀態を見よ!須く廳省、ゴルフ等は葬り去る事である。

滿洲日報 地方版

奉天

邦人の行商人が漸次ふえて來た
喜こぶべき新傾向に　當局は能ふ限り援助

[illegible]

發疹チブス終熄

[illegible]

滿鐵關係賞與

[illegible]

新記録　郵便貯金

[illegible]

驛辨當を檢査

[illegible]

醫大の新方針

[illegible]

誤配達郵便物は直接に届けるな
郵便局に返して貰ひたいと　野原局長語る

郵便物の誤配につき一般市民に對する希望として野原局長は左の如く語つた
奉天局では郵便物の迅速な且つ正確なる配達をモツトーとして配達通信夫を督勵してゐるが多數配達郵便物のことで時たま思違ひや肩書番地の

見誤　りから誤配達をなすことによつて迷惑をかけてはならぬと最善の努力を拂つてゐる從來の經驗から見ると誤配達を受けた家では好意的に直接先方へ届けたり又は返すことを忘れてそのまゝ抑留し時日經過後局へ返すものもありこれがためその事故を暗から暗へと葬られ局の分ではその處分も出來ず甚だ遺憾であるから萬一郵便物の誤配達を受けたる場合は直接先方へ届けたり

抑留　などはなさずその郵便物の誤配達を受けたる日時及び誤配達先の氏名を記載し最寄りの郵便箱に投入して貰ひたい

縄屋から出火

[illegible]…原因取調中である

誘拐成らず

[illegible]…氏（二七）と去月廿八日安奉線車中で知り合となり…驛前瀋陽旅館分號に投宿し…張氏を賣り飛ばさんとの魂膽から六日午後二時頃房を欺き十元を與へて郷里濟南に歸へんとした處只の一言の下にはねつけられてしまつたしかし常張を誘ひ出したが警戒して張氏はそれと知り途中から逃げ出しその筋へ届け出たので直に押へ誘拐犯として嚴重取調べ中である

淺野舞踊盛況

六日より演藝館に於て開かれた淺野民謡舞踊大會は七日を以て終了したが兩日共大入滿員の盛況であつた

日曜の催し物

▲奉天青年團分團對抗陸上競技會　正午より醫科大學グラウンドに於て擧行
▲午後一時より奉天道場に於て州内外對抗柔道戰
▲午前十時から醫大グラウンドにて奉中對鞍中のバスケツトボール試合
▲午前十時から新公園にて鐵道事務所の家族會
▲全滿中等學校準硬球庭球大會　午前九時より醫大コートに於て

人事

▲岡田間島總領事　七日朝鞍山へ
▲澤田參事官　同上
▲守田奉天民會長　七日歸奉
▲下津奉天鐵道事務所庶務長　七日朝歸奉十日安奉線視察のため出張する筈
▲藤井關東廳警務局警部　七日安東へ
▲足立洮昂鐵路顧問　七日來奉
▲袁金凱氏　六日大連より歸奉
▲文部省主催鮮滿視察團一行十二名　七日來奉瀋陽館投宿同日撫順往復

撫順

上水の使用量が又激增してきた
各家庭で自覺せねば　斷然メートル制にする

大陸的灼熱が加はると共に上水使用量が激增して來た、撫順人は無茶な使ひ方をし庭に大きなホースをつなぎ庭に角屋上一帶にまで一滴の上水をざあ〳〵夕立のやうにかけてゐる者が多い、是を昨年の統計によると人口一萬七千の撫順の上水使用最大六百七十二萬噸であるに人口十萬餘の大連はメートル制であるのに撫順は定額料をいゝ事にして濫費する事を雄辯に語るもので一般消費者は深く考へねばならぬ點だ、昨年の一番多く使つた日は給水能力一萬九千二百噸なのに八月九日の如きは二萬三百一噸と言ふ濾過最高能力を超え配水地の貯水で補つたり五時間も斷水した事が度々ある右の不自由を防ぐ爲本年度水道課では

經費　十三萬圓を投じ上水濾過器四個を增設しつゝあるが是が完成すると昨年一日の最大給水能力一萬九千二百噸から二萬四千噸になり四千八百噸增加するが但し右增設濾過器の内二個は濾過器掃除、非常時の豫備にすぎない、從つて平常の給水量增加は僅かなものだから一般使用者が昨年の調子で濫費すると亦復連日數時間の斷水騷ぎに逢ふ外ない、尚現在の貯水池は是以上の給水增加の設備は不可能なので他に水源地を新設する時は尨大な巨費を要する關係から

斷然　メートル制にするの外ない、さうなるとメートル制布設費、量器貸付料等は必然各使用

邦人婦女　強盗に襲はる

七日午前二時頃宮島町佐々木あい（四〇）が製糖會社からの歸途鐵橋附近に差掛つた際ヘルメツトに麥藁帽子を被れる三十歳前後の拳銃所持の二人組强盗に襲はれ廿五圓を强奪され逃走したとの急報により奉天署では犯人搜査の手配をなすと共に本人について當時の模樣を

全滿中等學校の準硬式庭球大會
九日醫大コートで開く

第五回全滿中等學校準硬式庭球大會は九日午前九時から我社後援の下に醫大コートに於て開催されることゝなつた、參加校は大連商業、同育成、奉中、滿中の四校で今年は大連商業が連勝二回に及び一層緊張し猛練習を續けてゐるが果して何校が優勝するか非常に興味を以て迎へられてゐる

明大對撫順軍

來る十五、六の兩日撫順野球部は明大留守軍を迎へ戰ふ事に決定、健棒を誇る明大軍との試合は一般ファンの興味をそゝつてゐる

對抗競技出席

來る八月十七、八の兩日大連運動場で擧行される全滿對京都帝大陸上競技部の對抗競技に滿洲體育協會撫順陸上競技部より出場する選手は堀、淺坂、柴田、樋口、三好田中の六選手と決定、今から必勝を期して猛練習に餘念がない、因に撫順選手出場の種目次の如し
△堀八百米、千五百米、千六百米リレー△淺坂棒高跳△柴田走幅跳、三段跳△樋口砲丸投△三好圓盤投△田中百米、二百米リレー

海軍曉潮會
近く發會式

四面海を以てかこまれた吾祖國の生命は海軍力である、この海事思想の普及を目的とする海軍曉潮會なるものが在撫七十二名の海軍關係者に依つて生れた、その發會式は廿五日頃永安小學校講堂で行はれ海事思想宣傳の爲め活動寫眞、展覽會が右發會式直後開かれる事となつた、祖國發展の第一前線に活躍する在滿合位同胞右意義ある團體の成長へ双手をあげて海軍國の爲應援され度いと

嚶鳴會例會

來る十六日午後一時より永安臺西公園前俱樂部に於て撫順嚶鳴會例會を開くと

朝鮮左傾派幹部殆んど全部就縛
第四次共産黨事件解禁

地方　法院に於て審議中で
昨年五月新義州署の活動に依り檢擧された第四次朝鮮共産黨事件は京城の策源地を初め各地にての檢擧人員五十餘名に及んだが取調の結果其の内二十二名を豫審に附すると共に當局は新聞記事の揭載を禁じ爾來新義州

あつたが四月十五日を以て豫審終結を告げ二十二名の内七名は放免となりあとの十五名が有罪と決定し同法院の公判に附せられる事となつた、同事件は朝鮮に於ける左傾派に取つて最後的致命傷とも見られ審裡の進行に對し各方面より多大の注目を拂はれて居るが當局は四日午前九時を以て該記事の揭載を解禁した此の事件は昨年二月京城に於て檢擧された第三次共産黨に對立するもので朝鮮を我帝國の羈絆より離脱せしめ且つ朝鮮に於ける私有財産制度を

破壞　し共産制度を實現せしめんことを目的に組織されたものであるが黨内二派に別れ理論派と實行派との内輪揉めの爲め遂に一網打盡に檢擧されたもので此の檢擧の結果朝鮮思想家の重なる人物は悉く逮捕されて了つた

人事

▲井上地方事務所長　第五回消費組合理事總會出席の爲め七日朝出發
▲渡邊採木公司參事　採木公司直營作業地調査の爲め上流出張中の處十五日頃歸安の筈
▲藤田少將、關東軍經理部長鷄冠山の廳舍及安東憲兵分隊巡視の爲め五日朝來安
▲松代憲兵曹長　安東憲兵分隊事務打合せの爲五日夜發旅順へ
▲山口縣小學校長團滿鮮視察團一行十四名　七日午後十時十分過安奉天へ
▲東京府立第一商業生一一四名　七日午前十一時四十分發奉天へ

安東

數名の支那官吏　鮮人四名を拉去
柳草島に鹽の陸揚中　暴虐の限りをつくす

五日午後四時頃鹽十二石を積載した高瀨船が柳草島北側安東側に到着陸揚げせんとせし時突然支那官吏らしき十數名の一團は同船を襲ひ乘組中の朝鮮人男四名女一名を水中に投げ込みあまつさへ船艙に獅嚙み付いてゐる女一名男三名を拉し引揚げた、柳草島警官派出所よりの急報に接した新義州署では安東署に通報警備船にて搜査班出動兩署協力大活動を開始してゐるが支那側の此種の暴行は屢行はれるので警察當局は斷然たる態度に出るらしく或は國際問題となるかも知れぬと見られて居る

列車妨害の犯人捕る
犯行と自白

頻々と起る鐵道妨害事件に付安東守備隊では極力犯人搜査に務め四日現場附近に於て容疑者として支那人六名を引致取調中容疑者中の支那人某の母親より同附近に居住せる孫玉子なるもの所爲であると申し出でた爲五日未明同家を包圍逮捕の上同地生田巡査立會の下に嚴重取調たる處逐一犯行を自白したと

カモメ丸進水

安東署では最近鴨綠江流域一帶に亘る各種の事件發生に鑑み現在の警備船鎭江丸にては淺瀨の航行に不便である爲これを補ふ處のモータボート一隻を大連西森造船所にて建造中であつたが漸く此程竣工し進水式は三日大連に於て行はれたが同船はカモメ丸と命名し船體の長さ二十二呎、幅五呎六吋、吃水二呎二吋で一時間十節の快速力を有し極めて淺瀨の航行に堪へ得る樣に裝置されてあると

鐵嶺

關山巡査襲撃の有力嫌疑者捕る
住所不定の張岐山（二三）

六日夜の强盜事件通報に接したる得勝臺派出所では驛の取締を嚴重にし犯人物色中のところ七日午後一時頃上り二十六列車の到着前慌ただしく自轉車で驛に馳けつけ奉天までの切符を求め自轉車の託送を依頼せる支那人あり巡捕閣家財氏は大洛闘の末驛員と共に總掛りとなつて應援し捕繩を打つて身體檢査をしたところ懷中には拳銃を所持して居り此の拳銃は檢査の結果去る三月二十四日夕刻鐵嶺大和町の路上警邏中の關山巡査が背後より何者かの爲め强打され昏倒せる際に乘じて强奪されたる官給の拳銃である事を發見本署に押送し目下取調べ中であつたが犯人は住所不定張岐山（二三）と稱してゐるが警察では關山巡査襲撃犯人と目星をつけて取調べを進めてゐる

一夜二ケ所　强盜押入る

六日午後八時三十分頃當地北五條通四丁目裏通りの包米製粉業郭芳方に一名の强盜押入り家人を脅迫して懷中時計指輪奉票百餘元を强奪し店員張俊志を拉去柳町まで達し警察に屆出づるときは復讐すべしと威嚇して放還したが更に九時半頃又復三道街孫公紳方に强盜押入り主人不在の爲め妻女孫王氏（二三）に拳銃を突つけて脅迫金櫃を出さしめ棍棒で破壞し在中の金票百二十圓現大洋五十元奉票三千四百元金指輪六個を强奪悠々と逃走し

衞生宣傳映畫

明十日午後七時より既報の如く商品館俱樂部に於て夏季衞生宣傳の講演會並に活動寫眞が開催される入場無料一般多數の來場を希望すると殊に十日は時の宣傳記念日につき時間は正確に開催する當夜のプログラム左の如し
開會の辭大内署長、映畫已れを守れ一卷、講演夏季の傳染病豫防に就て小野院長、映畫健康第一二卷、漫畫一卷、突貫自動車二卷、花柳病一卷、其他

時の記念日

來る十日の時の記念日には市内の時計商が宣傳ビラを撒布し樂隊で市中を巡行する外電燈局では正十二時を期し一分間點燈し機關區では汽笛地方事務所ではモーターサイレンを鳴らして正確な時刻を報ずると

大分縣人會

在鐵大分縣人の懇親會は豫定の活動寫眞が來ない爲め十六日に延期したと

稻荷神社大祭

居留地元町末廣稻荷神社は來る十五、六の二日に亘つて恒例大祭を執行する由十五日は子供角力に奉納手踊あり十六日は神輿渡御に奉納餘興がある筈

開原

時の記念日
ビラを撒布

六月十日時の記念日に際し例年の通り當地在郷軍人分會及青年團主催となり時の觀念を宣傳し各人の自覺反省を促す爲め同日午前七時より消防隊と國際運輸の自動車にて市内各主要道路を巡廻し宣傳ビラを撒布する事となつた

志藤氏の奉納

奉天消防隊に轉勤せる志藤榮之助氏は開原神社へ金一封を奉納した

今日の案内（九日）

◇射擊大會　在郷軍人分會並に青年團主催の射擊大會は午前八時より衞戍病院東方の假射擊場に於て擧行會費不用賞品は二十等まで一般多數の競射を歡迎殊に婦人連の出場をお勸めすると

◇大連滿實野球戰　兩軍の得點は本社の電報によつて刻々報道する松屋運動具店、大和屋販賣店、五條通角、支局前に貼示する

人事

▲大内署長　六日夜發八面城へ出張七日夜歸鐵
▲土屋波平氏　家族同伴六日離鐵七日香港丸にて離滿
▲伊知地書記生　土屋氏後任として來月一日着任の筈
▲齋藤元彬氏　六日夜行で赴連

遼陽

滿鐵醫院擴張

遼陽滿鐵醫院の診察室は各科の充實と共に頗る狹隘を感ずるので現在の内科室の東方に小兒科と試驗室を增築事務室も擴張し在來の内科試驗室を内科小兒科待合室に改造此の建坪九十九平方米突工費約六千五百圓細川組の請負で基礎工事に着手した

煙臺炭坑小破

煙臺採炭所第三斜坑に六日午後六時半頃瓦斯爆發したが幸ひ交替時間であつた爲め僅か數名の負傷者があつたのみで損害も輕少であつた

吉井領事赴鞍

遼陽領事代理吉井秀男氏は林奉天總領事、岡田間島總領事、澤田參事官一行鞍山視察に付東道の爲め七日鞍山へ赴いた

機關區コート開

遼陽機關區構内にテニスコート新設中此の程竣工八日午後四時から同好者を招きコート開きを催したと

千家氏歡迎會

出雲大社教千家管長十三日來遼に付在遼島根縣人會主催同夜遼塔ホテルに於て歡迎晩餐會開催に付出席希望者は大和通り安達藥房又は池田齒科醫院迄申込れたしと

人事

▲杉浦熊男氏（遼陽工場長）　五日夜大連本社へ
▲岡島外務事務官は官有建物及會…
▲國島視學　同上

金州

時の記念　十日より三日間

來る十日の時の記念日には青年團主催の下に三日間午前五時のサイレンを合圖に新市街方面は南山へ城内方面は三崎山へ登山時間勵行を期することに報したが過日民政署に理事會開催の結果新市街城内方面を一括して南山へのみ登山することに決定した、實行方法としては毎日午前五時民政支署前に參集直に南山へ赴き先づ時間勵行の祈念を爲したる後國民體操を爲し下山する筈で實行期間は十日より三日間と言ふ事になつて居るが場合に依り延長するかも知れないと尚服裝はシヤツ上下に白ハチマキに決定した

蔬菜組合　七日創立

豫て計畫中であつた金州蔬菜出荷組合創立について七日城内會館廟に組合員及び來賓多數出席の上午前九時より創立總會を開催したが先づ組合規約の決定を爲し役員選擧を終へ本年度歲入歲出豫算並に事業計畫を議し午前十二時目出度創立を見たが之れが爲めに今後蔬菜栽培者の出荷統一上に於ける便宜は甚大なものであらう

通譯兼掌試驗

當警務課に於ける通譯兼掌試驗は八日午前九時より中島關東廳通譯官及梅場託出席の上行はれたが受驗者は約二十名であつた

日曜日の催し

△正午十二時より公學堂南金書院に於ける岩間德也氏の敍勳祝宴
△午後一時より高野山金閣寺に於ける開堂供養法會

人事

▲見坊地方事務所長は消費組合理事會議出席の爲め七日赴連
▲田中大連民政署長　金州管内水産狀況視察の爲六日來金各漁場視察の上七日午後五時歸還
▲岩間公學堂南金書院長　七日より八日に掛けて沙河口公學堂及び伏見臺公學堂に於て開かるゝ公學堂長會議出席の爲七日出連

長春

笠井派頑張れば小川課長は歸旅
最後の斷案を下さん　商議問題解決せず

長春商議問題に關し小川殖産課長の提示した解決案につき反笠井派代表四戶、寺内兩氏は會頭選擧は議員過半數の贊成を要すとの希望を附して贊成したが笠井派は依然贊否何れとも決せず

保留　してゐたが七日午前十時領事館に小川殖産課長を訪ひ概括的贊否は示せずして細々と條件を提出した、主として笠井氏個人の面目問題並に現在の反笠井派主要人物即ち寺内、四戶、穴澤、和登等を再び理事者に推さゞるやう確實な言質を得んとするもので會頭の辭任については最早反對せざる模樣である、一方紛擾の當事者以外の永井領事、中尾警察署長土肥地方事務所長、奥平取引所長山中取信事務等の間には

完全　に意見の一致を見、小川氏の案に對して贊成してゐるから笠井派が最後まで突つ張る場合は小川殖産課長は一先づ歸旅し最後の斷案を下すだらうと見られてゐる

後任會頭山中氏か

紛擾の長春商議の紛擾問題は小川殖産課長の來長に依つて愈最後に到達した模樣であるが紛擾問題が多年釀醸された個人的反感に原因を發してゐるのでこの際反笠井派から會頭を選出すれば再び同樣の紛糾を繰返すべきことは一般に認めてゐる所なので笠井會頭辭任後に於ける會頭改選に際しては局外者から選ぶを可とし關東廳も今回に限り會頭候補を推薦するだらふと見られてゐる、目下一般に呼び聲の高いのは山中取信事務であると

土地貸付料金諮問委員

大正十五年滿鐵が制定した土地貸付料金率等の諮問委員會設置の件は愈本年度から實施することゝなり長春に於ては左の通り委員として委囑することゝなつた
土地借受人　山下直七、丸山直助
金融業者　片山與太郎、今村榮松、地方委員、勘崎仙英、得丸助太郎、赤木槌右衛門、區長、柏原孝久、島名福十郎

田中氏榮轉

約一年半餘長春ヤマトホテル支配人として就任した田中介氏は在任…名古屋館合併問題其他種々の難問題を無事切りぬけ一段落ついたので大連ヤマトホテル副支配人に榮轉することゝなり十日頃赴任の筈、尚後任は大連ヤマトホテル支配人千葉千代吉氏だと

公費事務講習出席

滿鐵の公費事務講習會は來たる二十一日から四日間夏家河子に於て開催の筈で長春地事からも三名參加すると

人事

▲土肥嶺氏（滿鐵地方事務所長）七日午後三時十分發大連へ

北關夜話

▲五色會と言ふ萬歲が來て泊る所が無く困つてゐる▲どこの宿屋でも組合の許可が無ければ泊めないと言ふ▲之は可笑しいと調べて見たら長春旅館組合の内に興行者の連中は組合に申込んでその指定される旅館でなければ泊つてはならぬときめてあるそうな▲天下にこんなべら棒な法があるものか▲團體旅行者はすべて組合に申し込まなければならぬとしたら觀光客も同樣か▲一體長春の宿屋程氣のきかぬ宿屋はない▲だから歐洲歸りの客も哈爾賓で一泊して滿鐵の列車と連絡する列車に乘り込むので▲僅な旅行者で命をつないでゐる旅館組合がこんな規則を勝手に定めたのを警察は何故默つてゐるのか

旅順

水泳プール開く
豫定を早めて十五日頃から　入場料は徵收しない

初夏新綠、海のシーズンが來た、自然の偉大なる懷に抱かれて水と雲、水と山に圍まれた旅順にも水泳プールが開設される、廿日からとは規則には定めてあるが、氣候の關係と水の入れ工合では十五六日頃から開場しやうと關東廳體育研究所では目下準備中である、一期の入場料は大人二圓、小供五十錢、大連は十五日から開場するが、一錢、中學生五十錢に改定され七日關東廳學務課に申請して來たので許可された、昨年に比して大人は一圓、中學生は五十錢、小供は三十錢高くなつたが、設備が完成しなつたからである、旅順は奬勵時代であるから入場料は徵收しない

…實現のため奔走し全市民としても

日本周遊大變な人氣

ジヤパンツーリストビユロー主催本社及大汽商船後援の全日本周遊視察團の募集が發表されるや、各方面では參加希望者多數あり、特に旅順寫眞館主は周遊視察團の寫眞班として一行に參加したしとの希望があつたが、非常な人氣を呼んでゐる

淺野舞踊團

滿鐵社會課及び大連高等音樂院後…

戰蹟道路
近く測量開始

戰蹟見學のために自動車バス道路を設けることは旅順市の將來發展のため必要であつて關東廳土木課では清水技師が既報の如く實地調査し戰蹟保存會としても亦これが

鞍山

公學堂長會議

關東廳學務課村上視學は公學堂長會議が大連に於て開催されたので列席のため往復したが、會議は毎年二回春秋行はれると

東二臺子に馬賊團

五日遼陽縣東二臺子より歸宅せる鞍山南九番町雜貨店主丁岳三の言に依ると五日午前四時頃年齡二十四五歲位の馬賊七八名が騎銃及拳銃を所持し二臺の馬車に分乘し刑家場氣堡より東二臺子鞍山西北約五支里劉廣富方を襲ひ同地村長丁彥亭に命じ朝食を作らしめ脅迫するので村民は戰々兢々として他の部落に避難するとの報に接した支那官憲では最寄り公安分局に急を知らすと共に遼陽遊擊隊の應援を求め百餘名の討伐隊を組織し東二臺子に向つた、早くも之と知つた馬賊團は同村農蘇俊士方に闖入し土塀を楯に交戰したが討伐隊の隙を窺ひ午後十一時頃夜陰に乘じ西南方に逃走したので遊擊隊は目下追跡中であると

鐵西の商務會
會長を選擧

鞍山鐵道西の商務會では會長滿藍堂の不正行爲問題に關し其後各派で紛糾を續けて居たが五日一先づ和解することゝなり協議の上役員の改選を行ふことに決し六日午後一時より商務會樓上に於て地方事務所田中地方係員及び董巡捕立會の上正副會長の選擧を行ひ開票の結果正會長職興華副會長韓滙川同關趾仁の三氏が當選したと

人事

▲澤田駐米大使館參事は林奉天總領事吉井遼陽領事と共に七日午前十時三分着列車で來鞍し久下沼署長の出迎ひを受け製鐵所を視察の上午後一時五十三分發列車で湯崗子に向つた

大連將棋聯盟特選
臨時棋戰　相談將棋

香落（四）
▲七段　矢野逸郎
　三段　宮本金三
△二段　野口初雄

（盤面以下の手順）
▲二五步△一六桂▲三九玉△六五龍▲一七步△七七步なる▲同香△七六步▲同香△同角▲一六步△八七角なる▲五八金右△七六步▲二四步△二二銀▲五六角

△二五龍

對局者の實感

（下手方曰く）
敵に三九玉と引かせ七七步となる順になつて面白いと思ひました。次に八七角となつたのは手順に敵金を締らす樣だが、局面上止むを得ないと思ひました。
（矢野七段曰く）
最早ぐづ〳〵してゐる事は出來ないので二四步と逆襲しましたが、溫順しく二二銀と上られたのには困りました。

觀戰雜記　三段　宮本金三

下手方としては香損ではあるが充分に敵の大駒を牽制しながら敵玉を攻める手順を造つて行くのは鮮かでした。然し相手は名に負ふ矢野七段です巧に此の苦境を挽回せんと屈せず二四步と打つて決戰に來られました。今日の終局盤面ではいづれ共優劣を定める事が出來ません。矢野先生も近來にない力の入つた將棋が出來たものと他をかえりみて語つてゐられた。

満蒙鐵道リレー擧行記念

旅行用具
熊井洋行
本店 伊勢町五四 電話七七五三
分店 大山通り三〇 電話三二〇五

大連市監部通三九番地
政記輪船股份有限公司
總理 張本政鞠躬
電話代表番號四一四一番

滿洲水産株式會社
電話四五三三・七〇五七番

大連市信濃町二六
東旅館
電話四六四六番
富士屋旅館
電話五二八六番

大連市八幡町二番地
株式會社 大連車夫合宿所
電話六〇二〇番

戸畑鑄物株式會社
東亞電機株式會社
安來鋼所
製品販賣
戸畑鑄物株式會社
大連出張所
大連三河町十七番地
電話六四三八番
電略受信(タイレントバタエイ)
發信(タト)又(ハタ)
本社 東京市麴町區八重洲町一丁目一番地

大連市山縣通五十四番地
三菱商事株式會社
大連支店
電話代表八一五一番

大連市日吉町一番地
滿洲製麻株式會社
電話 三五六二 六〇七七番

株式會社 大連機械製作所
大連市台山町二三番地
電話九一五一番

大連市紀伊町八番地
株式會社 金福鐵路公司
電話八五七二番

營業科目
油布、雨覆、日
天幕、洋服、多幸足袋
運動靴、室內裝飾、家具
洋服類各種
其他各種諸材料並以上各
業務に附隨する各種の營業

大連市橋立町
大連工業株式會社
電話 四一六一番 八二三八番
登錄受信略號(タイレンタイコ)
發信略號(タコ)又は(コ)

大連市監部通
東亞煙草株式會社

大連市山縣通
東亞土木企業株式會社
電話三六九八番

大連市山縣通一五四
大連モーターセールス商會
電話 八五四六 七六九六

大連市山縣通一五五
日本タイプライター株式會社
大連出張所
電話八四七一番

逢坂町遊廓組合員一同

満日婦人週報

傾くものは正しからず 左傾も右傾も不可
民族の繁榮、文化の建設が吾等のもつ使命

莊嚴優美 にして天を突く様な塔も一度び傾けば見る影もなし、如何なる大家と雖も一方に傾き偏する時は正しきものとしては何等認めるものがない。正しき道は唯一つあるのみである。最近左傾派とか右傾派とか又思想上赤いとか黒いとか稱へられてゐるが實に不快でならない。左傾派所謂社會主義は素より反動思想である、中にも穩健派あり、過激派あり何れにしても社會主義そのものは之を打棄せられなければならぬ。極端から極端へ走る露國の社會主義が實現された今日、一億三千萬人は果してマルクス主義讃美者が勞資平等に共産主義が

理想通り 實行されてゐるであらうか、事實は反對に實に悲慘なるものが有ではないか働いても〳〵私有財産制度が認められぬ以上それが自己所有として持する事が出來ない爲めに働いて貯へると云ふ觀念が全然ない、つまり働いても馬鹿らしいと云ふのである、それが爲めに露國産業はだん〳〵衰微するばかりで理想とされてゐた共産主義は果して露國國家將來の爲めによき運命に落付くであらうか吾々は實に深憂に堪えぬものがある。確にマルクスは理想的の學説を我々に與へてくれたが

然し今日 之を實現した結果を觀ても説そのものとは實に甚だしい懸隔のある事を見出すものである左傾派に對抗せんが爲めの右傾派も亦目的のためには如何なる手段をも選ばずと云ふやうな左傾派の言論態度に暴擧を以て是に訴へんとするが如きも亦不快でならぬ。五ケ條の御誓文にも萬機公論に決すべしと、又憲法にも言論の自由を認められてゐる。右傾派中にも二千五百年前の原始時代に還れと云ふ者もあるが、我建國の歴史も顧みず是迄築き上げられた文化の進歩に逆反するが如き何れにしても左傾、右傾は

極端から 極端へと偏重されてゐるのは決してよろしくない。最近の思想の潮流はナショナリズムが更に新しいインターナショナリズムを高調されてゐるが、其の歸する處結局は共産主義である。各國の國體を尊重し即ち國家主義でなければならぬ。そして民族の繁榮を求めなければならない。吾々は世界の潮流に立つて舟を浮べ[illegible]をさして世界に知識を求め我國文化の完全なる建設に努むべく正しき軌道に向つて進まなければならぬ。(蠟山政道氏談)

夏のおくし―(鈴蘭美容院にて)―

優良者には子供が少い
優良者は滅亡するか

子供が澤山生れるか否かは身體が丈夫か弱いかによつて決るよりもその親の頭腦の程度が高いか、或ひは低能であるかによつて決る。即ち一たいに優良者は生殖力が弱く劣惡者程それが強いのが普通である、世に「貧乏者の子澤山」と云ふ言葉があるが、貧乏者が必ずしも劣惡者とは云へないにしても兎に角優良者には子供が少いとされてゐる。それが爲めに優良者ばかりの集團では遠き未來に全く滅亡してしまふのである。それを統計的に示すと、人口千につき一年の出生數、A集團は一〇、B集團を二〇とし死亡數は何れも一五とすれば次のやうな結果を來す事を獨逸で研究發表してゐる

	A集團	B集團
◇初年	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
◇三十年後	四一九、二〇〇	五八〇、八〇〇
◇六十年後	三二五、二〇〇	六七四、八〇〇
◇百年後	一七五、八〇〇	八二四、二〇〇

斯うして百四十年後にはA集團は全く滅亡してしまふのである、しかし良くしたものでこれは適宜調節されるので優良者は矢張り殘るのである

飲酒家の家系に犯罪者多し
狂人の半分が飲酒の害
時に中量を飲むものに甚し

大酒を飲む害は一般に論じられてゐる事であるが、これは自分の體を損ふばかりでなく子孫にまで害を及ぼす。即ち犯罪者は一たいに大酒飲みの家系から現れる場合が多いのである。道徳的にも、法律的にも大酒の影響が認められる。次に白痴とか低能兒或は癲癇なども亦大酒家の家系に現はれるものが多い。之は精神的退化を示すものである。なほ他に身體的の退化も深刻に認められてゐる。大酒の害による精神的惡影響が如何に多いかを調査した處次のやうな數字が示された。即ち病種によつて

◇麻痺性痴呆

常に多量飲む者	二〇一
常に中量宛	五五七
時に多量	二一一
時に中等量	四〇九

右三、七六六名の中

◇躁鬱性

常に多量宛	一二八
常に中等量宛	四二七
時に多量	一九二
時に中等量	五八二

右五、〇一九名中

◇早發性痴呆

常に多量宛	一一八
常に中等量宛	三五二
時に多量	一六九
時に中等量	六三三

右六、九二二名中

此の表によれば常に又は時々多量飲む者よりも常に中等量又は時に中等量を飲む者に害が多い事が分るそれでは一層飲むなら澤山飲んだが良いと考へられる處であるがそれならば今度は身體を傷める事になる

姙娠と榮養
ビタミンを攝取せよ 保健との關係

吾々人類が健康を保持し生命を存續する爲めには一定の榮養素として蛋白質、含水炭素、脂肪、鹽類並にヴイタミンと之れに適度の水分が必要である、殊に姙娠婦は單に自身を榮養するばかりでなく、同時に胎兒の發育成長に要する榮養素をも攝取せねばならぬと云ふ事は、胎兒の爲めに必要な大量の榮養素は總て母體から

=供給= を仰ぐからである、然るに蛋白質、含水炭素、脂肪、鹽類に付ては相當の注意を拂つてゐる様であるが、ヴイタミンの攝取に付ては等閑されてゐる傾向があるので動もすれば其の調和を缺く虞がある、從つて姙娠中は量の上にも性質の上にも一層愼重なる注意を榮養上に拂ふべきは明かである、殊に姙娠初期には姙娠惡阻の爲め末期には增大した子宮の壓迫の爲めに兎角食物攝取量が減じ易い關係上姙娠中の榮養は殊更種々の缺陷を生ずるものである

=殊に= 日本人には不馴れな肉類や脂肪性等濃厚なる蛋白性榮養素を過剩に攝取して強度の便秘や下痢を起し易いのである、そこで含水炭素が吾々の榮養の大部であると云へるのである、所が含水炭素の新陳代謝上常に考慮すべきはヴイタミンBとの關係であつて、含水炭素を多く攝る程新陳代謝を完全にならしめる爲には多量のヴイタミンBが必要である。殊に姙娠中はより多くそれが必要で尚胎兒の神經成分の構成や機能に特別の關係を持つものであるから充分の注意を拂ふべきである、此場合母體の

=障害= の一としての姙娠惡阻の如きも或程度まで之れを治療し豫防し得る事は確實である尚姙娠中は齲齒が增惡したり新に發生したりするその原因は、内分泌關係の姙娠による變化や胎兒骨骼形成に必要なる石灰分が母體から大量に胎兒に移行する事も考ふべきであるが、又同時にヴイタミン關係を等閑に附してはならぬ。例へばヴイタミン一が缺乏すれば骨質の石灰分の沈着能力が著しく減弱して而も尿中の石灰分排泄量は非常に增加するものである。斯る場合は姙娠中の齲齒の

=治療= や豫防に單にカルシウム劑の應用ばかりでなく、缺乏してゐるヴイタミンAの補給に依つて始めて目的を達し得ると思ふ。其他姙娠性浮腫等もヴイタミンAの缺乏に依るものと認められる。尚梅毒以外の原因不明の習慣性流早産の或るものに付て時にヴイタミンCの缺乏が或程度の原因的關係を有するものである元來ヴイタミンCの缺乏は明かに母體に對してのみの障碍に止まらず強く胎兒の發育を阻害し遂には死に至らしむる事もあるので、その重要なる事は容易に理解し得るものである。其他ヴイタミンの姙娠に重大なる關係のある事はいくらもあるがこれ丈けでも如何に姙娠中は榮養素としての重要性を帶びてゐるかで想像せらるゝであらう。

汲めども盡きぬ山の誘惑
近代人が求めて止まぬ 山岳、樹林の包む神祕

◇—山岳を讃美し、山の麗しい壯嚴た風景に魅せられ、山岳の愛に誘惑されて近來登山熱が非常に多くなつて婦人や子供等が加はる樣になつた。

◇—凡そ山の誘惑と云ふものは體驗の無い人には想像の出來ないものがある。山の誘惑は青春の戀の如く眞劍なもので眞に山岳の愛を知る者には山の爲めに總べてを打忘れて仕舞ふ、是を詩的と云はずして何ぞ!

◇—上代人は山岳を神そのものと見、或は神の住家であると見て居た。山岳禮讃の爲めの登山が人間の山を知る初であつたらうと思ふ其の莊嚴なる光景に魅せられて遂に全人格的に誘惑せられて仕舞つた樣な事實が澤山ある。

◇—例へば印度のアーリアン人種の如き又希臘神話にある通りジユピター其他の神々の住つて居た一萬尺からのあのオリンパスの山をば矢張り神の住家として崇めて居つた支那でも不老不死の靈藥を求め好んで人跡未踏の境に出入する儒教の教を奉ずる仙人達が居る、日本にも斯樣な山岳の信仰の爲めに誘惑された人々の多いのを見出すのである。彼の役行者の始めた所謂山伏達は全國到る所の雪山に其の足跡を殘して居る、今日のあらゆる山々を切開いて一般の人々を山に導く樣にしたのは是等の人々の功績であらうと思ふ。

◇—斯樣にして山の宗教的な誘惑の爲めに一生涯を捧げて仕舞つた人々は古今東西に其の例が少くない、又山の麗しい風景に惹き付けられて藝術的な誘惑を感じた人々も亦少くない、是は西洋よりも東洋の方に著しい、それはあらゆる世の中の不思議を知り盡さうとする人間の力即ち欲求であつて、あらゆる自然界を征服しやうとする人間の努力であると思ふ、近代的登山の特徴は實に此の科學の發達に依るものであると云つてもよい、つまり山岳の科學的誘惑に基くものである。

◇—此の外に山の強い誘惑には尚物質的な誘惑が數へられる、日本の火山の中にも昔から硫黄採取とか世界中で一番悲慘な大袈裟な出來事の起つたのは矢張りアンテス山中で、金銀、珠玉をあさつて這入つて行つたのである、處が生憎霖雨が續いて着物は朽ちて殆んど丸裸になると云ふ樣な狀態で甚だしく飢に苦んだ結果白人三分の一を殘す外總べての人が此の山の鬼となつて仕舞つたと云ふ悲慘な事實がある。

◇—十九世紀末には盛んなるスポーツとしての登山家に依つて殆ど歐洲アルプスは總て征服せられた其他スポーツとしての山の誘惑は多方面に向つて展開してゐる、有名な日本アルプスの命名者であるウエルストンが盛んにアルプスを舞臺にして活動をし、其の足跡は殆ど我南北中央アルプスの峰に及んでゐるが、如何に山を愛して居つたかゞ分る、日本アルプスの誘惑が其他幾人かの外人に迄及んでゐる

◇—今から二十四年にやつと日本山岳會が生れ、以來今日迄登山のために年々數十人の犧牲を出してゐるが、然しながら登山は決してそんなに恐しいものではない、其の實水泳のために川や海での犧牲者の數十分の一にも達しないだらうと想像される殊に近年は單に冒險的な登山をするとか、山岳を征服するとか云ふのでなく山の中に落付いてキヤンプ生活等する樣になつたのは本當に山の誘惑を體驗した人と云つてよいと思ふ、之は眞に山岳を理解した者で、もう無條件に山の誘惑に陷つた言はゞ原始時代に返つて神祕的な風景に接して山と自分とが一つになつて驚き、泣き、笑ふと云ふ狀態になる

◇—斯うした山の傾向は今日の物質文明が發達するに伴れて益々發達して行くであらうと思ふ、そして遂にはあらゆる人々が青春の戀を經驗する如く山岳の無限の愛を生涯覺める事なく體驗し續けられて行くであらう(林學博士田村剛氏談)

麻の着物の手當
着た後には霧を吹く 美しい艶の出し方

◇…夏のお召し物には麻が理想的とされて居りますが、これは麻の特徴として性質が熱の良導體でありますから、良く體溫を放散せしめ同時に汗を速かに吸收し乾き易いので清々しいのであります。又その纖維がすでにさらりとしてゐるので、自然爽かな感觸を與へるのでもあります。麻は一般に高價な布とされて居りましたが、最近では機械で大量製産される結果大へん安價になりました

◇…絹麻などはその良い例でありますが、これは機械紡績の毛羽が立つてゐる事と、光澤に乏しい缺點を立派に補はれて居ります。麻の用途としては着物地ばかりでなく、襦袢や帶、夜具、座布團地、裏地、シヤツ地、或は子供服などに應用されて光澤と堅牢さとが愛されて居ります、麻の手入れの方法として先づ洗濯の仕方は一般の洗濯法と變りはありませんが、只麻は汚れの良く落ちる布でありますから、あまり揉んだり引つぱたりしては良くありません。只微溫湯に石鹸を溶しこんでそれに布を浸し、振り出す位で大概の汚れは取れてしまいます、汚れが落ちたなら絞らないで乾かします

◇…麻は乾きが早いものでありますから晴天ならばせい〳〵半日位ですつかり乾きます、そして霧を吹きながらアイロンをかけます、洗つた儘では麻特有の光澤が失はれやすいものでありますが、アイロンをかけると新しい品同樣な美しい光澤が出ます、なほ着た後の手當てとしては一寸清水の霧を吹いてよく疊押しをして置けば翌朝には折目正しくなつて居ります

日曜漫畫

訓戒
市場デイクラデモ買ツテ來テヤルカラ、
此イチゴヲトツテハイケナイゾ

オーイこの立札が目にはいらないのか!
いやア……その未だ魚たちに餌を食はせてやつてるだけさ
つり嚴禁

去年ノキモノ
小サクナツタナア
大キクナツタナア

お茶のはなし
(一四) お茶の効用 速見宗泉

又茶の生理作用は其含む所の珈琲因、揮發油及び鞣酸に據るもので、珈琲と同じ効力を有し又同症に用ひ、殊に類鹽基中毒の解毒藥としては珈琲に優つて居るさうだ。主に興奮劑や腸病に用ふ併し貧血症などに用ふる、還元鐵を服用して居る時に茶を飲めば藥の効力を失して了ふ、還元鐵に限らぬ、乳酸鐵でも、枸櫞酸鐵でも總て鐵劑には禁藥であるから、疾病のため服藥して居るときは、先づ醫師に茶を飲みて差支なきかを聞きて後飲むが宜しい。

日本が世界的に名の知れたのは明治維新後であつて其れで急激に世界の一等國英、米と肩を並ぶるやうになつたのは如何なる譯であるかと佛國にては日本の研究に沒頭し、都會にては歐米の風が交り居てダメだとあつて態々田舍に人を派して純粹の日本を研究して居るさうであります。本邦人に於ても是れは充分研究すべき事と思ひます。

此の純粹日本とは如何なるものでありませう。長い間の思想なり風俗習慣なり、道徳なり、武士道なりが祖先によつて許容せられたものゝみが凝結して出來上つたものであつて我等が日本人である限り失はうとしても失ふ事が出來ず離れやうとしても離れる事の出來ない精神觀念であります。

其の精神觀念を修養するには茶道は最も適したるものと存じます歐米外來文物思想の爲めにも未だ少しも傷けられないのは神教、佛教等の宗教と雅樂、能樂、謠曲等の管樂と茶道とであります。

然らば茶道とは如何なるものであるかと申せば其れは到底一朝一夕に御談は出來ませんが一の獨立したるものでありまして其關係する範圍は非常に廣いのであります茶道の門に入るにはどうしても實地に研究する外ありません、千宗旦の道歌にも

茶の湯とは耳に傳へ眼に傳へ心に傳へ一筆もなし

豐公は茶道を以て大に政略上にも用ゐ又茶會に於て學問を修業し自己の修養に得る處多かつたのであります。

筍のうしほ煮

材料—筍少々、鯛の頭又中骨適宜、出汁昆布五寸、醤油、鹽茶匙一杯、木の芽少々

拵へ方—茹でた筍の先の方を千切りに致します。鯛又は白身の魚のあらに鹽を少々強い程度にふり、十分位の後水洗ひして笊にあげて置きます。お鍋に水を五六合煮立たせ、其の中に魚のあらを入れ、煮たちましたところへ出汁昆布を入れ二分間位煮て泡を去り、出汁昆布を取り出し、筍の千切を入れて、二三分蒸します。お魚のあらの鹽が出て、大體鹽加減が出來て居りますが、もしも甘い時には、食鹽を少々入れます。そして火からおろします前に醤油を入れます。お醤油を入れて長く煮るとまづくなります。なほこれに木の芽を添へて供します。

五時間廿六分遲れ紅班大連驛に歸着

二十日間に亘る奮鬪も空しく 萬歳の聲驛頭を壓す

本社主催驛傳競爭は戰慶こゝに廿日間、選ばれたる紅班五人の選手が力と熱の張り切つた一丸となり莞爾として先着の日を誓ふた心懷も、武運拙なく白班をして遂に凱歌を奏せしめた――八日午後二時五十九分着列車で紅班のラストを承つた藤井選手が旅順に到着する日だ、驛頭には本社より出迎えの紅班選手、加藤參謀、滿日販賣店、蔭山旅順市長代理、それに招魂祭の神輿連で

素晴しい 歡迎振りだ

やがて列車がプラットホームに入るや、紅班のペナントを打ち振りつゝ藤井選手が元氣な姿で飛び下ると驛頭を埋む大觀衆は期せずして萬歳萬歳を連呼し、初夏の大空に心よく響く、これより直に戰友に護られ自動車に打ち乘り、旅大道路を疾走、途中本社員の出迎えた自動車を連ね、午後二時五十八分大連驛に到着、此時正に白班選手に遲るゝこと五時間二十六分である驛頭には宇佐美審判長、河裹江、伊澤、篠原、高橋、米野、臼井各審判委員、宇佐美四洮鐵道會計課長、高山大連署長、尾間本社取締役および紅白兩班の關係者本社員それに市民多數

熱狂裡に 出迎へる、

自動車から下りた藤井選手は直に鎌田大連驛長の最後のサインを受け四個の驛傳必要品を宇佐美審判長に返還した、かくて紅班選手が等しく帽子をとつて佇めば、出迎ふ觀衆も共に帽子をとり米野編輯局長の發聲に驛頭も破れよと起る「紅班萬歲」のどよめきシャンペンの盃が飛び交ふこの熱狂的感激的シーンのうちに驛傳リレー競爭は最後の幕を閉ぢたのである

本溪湖神社の移轉問題再燃す

既に地鎭祭も濟ましたのに 反對派遽に騷ぎ出す

本溪湖神社移轉問題は一時兩派の圓滿なる協調によつて移轉は進捗するものと考へられ關東廳學務課でも移轉を許可し寄附金の募集も亦差支へなしと保安課で承認したが、愈工事着手に地鎭祭まで移轉派がコギつけた處反對派が承知せず正面衝突となり、反對派は八名の

檢束者 を出し今尚紛糾を重ねつゝある、この現狀からすれば到底兩派は移轉によつて一致せず飽くまで鎬を削るであらうとみられ監督官廳の公平なる裁決を反對派は希望してゐる、反對派の主張せる點は

一、移轉派の横暴であること、現在の位置から中腹に移轉しヨシ大倉男の銅像を建てぬことにしても市民の紛糾を來した今日では氏神としての神社其のものゝ性質から面白くない

二、移轉派は市民全體の同意を得たと云ふが事實でない

三、飽くまで移轉が決行されるならば居住民は淨財を絞つても別に神社を建てる

反對派 の主張する點は

と敦圍き神仙英、國沼仁太郎氏等外二百餘名の居住民が關東廳に移轉反對の請願をして來た、尚假りに現在移轉派が力を以て移轉を實現しても紛糾は永遠に殘るのであから願ふことなく移轉は無期延期として當局は賢明なる處斷をして欲しいと云ふのである

海峽橫斷の郵便飛行開始

愈よ來る二十日から 料金と連絡時間割決まる

【東京特電八日發】日本航空輸送會社の郵便飛行は福岡、蔚山間の開始に依つて東京、大連間の連絡が全く成るが同社は豫期以上に準備進行した爲め來る本月二十日から海峽橫斷郵便飛行を開始することゝ成つた、この內地、滿鮮間航空郵便

料金は 左の如くである

▲第一種(封書及無封書狀)四匁及其の端數毎に三十錢
▲第二種普通葉書、往復葉書、封緘葉書三十錢
▲第三種(定期刊行物)二十匁及其端數毎に五十錢
▲第五種(農產物、種子類)二十匁其端數毎に五十錢
▲小包二百匁まで二圓、百匁增す毎に一圓

なほ連絡時間割は左の如く決定した

▲內地から滿鮮へは毎週月水金滿鮮から內地へは火水土の(一週三便▲東京發午前六時半、大阪着同九時四十六分、同地發同十時十六分、福岡着午後二時六分、同地發同二時三十分、蔚山着同四時二十六分、同地發翌日午前七時、京城着同九時三十二分、同地發同十時三十分、平壤着午後零時二分、同地發同一時大連着同四時五分▲大連發午前八時、平壤着同十時五十一分、同地發同十一時二十一分、京城着午後零時四十六分、同地發同一時十六分、蔚山着同三時三十七分、同地發翌日午前六時三十分、福岡着同八時十八分、同地發同八時三十三分、大阪着午後零時九分、同地發同二十四分、東京着同三時二十六分

▲福岡間旅客輸送飛行時間割も左の如く決定

▲東京發午前八時、大阪着同十時三十分、同地發同十一時、福岡着午後一時五十七分▲福岡發午前九時大阪着同十一時五十六分、同地發午後十二時五十六分、東京着同三時二十六分

羅紗の映畫 大連羅紗組合並に洋服商組合主催で八日午後六時から敷島町基督教靑年會館に於て「羊毛から羅紗になるまで」の映畫及餘興映畫四卷を映寫し一般の觀覽に供すると

紅班選手の大連驛着 (下)は通過證のサイン

卽ち上下兩航とも蔚山で一晩泊りのため少し遲れるが、それでも普通便、大連東京間使用日數四日が

滿二日 となるわけである、また七月十五日開始の東京、

少年指導員

機關よりも人物本位に 成案を急ぐ

不良少年、少女は都會病の一種だと放つて置けば病菌は殖えるばかりで社會敎育上捨てゝはをけないと關東廳學務課では大連に先づ少年保護員を設けるため難波主事は目下規則の制定中であるが、七月一日までには實施の運びになるやう成案を急いでゐる

保護 に當る指導員の人選

はまだ決定して居らぬが、藤田學務課長の肚裏には略決定してをるらしい、事務所は大連民政署又は市役所のいづれかゞ候補となつてゐる、然し民政署はいづれかと言へば官廳氣分がするから市役所の方が保護の性質上適當してゐるやうに考へられる、但し其の半面に不良少年、少女の頭にどう考へられるかは場所の選定上考慮せねばならぬとも氣づかはれてゐる、保護規則の主なるものは不良少年、少女の相談所として色々の世話をする時には職業の周旋をする爲め職業紹介所と連絡もする、社會のバチルス化す危險性を成るべく

未然 に防止して其の傳波

性を抑制し善導するのが眼目である、藤田學務課長は「問題は機關の組織では無く指導員の人物奈何である」と語つてゐるが、今後は感化のために修養の場所が必要で毎日保護員の處へ通つてゐるやうなことでは効課が薄いであらう

豚疫蔓延の兆

豫防注射施行

關東廳では州内各地に豚疫頻々と發生するので之れが防遏のため豫防注射を施行すべく計畫中で、これが準備のため殖產課倉賀野技師は語る

豚疫は非常に恐ろしい傳染獸疫で一頭の豚が一度この病氣に罹れば瞬く間に附近一帶へ流行し死亡率の如きも七十%といふ惡性なものである關東廳では畜產獎勵の意味に於て各會屯へ養豚事業の有益なる事を宣傳しこれが普及を圖つてゐるが、時々斯る獸疫が流行し折角の養豚も一夜にして全滅させられた例に乏しくないので飼育者より苦情もあり今度の豫防注射施行となつたのであるが、注射はワクチン液一頭に對し前後二回宛行ふものである

無電施設の船舶頓に增加す

關東廳の施設法施行で

關東廳では一昨年十一月以來朝鮮、臺灣、樺太等各植民地に先立ち船舶無線電信施設法を施行し、州內各港灣に出入する一定の船舶に對し國籍の如何を問はず無線電信設備を强制し遞信局で毎日入港船舶を檢査してゐるが、最近同局で右實施後の成績を調査した處に依ると無線電信施設船舶數は强制法施行前當時は入港總船舶數の五割一分に過ぎなかつたものが、左表の如く漸次

增加し 最近では七割一分に達した、殊に從來支那船舶中新に無線を設備したものは七十三隻の多きに達し海上に於ける生命財產の保全及海運事業の敏活を圖る上に頗る好成績を示してゐる

期間	一ケ月平均入港船船數	內譯無線施設船舶數	同上割合
昭和二年下半期	二九九	一五三	五割一
同三年上半期	三五五	二〇六	五割八
同三年下半期	三三八	二二三	六割六
同四年上半期	三七八	二六八	七割一

デ盃歐洲ゾーン

英選手南阿に勝つ

【ボーンマス七日發電】デ盃戰歐洲ゾーン第三ラウンド・イギリス對アフリカ第二日ダブルスで英選手は左の戰績で勝つた

グレゴリーコリンス(英) 二―六、六―三、六―二、六―二 レイモンドファーカーソン(南阿)

洪牙利和蘭を破る

【ブダペスト七日發電】同上ハンガリー對和蘭の成績左の如し

タカツ(洪) 三―六、七―五、六―三、六―一 チンマー(和)

フオン・ケーリング(洪) 六―二、六―一、六―二 ディメルクール(和)

伊太利・獨逸に敗る

【ハンブルグ七日發電】同上獨逸對伊太利第一日の成績左の如し

ランドマン(獨) 三―六、六―四、六―三、三―六、六―三 デステファニ(伊)

モルデンハウエル(獨) 五―七、六―三、六―三、三―六、六―二 デモルプルゴ(伊)

海賊逮捕

安東に於て

【安東特電七日發】安東署にては毎夜密行隊を三組に分け警戒してゐるが、七日午後三時中塚、探、兪三刑事が四番通を警戒中、七丁目の上野洋服店のショウウインドオを破り侵入せんとする賊三名を發見し、追跡の上一名を逮捕し取調べの結果右は海賊にして根據を鴨綠江上の船中におき贓品全部を船中に持ち込み他にて買却し、日中は船中にひそみ深夜ひそかに上陸惡事を働いてゐたもので、被害高は數千圓に及ぶべく當局は警備船鎭江丸を出動し下流方面に逃走中の犯人を追跡中である

美容美髮競技

大連美容美髮競技大會は來る十六日帝通支社主催で歌舞伎座に開催されることゝなつたが、當日のプログラムは丸髷、蝶々等の結上タイム競技及模擬結婚式として花嫁の高島田から化粧着付、式後の洗髮から洋髮に結び替へ新婚旅行の美顏術を施すまでを競爭し更に花見踊を上演して興を添へる筈で美容及び美髮業組合も大擧參加し一般婦人會の興趣をそゝつてゐる

官有林荒し逮捕 市外沙河口

溝會徐家屯三無職徐振聲は五日午後十時ごろ沙河口市場附近をブラついて居る所を沙河口署の密行に取押へられた、此奴は最近西山會市道碑上流の官有林をあらしてゐたもので餘罪取調べ中

交通地獄征伐 【一】

市民警察協力し事故を防止せよ

整理と訓練が肝腎

五月中一ケ月間に狹い大連市中に於て自動車の爲めに三人の人が轢殺されてから市民は大連市にも愈交通地獄の現出を感じて、之が取締の責に當る警察、或は自動車運轉手等に對する

◇…批難 が漸く輿論を高めたのに鑑み大連警察署では交通事故防止策として所管各警察及び派出所に訓示して極力交通整理に努めしむる一方、自動車其他の交通關係者及各學校當局者等と會合して交通事故防止に關する會議を開き、各方面の意見乃至希望等を聽取の上去る五日を交通安全訓練デーとし全署員を擧げて交通整理及訓練を行つた、結果から云へば安全デーの前一日丈でも自動車及自轉車の

◇…衝突 等交通事故三件を見たのに、爾後二日を經た七日夕方まで一件の事故も生じないのに徵し多少の効果を擧げた事になる、然し元來交通觀念に對して理解も訓練も不充分な大連市に於て僅々一日位の整理、訓練で直に効果を擧げ之を持續し得やうとは勿論考へられないし、又

◇…無理 でもある、況んや今後人口及自動車の增加につれ今日のまゝでは將來必ず再び事故頻出し、所謂交通地獄が現出せぬとも限らぬので、大連警察署では五日の安全デーの經驗に徵して今後の交通整理及取締に對して熱心に研究すると同時に適當の方法を講じてゐる模樣である、然し警察のみが如何に努力しても交通關係者等は勿論一般市民の方でも今少し交通

◇…道德 を養ひ市街步行に訓練を經ない事には決して事故の發生を少くし乃至は防止する事は出來ない、つまり一般市民と警察と交通關係當業者とが道德的にも實際的にも、互に眞劍な態度で今少し訓練向上を志し以て將來日々の事故や慘禍の發生を協力して未然に防止せねばならぬ、此意味で今一度大連市の交通狀態を見直して、其缺點を指摘し且つ之に對する一般市民の

◇…注意 を促すと同時に、警察及自動車其他交通關係者に對する希望をも述べ、大連市をして今後一層安全愉快なる理想的都市たらしめたいものである

實業、滿俱野球模範試合

愈よけふ第二回戰擧行

午後二時＝實業團球場に於て

審判員
天知俊一氏(東京六大學リーグ專屬審判員)
橫澤三郎氏(同上)

主催 滿洲日報社

けふのラヂオ

昭和四年六月九日(日曜日)

自午後〇時三十分 ニュース
自午後一時五十分 野球連絡放送(實滿模範試合二回戰)ニュース
自午後七時三十分(レコードの夕)
一、ニュース
二、小學唱歌 雪、富士
三、同 春が來た、汽車
四、童謠 夏の雲ねんねころり
五、雅樂 催馬樂(更衣)
六、新民謠 鉾をおさめて
七、同 後生參踊
八、謠曲 眞間手古奈
九、小唄 五月雨
一〇、端唄 深川節
一一、俚謠 大島節
一二、長唄 元祿花見踊
一三、俚謠 江差追分
一四、三曲 七小町
一五、端唄 伊豫節
一六、同 間違節
一七、同 茄子とかぼちや
一八、義太夫 寺小屋
一九、箏尺八合奏 鈴虫
二〇、新民謠 長濱節
二一、琵琶 常陸丸(四面)
二二、料理獻立
二三、天氣豫報

愛慾の窓 (3)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

死の接吻 (三)

女學生の一團が、大涌谷の峠の茶屋に憩つて、茹卵子の殼を剝いてゐるところへ、青年は漸く辿り着いた。彼の顔を見ると、彼女等は期せずしてクス／＼笑ひ出したが、とうたう堪え切れなくなつてハツハ、ハツハと哄笑を爆發させてしまつた。なかにはまだ醒めてゐない茹卵子の熱い黄味を口一杯に頰張つたまゝプツと噴き出したので、傍にゐた仲間の服を汚したやうな不作法者もあつた。木の葉が落ちても箸が轉んでも可笑しい年頃の乙女達であつた。たゞ先刻代表となつて彼に帽子を手渡した少女――仁科美知子だけは、もうそんなに笑はなかつた。彼女は、ヴレンチノに似た美貌の青年の顔に、深い愁ひの翳が射してゐるのを敏く看て取ると、自分も亦、何といふ理由もなく寂しくなつた。

青年は、ぼんやり崖端のベンチに腰をおろして、身動ぎもせず、眼の下はるかにながれてゐる硫黄の温泉谿を瞰ろしてゐた。そこは謂ふところの大地獄だつた。轟々と地響きを立てながら、どろ／＼と灰色に濁つた熱湯は、絶え間もなく谿に汾湧し岩の裂目に奔騰して、沸り返つてゐた。眼や鼻を巽樣に刺戟する瓦斯はあたりを立て罩め、煙は渦卷いて湧き上り、飛び去つた。

「……をぢさん！こゝへ飛び込んだらあれだらうね、骨も皮もありやアしなからうね」

青年は、茹卵をすゝめてゐる茶店の主人に向つて、囁くやうな聲で云つた。

「へーえ、そりやア旦那、堪りませんとも！あの谿底を御覧なせえまし、ほれ、煙の合間に見えませう？ごぼ／＼、ごぼ／＼、鐵でも溶かしかねませんよ、あの勢ひぢやあ……」

「……然し、誰も飛び込んだつて話を聞かんね」

「へ、へ、へ、そんなことがあつたひにやア大變でさあ！よく旦那のやうなことを皆さんがお訊きになりますが、誰しもふツと[illegible]しやうなことを考へるものとみえます。ですが誰にしたつて、こんな氣味の悪い場所で死ぬのは厭でせうからな、はゝ」

などと、茶店の主人はこだはらない調子で喋つてゐる。

「……さうだらうね、人間といふ奴は我儘な生物だ」

青年の顔を自嘲の微苦笑が掠めて過ぎた。

さうした會話を、仁科美知子はぢつと聽耳を欹てゝ、ひそかに偸み聞いてゐた。聞いてゐると、胸騷ぎがしはじめた。いつとはなしに、彼女は仲間を離れたまゝ、青年の擧動に對して目に見えぬ神經の觸手を差し伸べてゐるのであつた。

茶店の主人は暢氣な様子で、茹卵子の笊をぶら下げたまゝ、青年の傍を離れた。

青年は、靜かにベンチから腰を擡げると、無關心な態度を裝ひながら、崖の外れの木柵へ歩み寄つていつた。危險を防ぐために圍ひめぐらされてゐる木柵ではあるけれども、長い年月の間に、硫黄の氣に燻されて、まるで白骨のやうになつてゐる。柵とは云つても、ほんの型ばかりのものになつてゐる。わざ／＼そんな突端へ出て行つて、危ない柵に凭れるやうな人もないのであらう。が、青年はその木柵に近づくと、兩手をぐいと伸ばして、枯骨の如くひよろ／＼と立つてゐる柵の柱を掴んだ。

「……アツ！危いわ！」

さう叫んだのと身を躍らしたのとは、殆ど全く同時だつた、美知子はスポーツで鍛つた輕快な果敢な擧措で青年の背後に迫るや否や素早く相手の腕に飛び着いた。

「危い！危いことをなさるもんぢやアありませんわ！さ、わたしと一緒に此方へいらつしやい！」

彼女はぐい／＼と青年を引立てるやうにした。

六月川柳課題

六月十日〆切
「旅」　横田和泉選

六月十五日〆切
「茶柱」　高橋月南選

△一人五句限り用紙はがき別記

滿日社文藝係

新刊紹介

▲新田(六月號) 神戸市上野天王六十二番地ノ一新田發行所(定價三十錢)
▲わか竹(六月號) 大阪市東區南久太郎町二丁目若竹吟社(定價十五錢)
▲生活と宗教(六月號) 名古屋市中區南久屋町二ノ七破塵閣書房(定價十錢)
▲新使命(五月號) 東京市芝區白金三光町三〇八新使命社(定價四十錢)
▲畜産雜誌(第十六號) 北海道札幌市北三西六北海道廳内北海道畜産協會
▲作與(五月號) 東京市小石川區大塚坂下町講道館文化會(定價三十錢)
▲滿洲建築協會雜誌 大連市紀伊町八五滿洲建築協會
▲社會學徒(六月號) 東京市外玉川村奥澤五九四社會學徒社(定價二十五錢)
▲心靈と人生(六月號) 横濱市鶴見區東寺谷一六〇二番地心靈科學研究會(定價二十錢)
▲法律戰線(六月號) 東京府高田町雜司ケ谷八一五生活運動社(定價廿錢)
▲農民(六月號) 東京府北多摩郡千歳村八幡山八全國農民藝術聯盟(定價十錢)
▲滿洲(六月號) 大連市寺内通り四七大連新川柳社(定價二十錢)
▲電氣の友(六月號) 東京市芝區新幸町一番地第一堤ビル電氣の友社(定價四十五錢)
▲婦人と新社會(六月號) 東京市四谷區南伊賀町四一婦人と新社會社(定價十錢)
▲書畫骨董雜誌(六月號) 東京市牛込南小伏見町十二書畫骨董雜誌社(定價三十五錢)